

【海 運—航路—】

清三佐	水池保	三二六	城三境	津角	四二一	酒田	五五	基	津隆	七五	上都	八七〇
清三	水池	三二六	自・小・樽・港	津浦	四二一	宮	四七	津	四九	住	三三	
神	戸	一〇七	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
青	島	一、二五五	岩	内	狩	馬	山	半	田	八四一		
尼	鹿	六三三	留	多	留	芝	幌	石	石	三三		
鬼	内	六三三	川	若	奥	留	幌	石	石	三三		
稚	津	一、〇九	萌	若	奥	留	幌	石	石	三三		
唐	連	一、〇九	若	若	奥	留	幌	石	石	三三		
大	一、〇九	四	日	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
室	二、七〇	禮	浦	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
釧	四、〇〇	文	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
釜	四、〇〇	鹽	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
小	四、〇〇	品	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
能	四、〇〇	賀	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
登	四、〇〇	賀	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
呂	四、〇〇	品	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
走	四、〇〇	賀	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
濱	四、〇〇	品	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
池	四、〇〇	賀	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
水	四、〇〇	品	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		
七	四、〇〇	賀	岡	須	鹿	奧	留	幌	石	三三		

補助命令航路

現在遠洋近海及沿海を通し政府の補助命令航路と稱するは左記内容にして此補助航路に對しては左の附帯條件あり

一、政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ各航路内ニ於テ寄港地ヲ増加シ又ハ之カ變更ヲ命スルコトアルヘキコト

一、旅客貨物ノ運賃ハ政府ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムルコト

一、政府ニ於テ必要ト認ムルトキハ種類ヲ指定シテ旅客貨物ノ運賃ヲ低減セシムルコトアルヘキコト

一、各航路ニ於テ必要ト認ムルトキハ種類ヲ指定シテ旅客貨物ノ運賃ヲ低減セシムルコトアルヘキコト

一、政府ハ契約者ノ費用ヲ以テ各船舶ニ航海修業生三名以内ヲ乗組マシメ政府ノ定ムル手當ヲ支給セシメ得ル事

一、政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ相當ノ金額ヲ給與シテ各航路ニ使用スル船舶ヲ買収シ又ハ使用スルヲ得ルコト

一、政府ハ非常事變ノ際ニ於テ各航路ノ船舶並ニ船員ヲ使用スルヲ得ルコト但シ此ノ場合ニハ相當ノ使用料ヲ支給スルコト

一、補助金ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ支給スルコト但シ航海度數ヲ減シタルトキ又ハ命令書ニ規定シタル各地ニ航行セス隨テ航海里數減縮シタルトキハ命令書ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ減スルコト

一、政府ノ認可ヲ受ケ若ハ已ムヲ得サル事故ノ爲前記ノ資格ニ適合セサル船舶ヲ使用スルトキハ命令書ノ定ムル所ニ依リ補助金ノ支給額ヲ減少スル場合アルコト

一、補助金年額ノ約一割ニ相當スル保證金ヲ徴收スルコト

一、正當ノ事由ナクシテ航海度數ヲ缺キタルトキ、相當ノ船舶ヲ使用セサルトキ、船舶ノ修繕若ハ補充ヲ爲ササルトキ、航海時間ヲ遅延シタルトキ、起點終點ノ兩港ニ於ケル發着日時ヲ變更シタルトキ、郵便物揚卸ノ契約ニ違背シ若ハ寄港地ヲ省キタルトキ、其ノ他命令書ノ規定ニ違背シタルトキハ一日若ハ十二時間未滿又ハ一回毎ニ所爲ノ輕重ニ依リ相當ノ金額ヲ徴收スルコト

一、政府ノ認可ヲ得シテ契約者義務ヲ他人ニ移轉シ又ハ一年期間ニ於テ命令書ニ規定スル缺航ヲ爲シタルトキハ契約ヲ解除シ補助金ノ支給ヲ廢止シ當該年期間既ニ執行シタル航海ニ對シ支給シタル補助金ヲ還納セシメ且保證金ヲ沒收スルコト

一、前數項ニ於テ一年期間ト稱スルハ其ノ年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル一週年間ヲ謂フ

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

命令航路内容及受命者 (以下自昭和四年四月一日契約済)

航路	航海度數	使用船	受命者
△北米航路 一、桑港線 一、シヤトル線	每四週一回年十四航海 每四週一回年十五航海 附屬船年十回以上	三三三 隻隻隻	日本郵船
△南米航路 一、東岸線 一、西岸線	每三ヶ月二回年十航海 每月一回年十二航海	五五 隻隻	大阪商船 日本郵船
△郵便定期航路 一、橫濱倫敦線(橫濱倫敦間) 二、橫濱メルボルン線(橫濱メルボルン間)	二週一回年二十六航海 每月一回年十二航海	一一 隻隻	同
△阿弗利加航路 一、東岸線(神戸ダーバン間)	每月一回以上年十二航海以上	四隻	大阪商船
△南洋航路瓜哇線(神戸、スラバヤ間)	每三週一回年二十航海以上	四隻	南洋郵船
△近東主要港寄航 △玖馬寄港	每三ヶ月二回年八回 每二ヶ月一回年六回	一三 隻隻	日本郵船
△支那沿岸航路 一、南方線(上海廣東間) 二、北方線(上海天津間)	每月三回年三十六航海 每月三回年三十六航海	二二 隻隻	日清汽船

△支那航路

一、上海漢口線(上海漢口間)	每月廿回年二百五十六航以上	八隻	
二、漢口宜昌線(漢口宜昌間)	每月五回年八十四航以上	三隻	
三、漢口湘潭線(漢口湘潭間)	每月八回年六十八航以上	二隻	
四、漢口常德線(漢口常德間)	但し減水期は航行停止し又は航行度數を減少す	一隻	日清汽船
五、宜昌重慶線(宜昌重慶間)	但し減水期は航行停止し又は航行度數を減少す	四隻	
△大連線(神戸大連間)	但し減水期は航行停止し又は航行度數を減少す	四隻	大阪商船
△上海線 一、長崎上海線(長崎上海間) 二、神戸上海線(神戸上海間) 三、橫濱上海線(橫濱上海間)	每四日一回年九十航以上 每週二回百四航以上 每月五回年六十航以上	二二 隻隻隻	日本郵船
△北支那航路 一、神戸天津線(神戸天津間) 二、橫濱牛莊線(橫濱牛莊間)	每週一回年五十二航海 每月四回年四十八航海	三三 隻隻	近海郵船
△青島線(神戸青島間)	牛莊結氷の場合は天津又は塘沽に止め是等共に結氷の場合は秦皇島に寄港す 毎月六回年七十二航以上	三隻	日大木田 日阪商船 日大木田
△日本海航路 一、浦鹽斯德直航線(敦賀浦鹽間) 二、浦鹽斯德廻航線(小樽浦鹽間)	每週一回年四十六航海 每二ヶ月三回年十八航海	一一 隻隻	北日本汽船 川崎汽船

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

三、樺太線(函館大泊間) 每月五回年六十航海
 △ペトロパブロフスク線(函館ペトロパブロフスク間) 每月一回年七航海
 但冬期は航海を停止す
 △朝鮮西岸線(東京仁川間) 毎月二回年二十四航以上
 △鹿兒島那霸線(鹿兒島那霸間) 毎週二回百四航以上
 △大阪那霸線(大阪那霸間) 毎月四回年四十八航海
 △本州北海道連絡線(青森室蘭間) 毎日一回年三百六十五航海
 △地方廳補助航路
 (北海道廳) ▲函館網走千島線 (函館擇捉間、函館網走間、函館占守間、(近海郵船) 函館根室間(島谷汽船)
 ▲小樽網走線(北海郵船) ▲小樽稚内線甲線(北海郵船) 乙線(藤山海運) ▲石狩川線(藤原由藏) ▲函館日高線
 (金森商船) ▲函館釧路線(金森商船) ▲根室近海線(根室汽船) ▲函館瀬棚線(藤山海運) ▲函館小樽線(藤山海運)
 ▲函館森線(渡島汽船)
 (東京府) ▲小笠原島線(近海郵船) ▲母島姪島線(前田衛) ▲父島弟島線(淺沼丈之助) ▲父島母島線(佐藤福吉)
 ▲伊豆三宅島線、▲神津島線、▲御藏島線、▲大島線、▲八丈島線(以上)(東京灣汽船)
 (島根縣) 隱岐國線(西郷町外十一村組合)
 (鹿兒島縣) ▲五箇島線▲十島線(大洋商船)
 (沖繩縣) ▲先島線(大阪商船) ▲各離島線(沖繩汽船)
 (長崎縣) ▲九州壹岐對馬線(北九州商船) ▲長崎五島線(長崎玉ノ浦線) (長崎五島佐世保線第一線) (同上第二線)
 (九州商船)
 (富山縣石川縣) 内地浦鹽斯德朝鮮東岸線(北陸汽船)
 (新潟縣) ▲佐渡國甲線(新潟汽船) ▲同乙線(佐渡商船) ▲小木赤泊寺泊間(前佐渡汽船)

□ 航路補助内容

(兵庫縣) ▲淡路國線(播淡連絡汽船)
 ▲朝鮮並に臺灣總督府及樺太廳經營補助航路を省略す
 現在遞信省及殖民地政府が航路補助金として支出せる
 航路別補助金額左の如し
 △遠洋補助航路
 北米航路 (△十六年五、四七 △十七年三、三
 五、三六 △十八年三、八五、二五)
 南米航路 (△十六年一、七九、四六 △十七年一、八
 一七、八四 △一七、八九七)
 阿弗利加航路 四〇〇、〇〇〇
 △近海補助航路
 南洋航路 二五〇、〇〇〇
 支那沿岸航路 三四〇、〇〇〇
 青島航路 一二〇、〇〇〇
 大連航路 七〇、〇〇〇
 日本海航路 二七〇、〇〇〇
 北支那航路 一一七、〇〇〇
 上海航路 五〇〇、〇〇〇
 南支那沿岸航路 二〇〇、〇〇〇
 宜昌重慶航路 二〇〇、〇〇〇
 内地浦鹽朝鮮東岸航路 四〇〇、〇〇〇

【海 運—航路—】

朝鮮西岸航路 四〇、〇〇〇
 北海道本州連絡 四〇、〇〇〇
 北海道航路 二四四、一三四
 ペトロパブロフスク航路 三〇、〇〇〇
 大阪那霸航路 二〇、〇〇〇
 ニコライウスク航路 四〇、〇〇〇
 鹿兒島那霸連絡 五〇、〇〇〇
 伊豆諸島 一一、五九六
 小笠原東京航路 三〇、〇〇〇
 小笠原各離島 一、〇二〇
 九州壹岐對馬航路 三〇、〇〇〇
 島根縣隱岐國航路 一三、〇〇〇
 鹿兒島各離島 三四、二〇〇
 沖繩先島航路 二七、〇〇〇
 沖繩各離島 九、〇〇〇
 新潟佐渡航路 二〇、〇〇〇
 △殖民地航路
 臺灣總督府 一、〇〇二、〇〇〇
 朝鮮總督府 七八五、八〇五
 樺太廳 三四七、〇〇〇
 南洋廳 七六〇、〇〇〇

【海 運—航路—】

會社別經營航路內容

△日本郵船

△印は航海に依り途中寄港地を異にす
※印は往航のみ寄港

航路	(回数)	(使用船數)	(寄港地)
歐洲線	二週一	一一	橫濱、神戸、※門司、上海、香港、新嘉坡、※馬粒加、※彼南、古倫母、蘇士、坡西土、馬耳塞、倫敦、安土府、密土府
李浦線	毎月一	六△	蘇士、坡西土、馬耳塞、リバプール、古倫母、新嘉坡、橫濱、神戸、門司、上海、香港(大連其他ニ寄港スルコトアリ)
漢堡線	毎月一	七△	橫濱、神戸、大連、上海、香港、瓜哇、新嘉坡、古倫母、蘇士、坡西土、倫敦、ロッテルダム、ハンバーク
シヤトル線	約二週一	六	香港、馬尼刺、(各航往航又ハ復航ニ時々寄港)上海、長崎、神戸、※四日市、橫濱、ビクトリア、又ハ晚香港、シヤトル(製茶期節ニ限り往航清水寄港)
桑港線	二週一	五△	香港、上海、長崎、神戸、四日市、清水、橫濱、ホノルル、桑港
南米東岸線	毎月一	△	橫濱、名古屋、神戸、門司、桑港、西貢、新嘉坡、モンパサ、デラゴアベ、グアバン、ポルトエリサヘス、ケープタウン、サントス、ブエノスアイレス
南米西岸線	六週一	四△	香港、門司、神戸、橫濱、ホノルル、ヒロ、桑港、ロスアンゼルス、マンガニロ、バルモア、パイタ、カイヤヲ、ビスコ、モレンド、アリカ、イキケ、バルパライン
紐育線	年二〇	一〇△	橫濱、神戸、門司、馬尼刺、香港、イロイロ、基隆、上海、大連、太沽、神戸、四日市、清水、橫濱、桑港、クリストベル、紐育、ホストン、ホルチモア、ノーフオーグ、ガルヘストン、バルボア、ロスアンゼルス、ホノルル、橫濱、神戸

濠洲線	毎月一	三	橫濱、神戸、長崎、香港、馬尼刺、ザンボアンガ、木曜島、タウンズヅキル、プリスベイン、志度尼、メルホルン
孟買線	毎月二	六△	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、香港、新嘉坡、古倫母、孟買、(復航古倫母又ハ中竹林、上海及四日市ヘモ寄港ス)
甲谷陀線	毎月三	一〇△	神戸、橫濱、※門司、※名古屋、※大阪、香港、新嘉坡、彼南、蘭貢、甲谷陀、(復航上海寄港スルコトアルベシ)
瓜哇甲谷陀線	毎月一	四△	橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、バタヴキヤ、サマラン、スラバヤ、甲谷陀
甲谷陀南米線	臨時發航	△	甲谷陀、南阿諸港經由、南米、ベノスアイレス(復航歐洲紐育又ハ南阿經由、日本ニ復航ス)
南洋連絡航路	月約一	一	橫濱、神戸、門司、パラオ、トラツク、ボナベ、クサイ、ヤルイト
南洋線	二月一	一	神戸、橫濱、橫須賀、門司、サイパン、トラツク、ボベナ、クサイ、ヤルイト
南洋線	二月一	二	神戸、橫濱、橫須賀、門司、二見、サイパン、トラツク、ヤツプ、パラオ、アンガール、メナード
根室上海線	毎月約	二	根室、釧路、函館、上海、鹿兒島、唐津
大阪上海線	毎週二	四	大阪、神戸、門司、上海
橫濱上海線	六日一	三	(橫濱、大阪、神戸、門司、長崎、上海(内一隻ハ往復航門司寄航ニ代ヘ名古屋寄港))
大阪漢口線	毎月一	一	大阪、神戸、門司、漢口(冬期長江減水中ハ休航)
神戸長崎上海線	一週二	二	神戸、長崎、上海間
大阪青島線	毎月二	一	大阪、神戸、宇品、門司、青島

△大阪商船

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

日本歐洲線	紐育線	南米線	孟買線	阿弗利加線	日本甲谷陀線	日本瓜哇甲谷陀線	濠洲線	南洋線
自由線	命令線	自由線	命令線	自由線	命令線	自由線	命令線	自由線
每月一	每月一	年一〇	每月一	每月一	每月一	每月一	每月一	每月一
六	六	六	六	四	三	四	三	二

往航橫濱、神戶、大連、上海、香港、新嘉坡、古倫母、亞丁、坡蘇丹、蘇士、坡西土、倫敦、安土府、ロツテルダム、漢堡、武烈面、復航漢堡、ロツテルダム、安土府、坡西土、蘇士、新嘉坡、香港、上海、大連、神戶、大阪、橫濱、復航上海、神戶、四日市、清水、橫濱、ピクトリヤ、シアトル、大連、門司、大連、太沽、復航タコマ、シアトル、ピクトリア、橫濱、神戶、大阪、門司、大連、太沽、青島、上海

往航上海、太沽、神戶、四日市、橫濱、桑港、ロスアンゼルス、バルホア、クリストバル、紐育

復航紐育、バルホア、クリストバル、桑港、橫濱、神戶、門司、上海、香港

往航神戶、四日市、橫濱、神戶、長崎、香港、西貢、新嘉坡、古倫母、ダーバン、ホートエリザベス、ケープタウン、リオデジヤネロ、サントス、モンテビデオ、カ、ベノスアイレス

復航ベノスアイレス、サントス、リオデジヤネロ、ニューオリンス、ガ、ルベストン、クリストバル、ロスアンゼルス、橫濱、神戶

往航橫濱、名古屋四日市、大阪、神戶、門司、香港、新嘉坡、彼南、古倫母、孟買

復航孟買、新嘉坡、香港、上海、門司、神戶、大阪、四日市、名古屋、橫濱

往航神戶、門司、香港、新嘉坡、古倫母、モンバサ、サンシバル、タレサラム、ヘイラ、デラゴア、ハイ、ダーバン

復航ダーバン、モンバサ、新嘉坡、門司、神戶

橫濱、名古屋、大阪、神戶、門司、香港、新嘉坡、彼南、蘭貢、甲谷陀

橫濱、名古屋、大阪、神戶、門司、瓜哇、新嘉坡、甲谷陀、蘭貢、新嘉坡、香港、內地

往航橫濱、名古屋、神戶、門司、馬尼刺、ホートランド、プリズベン、シドニ、メルボルン

復航メルボルン、シドニ、プリズベン、セブ、神戶、大阪、橫濱

橫濱、名古屋、大阪、神戶、門司、基隆、マニラ、サンダカン、パタピヤ、スラバヤ、復航クリスマス、マカツサ、サンダカン、香港、高雄、基隆、內地

橫濱、名古屋、大阪、神戶、門司、基隆、香港、西貢、盤谷、高雄、基隆、內地

【海 運—航路—】

九州	大阪	京濱	大坂	大坂	大坂	浦鹽	高雄	橫濱	高雄	基隆	蘇澳	基隆	大坂	大坂	大坂	沿臺	臺東	橫濱	神戶	西貢	基隆
鮮馬	朝鮮	清津	安東	仁川	直川	天航	大連	大連	大連	香港	花港	福州	天津	青島	大連	西東	東東	高雄	盤谷	海防	
線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線	線
月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一
一	二	三	二	三	三	一	三	二	一	二	一	一	三	一	四	一	二	八	三	二	二

基隆、廈門、汕頭、香港、廣東、海口、北海、海防

名古屋、大阪、神戶、基隆、(高雄)、香港、西貢、盤谷

神戶、門司、基隆

橫濱、大阪、神戶、宇品、門司、長崎、基隆、馬公、安平、高雄

基隆、蘇澳、花連港、臺東、海口、高雄

基隆、馬港、高雄、高雄、馬港間往復

大阪、神戶、(宇品)門司、大連

大阪、神戶、宇品、門司、青島

大阪、神戶、門司、天津

基隆、廈門、福州

蘇澳、花蓮港

基隆、廈門、汕頭、香港

高雄、廈門、汕頭、香港、廣東

橫濱、名古屋、大阪、神戶、門司、大連

高雄、基隆、福州、上海、青島、大連、天津

敦賀、浦鹽

大阪、神戶、門司、釜山、木浦、群山、仁川

大阪、神戶、門司、釜山、木浦、群山、仁川、南浦、安東縣

大阪、神戶、宇品、門司、釜山、元山、城津、清津、雄基

東京、橫濱、清水、名古屋、大阪、神戶、門司、木浦、群山、仁川、南浦、安東、馬山

神戶、坂出、門司、釜山

甲便 仁川、大連、鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島、三角、長崎

乙便 仁川、鎮南浦、大連、仁川、長崎、鹿兒島、三角、長崎、釜山、木浦、群山

【海運—航路—】

東京九州線	每月四	二	芝浦、橫濱、門司、長崎、三角、芝浦
那霸基隆線	每月五	二	那霸、宮古、八重山、西表、基隆
大阪沖繩線	每月五	三	大阪、神戶、油津、名瀨、那霸、鹿兒島
大阪那霸線	每月五	二	大阪、神戶、名瀨、那霸
鹿兒島那霸線	每月十	二	鹿兒島、大島、那霸
大島各島線	每月六	二	鹿兒島、名瀨、喜界島、古仁屋、德ノ島、沖永良部島
宇阪鹿兒島線	隔日一	三	神戶、高濱、土々呂、內海、油津、福島、波見、鹿兒島
大阪高松直航線	隔日一	一	大阪、神戶、高松
大阪山陽線	隔日一	一	大阪、神戶、四國及山陽各港經由門司、下關
字品別府線	隔日一	四	宮島、柳井津、鶴川、大分
四國大阪若松線	隔日一	一	大阪、神戶、四國各港經由門司、若松
四國大阪若松線	隔日一	六	大阪、神戶、四國各港經由門司、若松
大阪別府線	隔日一	二	神戶、高松、高濱、大分、別府
大阪細島線	隔日一	五	大阪、神戶、四國各港經由細島
大阪四國線	隔日一	五	大阪、神戶、四國九州各港經由宇和島、宿毛
大島十島線	隔日一	一	鹿兒島、登名島經由名瀨
大阪高知線	隔日一	二	大阪、神戶、高知
大阪須崎線	隔日一	一	大阪、神戶、須崎
別府宇和島線	隔日一	二	別府、宇和島
大阪小松島線	隔日一	四	大阪、神戶、小松島
大阪德島線	隔日一	二	大阪、兵庫、德島
大阪勝浦急行線	隔日一	二	大阪、紀州各港經由勝浦
大阪名古屋線	隔日一	五	大阪、神戶、紀勢各港經由四日市、名古屋

△近海郵船

橫濱牛莊線	每月五	四	橫濱※四日市又八名古屋、大阪、長崎、※仁川、大連、※天津、牛莊(冬期二限リ往復航神戶二寄港)
神戶天津線	每五日	三	大阪、神戶、門司、天津
神戶基隆線	二週三	三	神戶、門司、基隆
橫濱高雄線	每月二	三	橫濱、大阪、神戶、門司、基隆、安平、高雄
高雄、大阪、北海道線	月三	二	△
若松、大治線	月八	四	函館、京濱、阪神、宇品、門司、鹿兒島、基隆
芝浦、真岡線	月約二	八	若松、上海、漢口、太治
小笠原線	(每月一) 乃至(二)	二	芝浦、橫濱、函館、小樽、大泊、真岡
神戶小樽線	每月六	一	橫濱、八丈島、父島、母島、沖港、(母島北港二年八回、北硫黃島中硫黃島二年四回、青ヶ島、鳥島二年一回寄港)
門司小樽線	每月三	五	神戶、大阪、橫濱、函館、小樽
東京小樽線	月約六	二	門司、函館、小樽
橫濱小樽線	每月二	三	東京、橫濱、函館、小樽
函館太線(冬期)	每月六	一	橫濱、函館、小樽、大泊
小樽太線	每月三	二	函館、小樽、大泊、真岡(本斗へ夏期每月二回寄港)
小樽惠須取亞港線	每月三	一	小樽、大泊、真岡
大泊樺太東海岸線	每月三	一	小樽、真岡、泊居、惠須取、安別、亞港
函館千島網走線(冬期) 根室止	每月三	一	大泊、富内、榮濱、東白浦、馬群丹、元泊、東和取、敷香
		△	函館、釧路、厚岸、霧多布、根室、羅臼、斜里、網走、占守

△北日本汽船

【海運—航路—】

【海運—航路—】

青森室蘭連絡線	每日二	青森室蘭往復(鐵道連絡)
伏木樺太線	月四	滑川、魚津、新潟、小樽、大泊、本斗、真岡、野田、泊居、久春内、惠須取
小樽真岡直航線	月三	小樽、真岡
小樽大泊線	月六	小樽、函館、門司、神戸、大阪行
東京樺太線	月六	函館、小樽、樺太、西海岸各港行
小樽泊居線	冬月三	小樽、真岡、野田、泊居、海馬島
函館安別線	每月四	西海岸國境迄各地行
函館能登線	每月四	東海岸海豹島迄各地行
小樽惠須取線	每月五	小樽、真岡、野田、泊居、惠須取
稚内本斗連絡線	每日二	稚内本斗(鐵道、船車連帶航路)
函館真岡線	夏月三	函館、小樽、大泊、本斗、内幌、武意泊
知取急行線	夏每週一	榮濱、元泊、知取、泊岸、内路、敷香
敦賀浦鹽津線	一週一回	敦賀、浦鹽
敦賀清津線	月三	敦賀、清津

△南洋郵船

日本南洋 三週一回 四 (神戸、門司、基隆、バタビヤ、サマラン、スラバヤ、サマラン、マカツサ、バリ、クババン、香港、門司、神戸、横濱)

△日清汽船

上海漢口線 月二十回以上八 鎮江、南京、蕪湖、九江

漢口宜昌線	月九	三	沙市
漢口湘潭線	月二	二	長沙
漢口常德線	每週一	一	
南支那沿岸線(南方)	月三	二	汕頭、香港
南支那沿岸線(北方)	月三	二	(往航)青島(復航)大連、青島
大阪漢口線	四週一回	一	神戸、門司
宜昌重慶線	月六回	二	万縣

△朝鮮郵船

清津敦賀線	月二回以上	各月二回以上	冬期二
釜山浦鹽斯德大阪線	月二回以上	二	
朝鮮北支那線	月二回以上	一	
新義州大阪線	月二回以上	二	
朝鮮上海線	月一回以上	一	
雄基關門線	月三回以上	三	

【海運—航路—】

清津(起點)城津、元山、敦賀(終點)新舞鶴、舞鶴、宮津
 大阪(起點)神戸、關門、釜山、元山、城津、清津、雄基、浦鹽(終點)
 臨時小豆島、尾道、宇品、吉浦、博多
 仁川、鎮南浦(結水中ヲ除ク)新義州(結水中ヲ除ク)芝罘、大連、青島、臨時威海衛但シ周回航ナリ
 鎮南浦(結水中ヲ除ク)仁川、群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪、冬期ハ鎮南浦又ハ仁川止メ、臨時小豆島、尾道、宇品、吉浦、博多
 仁川(起點)鎮南浦(結水中ヲ除ク)群山、木浦、釜山、上海、青島但シ周航群山、木浦ハ交互寄港トス、新義州
 清津、獨津、漁大津、城津、端川、遮海、新昌、群仙、新浦、洪原(前津)兩湖津、元山、江凌(注文津)方魚津、釜山、每航神戸、大阪ニ延長ス
 臨時西水羅、大良化、泗浦、長箭、杆城(正津)襄陽(大浦)竹邊、丑山、浦、盈德(江口)長生浦、博多

【海 運—航路—】

元山 清津線	月一五回以上	二	往復共城津寄港
釜山 元津線	月九回以上	三	〔長生浦、方魚津、甘浦、九龍浦、浦項、盈德、寧海(大津)平海、竹邊、三涉、江陵、津陽、襄陽、長箭、通川〕
釜山 鬱陵島線	月四回以上	一	〔長生浦、方魚津、甘浦、九龍浦、浦項、盈德、丑山浦、寧海、平海、竹邊〕
釜山 濟州島線	月五回以上	一	麗水、巨文島、金寧、朝天、濟州(山地)、翰林、表善里
釜山 濟州島關門線	月二回以上	一	〔大阪(起點)下關、釜山、馬山、麗水、城山浦、金寧、朝天、濟州、翰林西歸浦、表善里〕
木浦 濟州島線	月四回以上	二	濟州島東廻線
仁川 木浦線	月三回以上	一	安島、濟州、朝天、金寧、城山浦、表善里、西歸浦(終點)翰林、濟州、秋子島
仁川 鎮南浦線	月四回以上	一	濟州島西廻線
朝鮮長崎大連線 (大阪商船共同受命)	月二回以上	二	秋子島、濟州、翰林、西歸浦、表善里、城山浦、金寧、朝天
朝鮮 西岸線	月二回以上	二	多島海線
仁川 海州線	月廿六回以上	二	箕佐島、飛禽島、牛耳島、大黑山島、梅加島、黑山島
元山 長箭線	每月一回往復	一	〔舊島、安興、慈川、於青島、群山、茁浦、法聖浦、蝟島(月二回以上)鞍馬島(月二回以上)荏子島(月二回以上)〕

大阪 清津線	月一回以上	一	大阪、神戸、宇品、門司、釜山、元山、清津
清津 雄基線	各日	一	臨時 梨津寄港、西水羅ニ延長スルコトアルベシ
大阪 濟州島線	月二回以上	一	大阪、下關、濟州島(城山浦ヨリ島一周スルモノ)木浦
元山 雄基線	月八回以上	二	〔西湖津、前津、新浦、新島、遮湖、群仙、瑞川、城津、泗浦、洞下、多津漁大津〕
木浦 濟州島線	月五回以上	一	〔所安島、濟州、朝天、金寧、城山浦、表善里、西歸浦、翰林、涯月里、秋子島〕

△大連汽船

大連安東天津線	每月五回	一四	大阪商船大阪大連定期船接續
大連青島上海線	每月一〇回	三	
大連龍口線	每月六回	一	
大連香港線	月三回	三	
營口大連門司阪神線	二月三回	一	

△尼崎汽船

朝鮮線	一	二	神戸、門司、釜山、木浦、群山、仁川				
濟州島線	月一	一	大阪、濟州島				
鹿兒島線	中國線	岡山線	播州線	藝豫線	宇品今治線	伊豫廻下關線	岡山高松線

△國際汽船

【海 運—航路—】

【海運—航路—】 國 際 航 路

濠洲線(山下及川崎ト共同) 每月一回
 〔橫濱、名古屋、プリズベン、シドニー、メルボルン、アデレード、往復(復航大阪寄港)〕
 孟買 線 年十二回
 〔橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、香港、新嘉坡、コロンボ、孟買(往復航路)〕
 紐育極東線 每月二回
 北米大西洋岸諸港、メキシコ灣諸港、巴奈馬經由、日本、支那
 漢堡極東線 年九回
 歐洲大陸北岸、蘇士經由、新嘉坡、香港、上海、長崎、神戸、橫濱
 伊太利紐育線 每月一回
 セノア外伊太利西岸諸港、シシリ島、西班牙東岸諸港、紐育、ホストン
 紐育漢堡線 二週一回
 〔紐育、漢堡、(往復航路)〕
 橫濱高雄線 每月一回
 〔橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、基隆、高雄〕

△川崎汽船

北米線
 沙市線 月四回
 〔往航 上海、大連、青島、芝罘、神戸、名古屋、橫濱、桑港、沙市、坡士蘭、晚香坡〕
 桑港線 月一回
 〔復航 桑港、坡士蘭、コロンビア、沙市、ヒウゼットサウンド、晚香坡、橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、上海、青島、大連、太沽、芝罘〕
 坡士蘭線 月一回
 〔往航 上海、大連、青島、芝罘、神戸、名古屋、橫濱、坡士蘭、桑港〕
 羅府線 月一回
 〔復航 上海、青島、芝罘、大連經由、神戸、名古屋、橫濱、桑港、羅府〕
 紐育ガルフ極東線 乃至二回
 〔往航 上海、青島、芝罘、大連經由、神戸、名古屋、橫濱、桑港、羅府、ヒューヨーク、費府、ノルホーク、バルチモア、サバンナ、ジャクソンビル、ニューオルレアンス、ガルベズトン、ヒュウストン、羅府、橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、上海、青島、大連、太沽、芝罘〕
 歐洲極東線 年九回
 〔國際ト共同〕
 〔往航 古倫母、シンガポール、香港、上海、大連、門司、神戸、大阪、名古屋、橫濱〕

【海運—航路—】

濠州線(山下國際ト共同) 年十二回
 〔往航 橫濱、名古屋、神戸、プリズベン、シドニー、メルボルン、アデレード(往復)〕
 浦鹽廻航線 年二十回
 小樽、浦鹽、七尾、伏木、新潟、船川、青森、函館、小樽
 大阪數香線 年十五回
 大阪、名古屋、橫濱、函館、小樽、大泊、元泊、東知取、數香(往復)
 臺灣線 每月一回
 橫濱、名古屋、大阪、神戸、門司、基隆、高雄(往復)
 北海道上海臺灣線 每月二回
 〔往航 根室、釧路、室蘭、函館、上海、基隆、高雄、名古屋、橫濱、函館、小樽〕
 京濱阪神南鮮線 冬期每月八回
 〔往航 安東縣、鎮南浦、仁川、群山、木浦、瀨戶内海諸港、神戸芝浦間諸港(往復)〕
 京濱阪神北鮮線 冬期每月三回
 〔往航 雄基、元山諸港間、瀨戶内諸港(往復)〕
 夏期每月一回
 〔往航 神戸芝浦間諸港(往復)〕
 阪神釜山線 冬期每月五回
 釜山、瀨戶内諸港、阪神(往復)
 夏期每月二回
 〔往航 橫濱、函館、オハ、マイオ、チャイオ、外小樽〕
 北樺太線 夏期二十回
 函館、小樽、樺太東岸諸港(往復)
 函館樺太線 年數十回
 浦鹽、門司、瀨戶内諸港、阪神、伊勢灣、清水、橫濱
 浦鹽斯德裏日本線 年數十回
 浦鹽、境、小樽間、裏日本諸港
 芝浦阪神線 月五回
 芝浦、橫濱、大阪、神戸

△三井船部

北米線 月二、三回
 〔往航 內地、北米太平洋岸〕
 盤谷內地線 每月一回
 〔往航 名古屋、神戸、大阪、門司、西貢、盤谷、基隆、朝鮮、門司、神戸、大阪、名古屋〕

【海運—航路—】

佛郵船	客	六	八	二週	二週	八	貨客	二週	二週
漢米線	客	二	二	二週	二週	六	貨客	二週	二週
北獨ロイド		九	二	二週	二週	七	貨	二週	二週
リツクマース				二週	二週	五	貨	二週	二週
埃匈ロイド				每月	二週				
トリエスチノ				每月	二週				
瑞丁東亞汽船				二週	二週				
和蘭東亞汽船				二週	二週				
東亞汽船				二週	二週				
諸亞濠ライン				二週	二週				
グラー汽船				二週	二週				
△北米航路									
(甲)北米太平洋方面									
日本郵船		五	六	二週	二週	四	貨客	二週	二週
大阪商船		六	二	二週	二週	五	貨客	二週	二週
加奈陀太平洋		五	二	二週	二週	六	貨客	二週	二週
加奈陀運輸		三	二	二週	二週	五	貨客	二週	二週
青筒線		三	四	二週	二週	四	貨客	二週	二週
ローヤルメール		九	四	二週	二週	四	貨客	二週	二週

【海運—航路—】

マンチュリアン						二	貨	月	二週
青筒線						九	貨	月	二週
プリンスライン						五	貨	月	二週
ドツドウエル						七	貨	月	二週
パンクライン						八	貨	月	二週
カールライン						六	貨	月	二週
グラーライン						八	貨	月	二週
△南米航路									
(甲)南米東海岸方面									
日本郵船		五	五	二週	二週	五	貨客	月	二週
大阪商船		五	五	二週	二週	五	貨客	月	二週
(乙)南米西海岸方面									
日本郵船		四	四	二週	二週	四	貨客	月	二週
△阿弗利加東岸航路									
日本郵船		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
大阪商船		四	四	二週	二週	四	貨客	月	二週
△濠洲航路									
日本郵船		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
大阪商船		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
北獨ロイド		三	四	二週	二週	三	貨客	月	二週
東濠汽船		四	三	二週	二週	三	貨客	月	二週

漢米線		四	一	三月	月	一	貨	月	二週
大北汽船		一	三	月	二週	一	貨	月	二週
アドミラル線		七	五	二週	二週	七	貨客	月	二週
グラーライン		八	四	二週	二週	八	貨客	月	二週
三井物産		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
オセアニック		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
オリエンタル		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
亞米利加汽船		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
タコマカリ		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
エンタル		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
川崎汽船		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週
三菱商事		五	四	二週	二週	五	貨客	月	二週
(乙)北米太平洋方面(巴奈馬經由)									
日本郵船		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
大阪商船		五	五	二週	二週	五	貨客	月	二週
アイス		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
ミアンライン		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
米ピオネ		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
アライン		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
國際汽船		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
パンクライン		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
フアンライン		七	七	二週	二週	七	貨客	月	二週

日本濠洲線						三	貨	月	二週
△印度航路									
(甲)カルカッタ航路									
日本郵船		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
大阪商船		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
彼阿汽船		三	三	二週	二週	三	貨客	月	二週
埃匈ロイド		四	四	二週	二週	四	貨客	月	二週
ロイドトリ		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
エスチノ		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
(丙)西貢盤谷航路									
大阪商船		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
三井物産		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
△南洋航路									
南洋郵船		四	四	二週	二週	四	貨客	月	二週
日本郵船		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
大阪商船		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
瓜哇支那日本線		六	六	二週	二週	六	貨客	月	二週
東ボルネオ		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週
ライン		二	二	二週	二週	二	貨客	月	二週

【海運—航路—】

大阪商船	日本郵船	大阪商船	日本郵船	大阪商船	日本郵船	大阪商船	日本郵船
△比律賓航路	△支那航路	△支那航路	△支那航路	△支那航路	△支那航路	△支那航路	△支那航路
二	二	二	二	二	二	二	二
貨	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客
三週一回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回

▲航路別國別配船(本邦關係定期船)

郵船、商船、原田共營	北日本汽船	勞農政府	歐洲航路
三	一	一	大正三年九月
貨客	貨客	貨客	昭和四年六月
月六回	一週二回	年七回	

日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船
△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路
二	二	二	二	二	二	二	二
貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客
年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回

日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船	日本郵船
△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路	△北米航路
二	二	二	二	二	二	二	二
貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客	貨客
年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回	年十三回

【海 運—航路—】

▲自昭和三年七月 社外船配船表 (重量二千噸以上)
至昭和四年六月

航路	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
(自營船)	二,〇七〇,三三三	二,〇四五,二二一	二,〇六六,二六六	二,〇四八,八三六	一,九八五,〇二一	一,九六三,八八六
(內國備船)	一,三三六,八五五	一,三五六,二五五	一,三〇八,五〇〇	一,三五八,六〇〇	一,四六七,九三五	一,四九三,三五〇
歐洲航路	二四七,三六七	二二二,七〇〇	二四六,四〇八	二〇六,八九九	二四八,一六四	二二九,二〇〇
南米方面	六五,〇七三	六六,八八〇	三五,九〇三	二六,八〇〇	一七,七七八	二六,八四五
北米大西洋	七,六一〇	二六,八九九	八〇,九四四	六五,四二七	一〇,六七五	一〇,六七九
北米太平洋	五三三,七〇三	五〇九,九二九	五三三,九三三	七三九,五〇四	八九五,〇一三	九八〇,八〇八
濠洲航路	五七,一〇一	五二,三七八	五一,三〇八	五一,三〇八	一〇二,五四三	一四一,一三八
南洋印度支那	二七,七五三	二五,七三三	三三九,〇三六	三三三,三〇七	二九五,八三三	三三三,三五二
近海一區	二,〇九五,七九九	二,〇五〇,三三三	二,〇〇七,二五四	一,七四九,五六五	一,五九〇,一一四	一,四六四,六五三
入渠中	七六,五五一	一四二,七八二	七三,三九六	一九二,七四六	一四三,四八〇	一五六,九二二
停繫船	一八,二五五	二六,七三三	二六,七三三	五四,三五〇	五四,三五〇	一四,一五七
御用船	二,八二九	五,二五〇	四四,三〇一	一一,四〇九	三,九五四	一八,八三三
遭難船	—	—	—	七,八八〇	—	八,一三六
航路	—	—	—	—	—	—
(自營船)	二,〇九六,四二〇	二,〇四七,九八四	二,〇〇六,五〇七	一,〇五四,三八八	二,〇〇四,〇〇四	一,九八五,七九五
(內國備船)	一,三五七,三三一	一,三九八,二八〇	一,四三三,八三五	一,三七七,三〇六	一,三六七,六八〇	一,四八四,一七九
歐洲航路	二六八,〇〇〇	三〇四,四一六	三〇四,四三二	二六六,三九九	二六六,九九九	二〇一,三三三
南米方面	九,〇六七	九,〇六七	一七,七八三	二六,八〇六	三五,七八八	—
南亞方面	一七,七八八	一七,七八八	一〇,六七五	一〇,六七五	一〇,六七五	—

北米太平洋
北米太平洋
濠洲航路
南洋印度支那
近海一區
入渠中
停繫船
御用船
遭難船

五六,四三〇	一五,九四三	六,七五三	二四,〇〇九	二四,二四四	三〇,二四四
九六四,四五三	九八八,九七七	九〇一,四四七	八三九,五九四	八五三,二七〇	六五,九八二
二四五,五一一	二九〇,五八一	一八八,九四九	一五三,四一七	一〇四,三三六	二七,六六四
四六二,四三三	四一八,四七〇	五二九,九二二	五一,八七二	四六八,〇七八	五三,八三三
一,一七二,三三一	一,〇〇四,九三二	一,〇〇九,七三三	一,二八八,二五六	一,三三三,八九六	一,七八一,一五六
一九三,四二〇	三三,九八五	二八四,七七七	三三,一〇四	三三,六二二	一五一,六五六
五八,六四七	四八,三三七	三七,九七七	三七,九七七	一六,二六五	一六,二六五
—	七,五〇〇	一三,〇二八	一三,〇二八	四八,二三八	一〇,六八八
八,一八三	一七,〇三三	一七,二二六	一九,四一六	一九,四一六	三〇,二五一

▲本邦 繫船狀況 調

汽船	帆船	合計	昭	和	四	年	一	月	汽船	帆船	合計
九〇隻	一三一	三三二	同	同	同	同	同	同	一五三	二二六	三七九
二六,三三噸	三,七四六	元,〇三八	同	同	同	同	同	同	九,八三〇	四,八〇七	一四,六三七
一,一〇〇	一三三	二四三	同	同	同	同	同	同	二二七	二七三	四〇〇
五,七六五	一四,五三一	六九,二八六	同	同	同	同	同	同	九,五六三	三六,一九三	四六,七五六
一,二二	一三三	二四四	同	同	同	同	同	同	二一七	二六一	三三三
三五,六〇〇	一四,五九一	五〇,二一一	同	同	同	同	同	同	八,五三三	三五,七三六	四四,二六九
一,四三二	一三六	二七八	同	同	同	同	同	同	七,五〇五	二五三	九,〇五八
三,四六三	一,三九七	四七,八九九	同	同	同	同	同	同	二,五七八	三,〇八三	五,六六一
一,六二	一九	二八一	同	同	同	同	同	同	三,三七三	二六三	四,〇三六
六,三三六	九,一八〇	七〇,四一六	同	同	同	同	同	同	八,五二一	三八,八八四	四七,四〇五
一,三四	二二八	二六二	同	同	同	同	同	同	一,三四	二六三	三七七
二,四四九	九,〇三三	三〇,四七三	同	同	同	同	同	同	九,三八六	四〇,五二九	五〇,九一五

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

▲世界繫船狀況調

(單位千總噸)

米國	一九二六年一月	一九二九年一月	佛國	一九二九年一月	日本
英國	三、九六	二、八六	希臘	七、〇	三、七
伊太利	五、五	四、七	瑞典	三、三	三、六
諾威	二、六	二、二	西班牙	三、三	一、五
	三	三	濠洲	元	四、三
				不明	三、九
				總計	六、一
					三、九

▲世界汽船會社主要航路

(巴拿馬經由航路)

□太西洋、南米及中米間航路

△太平洋汽船會社

(北米)クリストバル、シヤンペリコ間 (南米)バルパライソ、コロソ、コロネル、シヤンペリコ

トコマイク、アドリアン諸港間 毎二三日一回

智利、秘露、バルパライソ間 二週一回

クリストバル、ナベンチュラ、トマコ間 三週一回

△南米汽船會社

クリストバル、バルパライソ間 週一回 秘露、智利、諸港、

△秘露汽船會社

クリストール、秘露間 週一回 モレマド、秘露ペータ、エテン、バカスマヨ、サラベリカラオ其他南部諸港

△太平洋鐵業會社

クリストール、パナインチュラ、コロソビヤ間 月二回

△コロソビヤ運輸會社

クリストール、パナインチュラ、トマコ間 月二回

右の内太平洋鐵業會社を除く他は貨客運輸併營す

□大西洋より太平洋岸中央及北米航路

△太平洋郵船會社 十五日一回 中米及墨西哥諸港、北米大西洋岸南米太平洋岸に至る

クリストバル、桑港間

□マーチャッツ航路

△グレース商會

紐育インクアドア、秘露及智利間 週一回

△太平洋運輸會社

紐育、バルパライソ間 二週一回 カラオ、マレンド、アリカ、イキク、アントフアガスタ

△米國鋼業會社

紐育、バルパライソ間 三週一回

△ニューオリアンズ南米汽船會社

ニューオリアンズ、ユクドア、秘露及智利間 月一回

△ニューオリアンズ、クリストバル間—ハバナ及ボトリリカン、トリニダット、ガデルプ、クリストバル、

△グレース汽船會社

紐育、秘露、智利間 二十日一回 (客船二隻)更に(三隻二週一回の計畫中)

△セ、ウエスト、コースト汽船會社

紐育、智利及秘露間 三週一回(一隻)

(以上南北兩米汽船會社航路配船範圍)

□歐洲太平洋間航路(歐洲南米太平洋岸間)

△東亞汽船會社

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

コッペンハーゲン、バルパライソ間 二週一回 ゴッテンブルヒ、クリスチヤニヤ經由バルパライソ及其中間諸港

△シヨソン汽船會社

瑞典及スカンヂナビヤ諸港よりバルパライソ其他の南米西岸港に至る間 二月一回

△ノーチラス汽船會社

英國、南米西海岸 月一回 英國諸國よりマゼラン海峡經由南米西岸、巴奈馬經由英國諸港

△ロイヤル、グッチ、ウニスト、インディア郵船會社

ロツテルダム、南米西岸間 月一回

△太平洋運輸會社

英國、秘露、智利間 週一回 巴奈馬經由及マゼラン經由

△ゼネラル、トランス、アトランチック汽船會社

ハーブル、バルパライソ間、ドエクアドア、秘露、智利諸港

△シヨソン汽船會社

スカンヂナビヤ諸港桑港間 四週一回 (乗客のみ)

△瑞典、桑港間 二月一回

△諸威太平洋汽船會社

スカンヂナビヤ、北米太平洋岸間 (發動機船)

△ハリソン、デイレイト汽船會社

英國、ビユーゼットサウンド間 六週一回

△ラ、ベロス汽船會社

ゼノア、バルパライソ間 二月一回

馬耳塞、バルセロナ、テネリフ、バルバドス、トリニダット、ウエネズエ

ラ、キエラソー、コロンビヤ諸港、ポリーリモン、クリストバル、エグアドア、秘露及智利諸港、

□歐洲北米西海岸航路

△東亞汽船會社

△メーブルリーフ汽船會社

歐洲、紐育、晚香坡間 五週一回 紐育、晚香坡、カルフォルニヤ、サンタロザリア、諸港歐洲

△イースト、アデアチツク會社

桑港基點 月一回 歐洲航路

□大西洋岸太平洋岸間航路

北米大西洋岸より日本、西伯利亞、支那及び比律賓群島間航路

本航路に従事する汽船會社は貨物の如何によりて配船さるるものなり

△米國東亞汽船會社

△ハーバー汽船會社

△シユワーンゼームス汽船會社

△アルフレッド、ホールスト汽船會社

以上の諸會社は紐育を起點として十日に一回配船す

△米國滿洲汽船會社 (三週一回)

△日本郵船會社 (月一回)

△國際ライン (月一回)

△ノルトリリー汽船會社 (略月一回)

△大阪商船會社 (略月一回)

玖馬經由日本、ニユーオカリアンズ間 (月一回)

△東亞汽船會社

巴奈馬經由極東間 (臨時)

巴奈馬經由極東丁抹間 (臨時)

△巴奈馬極東汽船會社

【海 運—航路—】

【海 運—航路—】

- ニユーオリアンス、モビル、墨西哥灣沿岸諸港、日本間 (臨時)
- △東洋汽船會社
- 玖瑪、巴奈馬及び桑港經由紐育東洋間 (六十日一回配船)
- △プリンス汽船會社
- ホストン紐育極東間 (臨時)

□太平洋アンチホーツ間(合衆國大西洋岸より濠洲新西蘭間)

- △セ、ユナイテッド、エンド、オーストラリア會社
- 紐育、新西蘭諸港濠洲間 (月一回)
- △エラーマン會社
- 紐育より濠洲、新西蘭間 (不定期)
- △リユッケンバツハ汽船會社
- △フエデラル汽船會社
- 新西蘭紐育間 (六週一回)
- △アメリカン、ライストラリヤ會社
- 紐育濠洲間 (月一回)
- △コンモンウェルス、エンド、ドミニオン會社
- 同 上 (四週一回)
- △新西蘭汽船會社
- 新西蘭英國間 二十八日一回
- △コンモン、ウエルス、ガヴァイメント
- 英國濠洲間 三週一回 合衆國諸港經由
- △セ、シオウ、サザイル、エンド、アルピオン會社
- 英國新西蘭間 (客) 月一回 (貨) 二週一回

△大西洋汽船會社

大西洋岸桑港間 三週一回 コロンビヤ、ハバアナ經由バルチモア、桑港
 大西洋岸桑港間 三週一回 中央亞米利加諸港經由桑港
 本項は昭和元年三月現在なれば其後變更ありて現状 相違を免れず

▲蘇士運河通過統計

年度	隻數	總噸數	貨物噸數
一九二三年	五、〇八四	二七、七三三	二五、七七六
一九二〇年	四、〇〇九	二四、二四四	二七、〇四七
一九二二年	三、九七五	二四、九五六	二七、五〇九
一九三三年	四、四六二	二八、六一一	二二、三六〇
一九三二年	四、四六二	三二、三三九	三三、七七七
一九三一年	四、六三一	三三、六三三	三五、五九
一九三〇年	五、一三三	三六、九二〇	二六、五七八
一九二九年	五、三三七	三六、一三三	二五、四〇九
一九二八年	四、九八〇	四〇、二二七	二九、五三五
一九二七年	五、五五四	四四、一〇〇	三三、六三三
一九二六年	六、〇八四		

英國名國別通過船隻數 運河噸數 總噸數
 三、三三三 一八、二四 二五、〇一六

【海 運—航路—】

▲巴奈馬運河通過統計

年度	隻數	運河噸數	總噸數	貨物噸數
一九二五年	一、二五四	三、九〇二	四、八九五	

和蘭	獨逸	佛國	伊太	日本	米威	諾威	瑞典	丁抹	希臘	其他	合計
六二七	六二一	三五九	三六三	一五八	一三三	一四九	六	七	九	八	六、〇八四
三、三三九	三、〇〇〇	一、九三六	一、六四九	九四〇	七九	六六六	三〇七	三五三	二八〇	二七七	三、一九〇五
四、六〇三	四、九七一	二、七六五	二、二七〇	一、二七六	九八一	四一五	四六九	三七四	三六三	三三三	四四、一〇〇

【海 運—備船—】

▲世界備船料消長

(指數ハ一九二〇年ヲ一〇〇トス)

倫敦市場	一九二五年三月	四一〇
紐約市場	一九二六年三月	三一五
弗仙	一九二七年三月	四一六
世界指數	一九二八年一月	三一〇
	一九二七年三月	三一〇
	一九二六年三月	三一〇
	一九二五年三月	三一〇
平均	三月	三一〇
	四月	三一〇
	五月	三一〇
	六月	三一〇
	七月	三一〇
	八月	三一〇
	九月	三一〇
	十月	三一〇
	十一月	三一〇
	十二月	三一〇

▲備船成約月別記録 (主要成約標準)

△昭和三年七月

船名	重量噸	期間	航路	備船料	借主
船東	二、三〇〇	一ヶ月	近海一區	三、八〇	日本食鹽
東國	三、六〇〇	一航海	尼港	二、五〇	帝國汽船
大久	四、四〇〇	一航海	太港	三、七〇	山下汽船
喜久	五、〇〇〇	一航海	沿州	一、七五	帝國汽船
三豐	六、三二〇	一航海	海州	一、五〇	帝國汽船
臺海	六、七〇〇	一航海	近海一區	二、一〇	樺太汽船
神護	六、八〇〇	一航海	太港	一、七〇	山下汽船
麗洋	八、九〇〇	一航海	太港	一、七〇	山下汽船
豐彦	三、三〇〇	一航海	近海一區	一、八五	山下汽船
隅田	三、四〇〇	一航海	太港	二、七〇	山下汽船
吉多	四、五五〇	一航海	近海一區	二、三〇	道家中
泰山	四、九三〇	一航海	近海一區	二、一〇	大連汽船
天津	五、七〇〇	一航海	太港	一、七〇	京都木材
シドニー	六、三六〇	一航海	近海一區	一、八五	山下汽船
福喜	六、八六〇	一航海	太港	一、五〇	樺太汽船
幸喜	八、五八〇	一航海	太港	一、八〇	樺太汽船
二長崎	九、〇〇〇	一航海	近海一區	四、三〇	昭榮社
隆光	二、一五〇	一航海	近海一區	二、五〇	澤山
濟州	三、三〇〇	一航海	近海一區	二、五〇	村尾

【海 運—備船—】

小菊	三、四七〇	一航海	樺太	三、五五	山下汽船
神田	三、八〇〇	一航海	近海一區	二、五五	大阪商船
御月	六、〇〇〇	一航海	近海一區	一、四〇	大阪商船
光明	六、七五〇	一航海	印濠	一、七五	大阪商船
神農	七、七〇〇	一航海	近海二區	一、六〇	大阪商船
沙河	八、二六〇	一航海	遠洋近海	一、五〇	山下汽船
豐川	八、二六〇	一航海	遠洋	一、五〇	三井
加洲	八、七五〇	一航海	遠洋	一、九〇	太平洋運
熱田	一、八五〇	一航海	近海一區	三、三〇	新盛舍
大德	二、三〇〇	一航海	近海一區	三、〇〇	岩井
平順	三、三〇〇	一航海	近海一區	二、四〇	三井
三大	三、六〇〇	一航海	近海一區	二、四〇	村尾
華山	四、五〇〇	一航海	近海一區	二、〇〇	山下汽船
正元	五、二〇〇	一航海	近海一區	一、五〇	大連汽船
英龍	五、九〇〇	一航海	遠洋	二、〇〇	大連汽船
あさか	七、二〇〇	一航海	遠洋	一、五〇	山下汽船
幸喜	八、五〇〇	一航海	北洋	一、八五	三井
喜福	九、一〇〇	一航海	遠洋	一、五〇	山下汽船
智福	九、二〇〇	一航海	印濠	二、〇〇	大阪商船
明字	一、六八〇	一航海	遠洋	二、〇〇	山下汽船

永仁	一、二五〇	一航海	近海一區	三、〇〇	日本郵船
隆光	二、二五〇	一航海	朝鮮	二、三〇	大阪商船
巴陵	三、三〇〇	一航海	近海一區	二、〇〇	日本郵船
大榮	三、五〇〇	一航海	近海一區	二、〇〇	日本郵船
二小	四、二〇〇	一航海	近海一區	二、〇〇	村尾
謙讓	五、二五〇	一航海	近海一區	二、〇〇	道家中
八御	五、八六〇	一航海	太港	一、七五	京都木材
孟買	六、八七〇	一航海	太港	一、七五	三井
吉平	七、二〇〇	一航海	北洋	一、七五	山下汽船
登久	七、七五〇	一航海	北洋	一、七五	山下汽船
大壽	一、九〇〇	一航海	近海一區	三、三〇	栗林商船
漢口	四、九七〇	一航海	近海一區	二、五〇	三井
日興	五、〇〇〇	一航海	近海一區	一、五〇	國際運輸
ハドソン	六、二〇〇	一航海	近海一區	一、二〇	大連汽船
擇捉	六、三〇〇	一航海	近海一區	一、六〇	南洋礦業
廣永	六、八二〇	一航海	近海一區	一、八五	日本郵船
東新	七、四〇〇	一航海	近海一區	一、八五	山下汽船
瓜哇	七、八二五	一航海	遠洋	一、六〇	山下汽船
春祥	九、五三〇	一航海	遠洋	一、七〇	日本郵船
妙安	一、九〇〇	一航海	遠洋	三、五〇	日本郵船

【海運—備船—】

千早	二、〇四八	六ヶ月	近海一區	四、〇〇〇	日下部
三共同	二、八八三	一ヶ月	"	二、八〇〇	大阪商船
廣順	二、九六三	一ヶ月	"	二、九〇〇	龍門
東榮	三、三五五	"	"	二、六〇〇	日成海運
三日清	四、四四四	"	"	二、三〇〇	中村組
六眞盛	五、五〇〇	年内	"	二、三〇〇	近海郵船
金龍	七、三三六	四ヶ月	遠洋近海	二、九〇〇	山下汽船
二豐彦	七、五〇〇	七ヶ月	"	一、八五〇	日神海運
大通	一、九〇〇	一ヶ月	近海一區	三、四〇〇	岩田
高陽	一、九〇〇	"	"	三、二〇〇	三井
千山	二、〇四〇	六ヶ月	勘察加	四、五〇〇	昭和工船
六東洋	三、三九〇	一ヶ月	近海一區	二、五〇〇	龍門
浦安	三、六〇〇	"	"	二、二五〇	水梨
泰山	四、九三三	"	"	二、三〇〇	大阪商船
最勝	五、一五〇	"	"	二、三〇〇	三井
玉津	六、五〇〇	六ヶ月	"	二、三〇〇	豐島
神農	七、七〇〇	"	"	二、〇〇〇	增田
甲春	八、七三九	"	"	二、三〇〇	山下汽船
二大	一、五五〇	一ヶ月	近海一區	三、四〇〇	樺太汽船
五萬榮	二、〇〇〇	七ヶ月	"	三、四〇〇	"

船價

▲本邦船價表

(重量一噸取引值單位圓)

春華	四、一五〇	一航海	勘察加	八、四〇〇	勞農政府
廣通	五、一〇〇	二ヶ月	近海一區	二、八〇〇	山下汽船
大山	六、一七三	六ヶ月	近海二區	二、三〇〇	"
すえす	六、六三三	二ヶ月	近海一區	二、六〇〇	正輝商會
大和	六、八三三	一航海	大連内地	二、三〇〇	大連汽船
長福	七、五〇〇	"	樺太	二、四〇〇	山下汽船
南海	八、〇〇〇	二ヶ月	近海一區	一、八五〇	大連汽船
大安	八、七五〇	四ヶ月	"	二、四〇〇	山下汽船
三共同	二、八〇〇	一航海	勘察加	四、〇〇〇	川崎汽船
五東洋	三、四一七	一ヶ月	近海一區	二、五〇〇	大連汽船
加賀	三、五五〇	一ヶ月	"	二、九〇〇	帝國汽船
たまひめ	五、二〇〇	一ヶ月	"	二、三〇〇	山下汽船
ハドソン	六、一〇〇	三ヶ月	"	一、九〇〇	近海郵船
たまにあ	六、三六六	二航海	樺太	二、八〇〇	山下汽船
華陽	六、六〇〇	一航海	"	二、五〇〇	"
福洋	八、八七〇	二ヶ月	近海一區	二、四〇〇	"
蒙古	一〇、六八一	一航海	樺太	二、〇〇〇	内外汽船

【海運—船價—】

年次	新造船	中古船	古船
大正六年	七〇〇	五〇〇	五〇〇
同七年	八三五	五〇〇	五〇〇
同八年	四三〇	一五〇	一五〇
同九年	三三〇	一〇〇	一〇〇
同十年	二〇〇	一〇〇	一〇〇
年次	新造船	中古船	古船
中型船(三千噸以上)	七〇〇	五〇〇	四〇〇
同七年	八五〇	五〇〇	四〇〇
同八年	三三〇	一五〇	一〇〇
同九年	三三〇	一〇〇	一〇〇
同十年	二〇〇	一〇〇	一〇〇
年次	新造船	中古船	古船
小型船(三百噸以上)	五〇〇	三〇〇	二〇〇
同七年	七〇〇	三〇〇	二〇〇
同八年	二五〇	一五〇	一〇〇
同九年	二五〇	一〇〇	一〇〇
同十年	一〇〇	一〇〇	一〇〇

【海 運—船價—】

年次	三月	六月	九月	十二月
一九一四年	五、〇〇〇	三六、二五〇	四四、五〇〇	五一、八八八
自一九一〇年	二五、七五〇	五五、〇〇〇	一六、〇〇〇	二一、九一四
自一九一四年	一八、〇〇〇	五、五〇〇	六九、五〇〇	九一、五一四

年次	三月	六月	九月	十二月
一九一四年	四、〇〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	六、〇〇〇
一九一五年	七、〇〇〇	八、二五〇	九、七五〇	一五、〇〇〇
一九一六年	一六、〇〇〇	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一八、七五〇
一九一七年	一八、〇〇〇	一七、五〇〇	一七、〇〇〇	一六、〇〇〇
一九一八年	一七、〇〇〇	一八、〇〇〇	一七、〇〇〇	一六、〇〇〇
一九一九年	一八、〇〇〇	一九、五〇〇	二二、〇〇〇	二二、五〇〇
一九二〇年	二五、八七五	一八、〇〇〇	一四、〇〇〇	一〇、五〇〇
一九二一年	八、二五〇	六、七五〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二二年	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、七五〇	六、七五〇
一九二三年	六、五七五	六、五〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二四年	六、二七五	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二五年	六、〇二五	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇
一九二六年	五、五〇〇	五、五〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二七年	六、六〇〇	六、三〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
一九二八年	六、〇〇〇	五、七〇〇	五、七〇〇	六、二〇〇

註：新造出來合船にして單甲板プープブリツダ、フ

オツクスル付長さ三八〇呎、幅四九呎、深さ二九呎、吃水二三呎八吋、重量七、五〇〇噸積載徑二五吋、四吋、六九吋のシリンドラー、ストローク四八吋の三聯蒸気機関公試速力一〇・五節の貨物船

▲世界賣船及新造船價レコード

(一九二八年中)
(船齡十年以内)

英 國 船	建造年	重量當	噸 片	摘 要
總	一九二二	二、〇六〇	二四、一四一	英殖民地へ賣却
	一九二二	二、〇六〇	九、一三二	佛蘭西へ賣却
	一九二〇	二、四七〇	七、一八八	
	一九二〇	一、〇八〇	六、一八〇	内燃機船
	一九二〇	四、四〇〇	八、八八二	佛蘭西へ賣却
	一九二二	四、九〇	一三、一五二	
	一九二二	一、五、七〇	一、九二二	
	一九二二	一、五、七〇	一、九二二	
	一九二二	一、四、九〇	一、九二二	
	一九二二	一、五、〇〇〇	一、九二二	燃油船

【海 運—船價—】

年次	三月	六月	九月	十二月
一九二四年	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇	一六、〇〇〇
一九二五年	二、一五〇	四、一八四	四、一八四	四、一八四
一九二六年	六、八〇〇	一〇、一五〇	一〇、一五〇	一〇、一五〇
一九二七年	七、九三六	一、一六九	一、一六九	一、一六九
一九二八年	二、四四〇	八、四一〇	八、四一〇	八、四一〇
總	八、九〇〇	八、六一九	八、六一九	八、六一九

日本へ賣却(吳竹丸)
曳船白耳義へ賣却
内燃汽船日本へ賣却(信貴山丸)
佛蘭西へ賣却

獨逸へ賣却

西班牙へ賣却
南米へ賣却
希臘へ賣却
波蘭へ賣却

英 國 船	建造年	重量當	噸 片	摘 要
總	一九二二	二、〇六〇	二四、一四一	英國へ賣却
	一九二二	二、〇六〇	九、一三二	佛蘭西へ賣却
	一九二〇	二、四七〇	七、一八八	
	一九二〇	一、〇八〇	六、一八〇	内燃機船
	一九二〇	四、四〇〇	八、八八二	佛蘭西へ賣却
	一九二二	四、九〇	一三、一五二	
	一九二二	一、五、七〇	一、九二二	
	一九二二	一、五、七〇	一、九二二	
	一九二二	一、四、九〇	一、九二二	
	一九二二	一、五、〇〇〇	一、九二二	燃油船

【海運—船價—】

五〇〇	一、九三二	六〇〇〇	木船
一、〇一〇	一、九三三	九一八一二	獨逸へ賣却
一、四〇〇	一、九三三	二一五〇〇	同上
一、三〇〇	一、九三三	二一〇〇九	佛蘭西へ賣却
二、〇〇〇	一、九三三	二一五〇〇	英國へ賣却
四、三三〇	一、九三二	六八八九	獨逸へ賣却
一、四五〇	一、九三〇	三二八一三	希臘へ賣却
總 五、三〇一	一、九三〇		
六、一八七	一、九三二		內燃機船
五、九三七	一、九三三		同上
六、一三四	一、九三四		同上
六、二三四	一、九三四		同上
六、四六八	一、九三四	四一六〇〇	燃油船
六、一八七	一、九三二		
六、二七八	一、九三〇		
五、三三四	一、九三〇		
六、四八二	一、九三二		
六、三三八	一、九三三		
五、六〇〇	一、九三〇	五八八九	燃油船
七、六三〇	一、九三〇		
七、六五七	一、九三〇		
七、六五九	一、九三〇		
八、八〇〇	一、九三〇	五八一〇	燃油船
八、八〇〇	一、九三〇		

▲本邦賣買船月別表

三年七月

船名	製造年	重量噸數	噸當船價	買主
三御崎	一、八八八	一、七九〇	七〇〇〇	濱口汽船
大 山	一、八八九	六、一七三	三、〇〇〇	小 施
十二 隆	一、八八一	七〇〇	五、〇〇〇	施回
東 隆	一、八八九	二、九五〇	三、〇〇〇	山 本

【海運—船價—】

天祐	一、九〇五	六、四〇〇	四三、〇〇〇	佐藤國
海洲	一、九一六	七、三〇〇	一五〇、〇〇〇	大 青
美久	一、八八三	三、七五〇	二〇〇、〇〇〇	堤 柳
登 久	一、九〇二	七、七五〇	二五〇、〇〇〇	
五 帆	一、九一七	三、五二〇	五二〇、〇〇〇	日 魯
六 帆	一、九一九	八、七五三	七五、〇〇〇	解 體
吳 葉	一、九〇〇	六、一〇〇	一五〇、〇〇〇	小 栗
ハドソ	一、九一八	五、一五〇	一三三、〇〇〇	三 上
御 船	一、九一八	五、一五〇	一三三、〇〇〇	三 上
加 洲	一、九一九	八、七五〇	六五〇、〇〇〇	橋 本
高 松	一、九〇五	四、七五〇	一五〇、〇〇〇	支 那
金 山	一、九一八	二、六五〇	二〇〇、〇〇〇	日清汽船
肥 前	一、九〇一	一、三〇〇	一五〇、〇〇〇	小樽大西
山 前	一、九〇三	一、二五〇	一五〇、〇〇〇	武 富
銀 山	一、九〇九	二、六五〇	一五〇、〇〇〇	武 富
玉 榮	一、九一七	一、五五〇	七〇〇、〇〇〇	住 友
新高	一、八八八	一、五五〇	七〇〇、〇〇〇	住 友
復興	一、九三五	六、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	大洋海運

【海運—船價—】

美信因	海松忠長神江富御京熊喜	福福八昭廿廿
保濃幡	正菊海浦海差山野都本方	勢海耶和澤澤澤
四・	年・	十・
一、九二八	一、九二七	一、九二八
一、九〇〇	一、九〇三	一、九〇八
一、八六六	一、八八四	一、九一八
總六、〇七	一、八八七	一、九二八
總六、二五	一、八八〇	一、九三〇
七〇〇	一、八七二	一、九三二
	一、八六四	一、九三三
	一、八五七	一、九三三
	一、八五〇	一、九三三
	一、八四二	一、九三三
	一、八三五	一、九三三
	一、八二七	一、九三三
	一、八二〇	一、九三三
	一、八一三	一、九三三
	一、八〇五	一、九三三
	一、七九七	一、九三三
	一、七九〇	一、九三三
	一、七八二	一、九三三
	一、七八五	一、九三三
	一、七八八	一、九三三
	一、七九〇	一、九三三
	一、七九二	一、九三三
	一、七九四	一、九三三
	一、七九六	一、九三三
	一、七九八	一、九三三
	一、八〇〇	一、九三三
	一、八〇二	一、九三三
	一、八〇四	一、九三三
	一、八〇六	一、九三三
	一、八〇八	一、九三三
	一、八一〇	一、九三三
	一、八一二	一、九三三
	一、八一四	一、九三三
	一、八一六	一、九三三
	一、八一八	一、九三三
	一、八二〇	一、九三三
	一、八二二	一、九三三
	一、八二四	一、九三三
	一、八二六	一、九三三
	一、八二八	一、九三三
	一、八三〇	一、九三三
	一、八三二	一、九三三
	一、八三四	一、九三三
	一、八三六	一、九三三
	一、八三八	一、九三三
	一、八四〇	一、九三三
	一、八四二	一、九三三
	一、八四四	一、九三三
	一、八四六	一、九三三
	一、八四八	一、九三三
	一、八五〇	一、九三三
	一、八五二	一、九三三
	一、八五四	一、九三三
	一、八五六	一、九三三
	一、八五八	一、九三三
	一、八六〇	一、九三三
	一、八六二	一、九三三
	一、八六四	一、九三三
	一、八六六	一、九三三
	一、八六八	一、九三三
	一、八七〇	一、九三三
	一、八七二	一、九三三
	一、八七四	一、九三三
	一、八七六	一、九三三
	一、八七八	一、九三三
	一、八八〇	一、九三三
	一、八八二	一、九三三
	一、八八四	一、九三三
	一、八八六	一、九三三
	一、八八八	一、九三三
	一、八九〇	一、九三三
	一、八九二	一、九三三
	一、八九四	一、九三三
	一、八九六	一、九三三
	一、八九八	一、九三三
	一、九〇〇	一、九三三
	一、九〇二	一、九三三
	一、九〇四	一、九三三
	一、九〇六	一、九三三
	一、九〇八	一、九三三
	一、九一〇	一、九三三
	一、九一二	一、九三三
	一、九一四	一、九三三
	一、九一六	一、九三三
	一、九一八	一、九三三
	一、九二〇	一、九三三
	一、九二二	一、九三三
	一、九二四	一、九三三
	一、九二六	一、九三三
	一、九二八	一、九三三
	一、九三〇	一、九三三
	一、九三二	一、九三三
	一、九三四	一、九三三
	一、九三六	一、九三三
	一、九三八	一、九三三
	一、九四〇	一、九三三
	一、九四二	一、九三三
	一、九四四	一、九三三
	一、九四六	一、九三三
	一、九四八	一、九三三
	一、九五〇	一、九三三
	一、九五二	一、九三三
	一、九五四	一、九三三
	一、九五六	一、九三三
	一、九五八	一、九三三
	一、九六〇	一、九三三
	一、九六二	一、九三三
	一、九六四	一、九三三
	一、九六六	一、九三三
	一、九六八	一、九三三
	一、九七〇	一、九三三
	一、九七二	一、九三三
	一、九七四	一、九三三
	一、九七六	一、九三三
	一、九七八	一、九三三
	一、九八〇	一、九三三
	一、九八二	一、九三三
	一、九八四	一、九三三
	一、九八六	一、九三三
	一、九八八	一、九三三
	一、九九〇	一、九三三
	一、九九二	一、九三三
	一、九九四	一、九三三
	一、九九六	一、九三三
	一、九九八	一、九三三
	一、一〇〇〇	一、九三三

淺野新造	一美津	一龍寶	奉天	東海	大日	鹿島(船骸)	平雄	福都	南吉	神盛	泰山	十一真盛	久美	靜洋	八郎	神山	七東	七東	鎮海	
三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・	三・
一、九二八	一、九二八	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七
九、〇〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	一、六〇〇	五、三〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	一、四〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
一六、〇〇〇	七、〇〇〇	二八、〇〇〇	五、七〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇
東洋汽船	荒田	栗林商船	鹿兒島商船	伊藤商船	佐藤商船	山本商船	上海運輸	佐藤商船	支那人	神戶商船	大家善太郎	勞農政府	直江津商船	國際工船	八木商船	勞農政府	宮崎	下村汽船	解體商	

【海運—船價—】

讚長	北永壽大夕	イ興	エ東	西東	一陽	南吉	大彌	櫛山	富
岐府	見福福武張	イ興	エ東	西東	一陽	南吉	大彌	櫛山	富
一、八九七	一、八九五	一、八九四	一、八九三	一、八九二	一、八九一	一、八九〇	一、八八九	一、八八八	一、八八七
八、〇〇〇	一〇、九四二	八、〇二五	一〇、四七九	七、五〇〇	七、八〇〇	六、六七一	七、八〇〇	八、七九四	八、三〇〇
一八、三〇〇	六、二〇〇	六、〇〇〇	七、五〇〇	七、五〇〇	一、七〇〇千圓	九、五〇〇	七、五〇〇	七、三〇〇	二六、〇〇〇
木村	菅谷株式	大阪上野	日魯漁業	上野汽船	大連汽船	南洋汽船	解體商	同	樺太汽船

廣廣	雲	讚岐	川崎	一八多	浦安	神英	東山	三井	與久	三長	八幡	巨濟	日清	福西	二野	吉野	太洋
廣通	雲	讚岐	川崎	一八多	浦安	神英	東山	三井	與久	三長	八幡	巨濟	日清	福西	二野	吉野	太洋
一、九二六	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七	一、九二七
五、一〇〇	七、二〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	七、三〇〇	七、三〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
五、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇	一、七五〇
犬上	笠原商船	日本工船	鐵道省	山本	支那人	柿野	菅谷株式	共立汽船	山下汽船	大連汽船	橋本	水梨	亞細亞海運	鶴丸	同	日本郵船	日本郵船

▲本邦對外賣買船 (殖民地ヲ含ム)

【海 運—船價—】

年次	（購 入）		（賣 却）	
	隻數	總噸數	隻數	總噸數
大正三年	三	九六、八三六	三	六八七
同四年	二	五、三六四	二	七、四六六
同五年	三	五、一七三	三	四、八六六
同六年	一六	一〇、九八一	七	一、九〇三
同七年	二	三、七三三	三	一、五〇八
同八年	五	九四七	六	六、〇九七
同九年	六	五四四	六	三、六四一
同十年	四	五、七五一	七	七、一九九
同十一年	五	一七、一四七	九	一四、七九四
同十二年	三	一三、七三〇	一	八、二六〇
同十三年	七	二四、〇九五	二	一、六六六
同十四年	三	二五、九四七	二	三、一七
昭和元年	三	二、九三三	五	三、〇六八
同二年	三	八、八九七	二	三、〇六八
同三年	三	九四、三五五	九	五、一六七

備考
一、大正八年及九年中には日米船鐵交換提供船を含む
二、大正三年乃至六年中には未登録の儘賣却したるものを含む

輸出入船明細

△賣却船（昭和四年上半期）

船名	製造年	重量噸	價格	買却先
神山	一九〇〇	六、七八〇	二〇、〇〇〇	勞農政府
十一真盛	一九〇五	一、二四九	六、三〇〇	同
南都	一八八三	一、三〇〇	三、〇〇〇	支那人
北見	一八八五	一、〇五三	五、千圓	同
長府	一八九〇	一、八五五	五、〇〇〇	同
浦安	一九〇八	七、五〇〇	三、千圓	同

△輸入手合船（未登録ヲ含む）

船名	建造年	重量噸	價格	買主
朝日丸	一九一四	總九、七五〇	三六、〇〇〇	近 郵
大和丸	一九一五	同九、七五〇	三六、〇〇〇	川 田
常昭丸	一九一七	三、二〇〇	一六、〇〇〇	大 阪
ライサン(解體)	一九〇一	總三、四六〇	九、〇〇〇	大 阪
デベンハ(ハ)	一九〇六	八、一五五	二、〇〇〇	大 阪
ハリ(ハ)	一八九四	總三、〇四三	四、〇〇〇	青 木
大仁丸	一九一三	七、五五〇	三、〇〇〇	太 洋
盛祥丸	一九一九	八、四五〇	五、五〇〇	小 熊
六東丸	一九一七	三、四〇〇	一、三〇〇	澤 山
信貴丸	一九一五	八、三〇〇	九、〇〇〇	井 船

【海 運—船價—】

十七眞盛丸	一九一九	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	原 商 事
昭 榮 丸	一九一九	五、一〇〇	三、〇〇〇	東 和 汽 船
チヤイナ(解體)	一八九六	七、九三三	三、五〇〇	大 阪 解 體 商
吳 竹 丸	一九一五	八、九五〇	七、五〇〇	辰 馬 汽 船
海 龍 丸	一九〇一	三、〇五〇	一〇、〇〇〇	海 通 公 司
ダンギスタン(解體)	一九〇一	總四、一五九	一〇、二〇〇	宮 地 船 具 商
アゼルタン	一九一七	二〇、二八〇	七〇、〇〇〇	岸 本 汽 船
ケルチツク	(解體)	六、〇〇〇	五〇、〇〇〇	大 阪 海 事
ゴルヂスタン(解體)	(解體)	六、〇八〇	一三、〇〇〇	大 阪 北 川
日 興 丸	一九一九	五、〇〇〇	二八、〇〇〇	岡 崎 汽 船
ヤ ー ー 丸	(解體)	五、一〇〇	一三、〇〇〇	日 本 船 鐵
ダツプレイクス(解體)	(解體)	二、四七	七、五〇〇	甘 粕
ギルダセンデリ	一九一九	三、五〇〇	一三、四〇〇	坂 間 孝 一 郎
アロウエー	(解體)	九、二四八	一五、〇〇〇	大 阪 海 事
アイコニユーム	(解體)	九、五〇四	三〇〇、〇〇〇	大 阪 北 川
サスクヤンナ(解體)	(解體)	九、九五九	三〇〇、〇〇〇	同
ハイニ	(解體)	六、〇三七	一四〇、〇〇〇	同
ハ ー ー 丸	(解體)	六、(四五)	一四〇、〇〇〇	淺 野 物 産
ホツピング	(解體)	二、六七〇	六五、〇〇〇	大 阪 木 村
計	三六隻	一七九、一九噸		

昭和四年上半期

ホレリツク	(解體)總六、二六〇	一八、五〇〇	大 阪 商 事	
聖 光 丸	一九〇九	四、六〇〇	一八、五〇〇	町 田 商 會

【海 運—船價—】

青 山 丸	一九一九	三、四〇〇	一三、二五〇	青 木 商 店
ウインホルグ(解體)	(解體)	六、三〇〇	一五、〇〇〇	北 川
大 海 丸	一九一九	四、一〇〇	三、〇〇〇	白 阪 汽 船
カラバサ	一九一八	三、七〇〇	八、〇〇〇	日 神 海 運
シドニー(帆船)	(解體)	二、六五一	八、〇〇〇	北 川
パホート	(解體)總四、八〇〇	九、七〇〇	七〇、〇〇〇	長 谷 川
バルヂェリア	一九一七	九、七〇〇	四五、〇〇〇	神 戶 棧 橋
ウアスプレイ	一九一八	五、〇八〇	二八、五〇〇	濱 根 商 店
ド ナ イ	一八九五	一、〇〇〇	九、〇〇〇	大 連 高 橋
サツセクス	(解體)	六、九五七	一、〇〇〇	大 阪 海 事
ヘーベル	(解體)	九、五〇〇	五、〇〇〇	淺 野 物 産
シヨセフタラー	(解體)	二、五〇〇	一五、〇〇〇	大 阪 解 體 商
カ ー ー 丸	一九一〇	三、四三〇	二八、〇〇〇	大 連 汽 船
デルタ	(解體)	九、〇〇〇	二八、〇〇〇	大 阪 海 事
ドンノセ	(解體)	六、五〇〇	一七、三〇〇	北 川

海 員

▲船員現在數

大正十年	內國人	約三七九、三〇〇	合計	內國人	約四八、八八九	合計
	外國人	五、〇〇〇			約四九、八八九	
同 十一年	內國人	約三九七、八四三	合計	內國人	四八、七七一	合計
同 十二年	外國人	約四一八、〇三〇		外國人	三、四九九	
同 十三年	內國人	約四一八、〇三〇	合計	內國人	四八、七七一	合計
同 十四年	外國人	約四一八、〇三〇		外國人	三、四九九	
同 十五年九月末	內國人	約四一八、〇三〇	合計	內國人	四八、七七一	合計
同 昭和二年末	外國人	約四一八、〇三〇		外國人	三、四九九	
同 昭和三年九月末	內國人	約四一八、〇三〇	合計	內國人	四八、七七一	合計
	外國人	約四一八、〇三〇		外國人	三、四九九	

▲船員事務成績

大正十年	新交付	一六、六七一	再交付	一、二九	返還	一、九三	雇入	一、七七一	雇止	一、七七一	公認	三三、七四六	就職船長	二、二五三	退職船長	一、九四八	合計	六九六、二六九
同 十一年	不詳																	六九六、二六九
同 十二年	一六、七五八	一、六三五	一、七七七	一、三三八	二、〇三〇	二、九七〇	一、六八七	一、六八七	一、六八七	一、六八七	二、三六八	一、六八七	一、六八七	一、六八七	一、六八七	一、六八七		七六八、〇八二
同 十三年	三〇、九一九	一、三三三	一、一八〇	一、五〇、八六七	一、四七、三九二	三、三、九六九	二、三六八	一、九八四	七六八、〇八二									

同 十四年	一七、六〇三	九五五	九六四	一三三、〇四五	二九、六五五	三、八、四五〇	二、〇一九	一、七九五	六九三、四九三
同 昭和元年	一七、六〇三	九五五	九六四	一三三、〇四五	二九、六五五	三、八、四五〇	二、〇一九	一、七九五	六九三、四九三
同 二年	一八、〇一八	七四八	一、二九八	二、八、〇五三	二、五、七四〇	三、三、六〇八	二、一五七	一、九三三	七〇八、六二七

▲海技免狀受有者別

十年末	內國人	船長	二、四〇六	運轉士	一、二六六	船長	一、四三七	運轉士	二、二五三	機關長	一、七九七	機關士	二、九六八	機關士	二、四八九	機關士	七、一七三
		外國人	二、五三〇	一、三〇五	一、七七八	一、四九〇	二、三〇四	四、七七八	一、八四六	三、〇四二	二、五七三	二、八七三	一〇、四四四	七、八三八			
十一年末	內國人	二、七七八	一、五九〇	二、〇五七	一、六六〇	二、四八八	五、二九五	二、〇一四	三、四四四	二、八九八	二、二八三	二、〇、四四四	二、二八三				
十三年末	內國人	二、八一九	一、〇六六	二、二八二	一、六六五	二、六〇七	五、六九三	二、〇九八	三、五七六	二、九八八	二、二八三	二、〇、四四四	二、二八三				
十四年末	內國人	二、八一九	一、〇六六	二、二八二	一、六六五	二、六〇七	五、六九三	二、〇九八	三、五七六	二、九八八	二、二八三	二、〇、四四四	二、二八三				
昭和元年末	內國人	二、八一九	一、〇六六	二、二八二	一、六六五	二、六〇七	五、六九三	二、〇九八	三、五七六	二、九八八	二、二八三	二、〇、四四四	二、二八三				
二年末	內國人	三、〇三三	一、七三三	二、六八九	一、七四六	二、七三三	六、七〇一	二、三三七	三、九七四	三、一八二	三、一八二	一四、八七九	三、一八二				
三年九月末	內國人	三、一〇四	一、七三七	二、八三三	一、七六八	二、八二二	六、九七九	二、四一〇	四、一三三	三、二四一	三、二四一	一五、九二〇	三、二四一				

▲海員審判件數

【海 運—海員—】

年次	高等審判		地方審判	
	受理人員	裁決人員	受理人員	裁決人員
大正十年	件數 一五	裁決人員 一〇	受理人員 八〇	裁決人員 八〇
同 十一年	件數 不詳	裁決人員 一〇	受理人員 一〇	裁決人員 一〇
同 十二年	件數 二六	裁決人員 一〇	受理人員 七五	裁決人員 七二
同 十三年	件數 二七	裁決人員 一〇	受理人員 八五	裁決人員 七二
同 十四年	件數 三〇	裁決人員 一〇	受理人員 七〇	裁決人員 七二
同 十五年	件數 二九	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三
同 十六年	件數 二二	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三
同 十七年	件數 二〇	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三
同 十八年	件數 二〇	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三
同 十九年	件數 二〇	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三
同 二十年	件數 二〇	裁決人員 一〇	受理人員 六三	裁決人員 六三

▲海技受験者

年次	受験者	合格者
大正十年	一〇、四七九	三、三四六
同 十一年	七、七三二	二、二八九
同 十二年	八、六四五	二、四一六
同 十三年	一〇、二九八	二、八五五
同 十四年	一一、八七二	三、八五四
同 十五年	一三、〇三二	四、四三五
同 十六年	一一、八三〇	四、六四八

▲船舶職員登録

年次	新規登録	抹消登録
大正十年	三、六七七	一、一九七
同 十一年九月末	一、七三三	四八五
同 十二年自前至十月末	八二〇	一一九
同 十三年	三、七六九	五三〇
同 十四年	三、七八三	七七四
同 十五年	四、四五〇	九六三
同 十六年	四、五六二	七六四
同 十七年九月迄	三、二七二	四七二

▲高等海員標準給料最低月額

船長	自一、五〇〇至一、〇〇〇	自一、〇〇〇至一、五〇〇	自一、五〇〇至三、五〇〇
一等運	九五圓	一〇〇圓	一三五圓
二等運	七五圓	八〇圓	一〇〇圓
三等運	七〇圓	七五圓	九〇圓
機長	七〇圓	七五圓	九〇圓
一等機	九〇圓	一〇〇圓	一三五圓
二等機	七〇圓	七五圓	九〇圓
三等機	七〇圓	七五圓	九〇圓

▲普通海員標準給料最低月額

海上實歴	總噸數	同噸以上	同噸以上
自五百噸至一千五百噸	自五百噸至一千五百噸	自五百噸至一千五百噸	自五百噸至一千五百噸
水夫長、火夫長、船長	八ヶ年	六五圓	七〇圓
			七五圓

【海 運—海員—】

大工 六〇 六五 七〇

舵夫、油差、料理人 四ヶ年 五〇 五五 五七
 水夫、火夫、石炭夫、炊夫 一年六ヶ月 三五 三八 四〇
 給仕 一年六ヶ月 三五 三八 三八
 倉庫番もしくは副汽罐番の職に従事する水夫もしくは火夫は各一人に限り月額金三圓の手當を支給す
 各部見習の見習期間は乗船後六ヶ月間とし右期間中は給料月額金十五圓を支給す右期間を越ゆること六ヶ月未滿のものにありては給料月額三十圓、一ヶ年未滿のものにありては給料月額三十五圓を支給す
 第一項の海上實歴年限を有せざるものは本協定實施の際標準給料最低月額と現在給料月額との差額を第一項の海上實歴年限との差に一を加へたる數を以て除したる金額を増給す、但し現在給料月額が右の方法によつて算出したる給料月額を超えたる時はそのまま、據置き減額せざるものとす
 海上實歴一年六ヶ月未滿の水夫若しくは火夫および石炭夫を雇備し得べき人員は見習を除きたる各部員總數の各一割五分を限度とす但端數は四捨五入とす

【海 運—海員—】

▲世界主要海運國海員給料比較

(甲)

職名	▲甲板部									
	英國	諸國	威和	蘭日	本瑞	典佛	國米	院船	院船	院船
一等運轉士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
二等運轉士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
三等運轉士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
舵手	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
大工	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
水夫	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
火夫	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
普通水夫	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
無線技手	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
練習生	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
客室ボーイ	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
機關長	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
一等機關士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
二等機關士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
三等機關士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
四等機關士	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料

職名	▲司 厨 部									
	英國	諸國	威和	蘭日	本瑞	典佛	國米	院船	院船	院船
油差	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
倉庫番	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
火夫兼油差	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
火夫見習	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
石炭夫	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
司厨長	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
司厨	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
コック長	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
コック	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
麵包師	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
補助コック	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料
ボーイ	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料	員數	給料

(備考)

本統計は米國商務省の蒐集作成に係り同一航路に従事する重量噸八千八百噸類似型汽船の乗組員給料を比較したるものなり(但し日本船同一型なるも航路を異にせり)
船長の給料は各國共記載し居らず之れ外國にては船長の給料は特に船主と本人との直接協定に依るものが多きが爲めなり

本表の各國海員給料は同國船船院の支給率を採用せり
各國給料額は米貨に換算の弗、單位〇〇仙なり

【海 運—海員—】

【海 運—海員—】

▲世界主要海運國海員給料比較 (乙)

(米國商務省調一九二八年一月現在)

國別	▲甲板部		▲機關部	
	運轉士等	運轉士	機關長	機關士見習
米私有船	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
同院船	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
英國	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
丁蘭	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
佛蘭	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
獨逸	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
伊太	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
諾威	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
西班牙	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
瑞典	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
米私有船	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
水夫	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
大工	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二
水夫	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二	弗 一三二

國別	▲司 廚 部		料理人	給 仕
	司廚長	司廚員		
同院船	二五	一八	一〇	一〇
英國	二五	一八	一〇	一〇
丁蘭	二五	一八	一〇	一〇
佛蘭	二五	一八	一〇	一〇
獨逸	二五	一八	一〇	一〇
伊太	二五	一八	一〇	一〇
諾威	二五	一八	一〇	一〇
西班牙	二五	一八	一〇	一〇
瑞典	二五	一八	一〇	一〇
米私有船	二五	一八	一〇	一〇
瑞 典	二五	一八	一〇	一〇
西 牙	二五	一八	一〇	一〇
諾 威	二五	一八	一〇	一〇
伊 太	二五	一八	一〇	一〇
獨 逸	二五	一八	一〇	一〇
佛 蘭	二五	一八	一〇	一〇
丁 蘭	二五	一八	一〇	一〇
英 國	二五	一八	一〇	一〇
同 院	二五	一八	一〇	一〇
米 船	二五	一八	一〇	一〇
瑞 典	二五	一八	一〇	一〇

港 灣

(港費及諸料金)

港灣

本邦港灣內容

北海道	青森縣	岩手縣	宮城縣	秋田縣	山形縣	福島縣	茨城縣	千葉縣	東京府	神奈川縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	愛知縣	三重縣	京都府	大阪府	
軍港要港																			
開港																			
商港																			
漁港																			
避難港																			
計																			
兵庫縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	廣島縣	山口縣	德島縣	香川縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣	總計
軍港要港																			
開港																			
商港																			
漁港																			
避難港																			
計																			

索引

本邦港灣內容	長崎港
開港場	三池港
本邦燈臺位置	伏木港
世界主要國燈臺數	新潟港
本邦累年燈標數	函館港
港費及諸料金	小樽港
神戶港	室蘭港
橫濱港	基隆港
大阪港	高雄港
東京港(芝浦)	釜山港
清水港	元山港
名古屋港	仁川港
門司港	鎮南浦港
若松港	大連港
	世界貨物運賃建

【港灣】

足摺崎	同	大正三、四	立石崎	同	明治四、七	高松港	同	大正三、九
叶崎	同	明治四、八	經ヶ岬	同	三、三	三ツ子島	同	一、三、七
△本州北西岸			境ヶ岬	同	二、二	六島	同	二、二
平館	陸奥	三、四	西御岬	同	大正二、三	鍋島	同	一、二
入道崎	羽後	三、二	地藏崎	同	三、二	百貫島	同	二、二
船川	羽前	三、二	日ノ岬	同	三、二	高井神島	同	二、二
酒田	同	二、二	馬島	同	三、二	小佐木島	同	二、二
鼠ヶ關	同	二、二	角島	同	三、二	大久野島	同	二、二
新潟	越後	三、二	特牛	同	三、二	鮎崎	同	二、二
姫崎	佐渡	二、三	△内海(瀬戸内)			中野鼻	同	二、二
彈崎	同	二、三	友ヶ島	同	三、二	大下島	同	二、二
魚津	越中	二、三	水津川	同	三、二	今治港防波堤	同	二、二
伏木港(低燈)	同	二、三	大阪(南突堤)	同	三、二	龍神島	同	二、二
伏木港(高燈)	同	二、三	同(北突堤)	同	三、二	大濱	同	二、二
七尾灣口	能登	二、三	同(崎港突堤)	同	三、二	野忽那島	同	二、二
同(低燈)	同	二、三	神戶港東防波堤南	同	三、二	釣島	同	二、二
同(高燈)	同	二、三	神戶港東防波堤北	同	三、二	クダコ島	同	二、二
祿剛崎	能登	二、三	高砂港突堤	同	三、二	小那沙美島	同	二、二
猿山岬	能登	二、三	和田岬	同	三、二	屋島	同	二、二
水浦	加賀	二、三	江崎	同	三、二	ホーシロ	同	二、二
白尾	同	二、三	飾磨	同	三、二	姫島	同	二、二
金石	同	二、三	大角鼻	同	三、二	部崎	同	二、二
敦賀港突堤	同	二、三	男木島	同	三、二	佐田岬	同	二、二
兒屋ノ川口	同	二、三				岩島	同	二、二

【港灣】

徳山港	同	二、一	坊ノ岬	薩摩	二、七	三角	同	三、三
壇ノ浦	長門	二、四	△九州北岸及西岸	同		戸馳島	同	三、三
下關(低燈)	同	二、四	若松	同	三、八	上馬刀島	同	三、三
同(高燈)	同	二、四	沖島	同	三、八	戸島	同	三、三
巖流島	長門	七、九	三島	同	二、七	長崎鼻	同	三、三
山底ノ鼻	同	九、一	神崎	同	二、七	釣掛崎	同	三、三
金ノ弦岬	同	九、一	若宮	同	二、七	△南西諸島		
片嶋	同	一、三	鳥帽子島	同	二、七	屋久島	同	三、一
六連島	同	一、三	鷹島	同	二、七	曾津高崎	同	三、一
蓋井島	同	一、三	二神島	同	二、七	伊江	同	三、一
白洲	同	一、三	古志岐島	同	二、七	先原崎	同	三、一
△九州東岸			五島白瀬	同	二、七	三重城	同	三、一
安岐崎	豊後	二、三	大瀨崎	同	二、三	津堅港	同	三、一
大分港北突堤	同	二、二	大立島	同	二、三	△臺灣及澎湖列島		
同西突堤	同	二、二	巖原港(前燈)	同	二、三	臺灣北岸	同	三、九
關崎	同	二、二	巖原港(後燈)	同	二、三	基隆港	同	三、二
水ノ子島	同	三、三	白瀬	同	二、三	鼻頭角	同	三、二
土々呂港	日向	三、三	伊王島	同	二、三	仙洞	同	三、二
細島	同	三、三	伊尾島	同	二、三	八尺門	同	三、二
戸崎鼻	同	三、三	口ノ津	同	二、三	基隆	同	三、二
油津港(低燈)	同	三、三	湯島	同	二、三	富貴角	同	三、二
油津港(高燈)	同	三、三	島原	同	二、三	淡水(低燈)	同	三、二
鞍崎	同	三、三	三池港	同	二、三	淡水(高燈)	同	三、二
佐多岬	大隅	三、三				白沙岬	同	三、二

【港 灣】

堀港堆	同西州大正三、四	鶯巒島(南岬)	臺灣南端	三、五	同(北港口西)	同	七、五
高雄	高雄港明治三六	三仙臺	同(再點)	同(西港口北)	同	同	四、五
海口(高燈)	同大正三、七	臺東	同	同(西港口南)	同	同	四、五
海口(低燈)	同三、七	△關東半島	臺東	老虎尾	同	旅順港口	三、一
海口(側燈)	同三、七	南三山島	同	白玉山(低燈)	同	同	三、一
北島	澎湖列島 三、六	大連(東港口南)	南三山	同(高燈)	同	同	(再點)
漁翁島	同 三、(再點)	同(東港口北)	島南端	同	同	同	元、一
東吉嶼	同 四、八	同(東港口北)	大連港	同	同	同	(再點)
查母嶼	同 大正三、七	同(北港口東)	大連港	老鐵山	老鐵山	同	三、一
安平	同 二、一		大連港	七、五			六、一

▲世界主要國燈臺數 (最近の調査)

國名	燈臺一基に對する哩數	海岸線百哩に對する燈臺數
和蘭	二、〇四	五〇
獨逸	二、七五	三六
米國	三、〇五	三三
佛國	三、六〇	二八
英國	四、九七	二〇
伊國	六、三六	六
瑞國	六、五八	五
諾威	六、七〇	四
丁太		

▲本邦累年燈標數

日支	燈臺	其他燈標	晝燈	信號
大正五年	一六	一〇三	二四	三
大正六年	一七	一〇二	二六	三
大正七年	一八	一〇二	二九	三
大正八年	一八	一〇三	二八	三
大正九年	一六	一〇六	二八	三
大正十年	二〇	一〇六	二八	三

主要港々費及諸料金

神戸港

年	昭和三十二年	昭和三十三年	昭和三十四年
燈臺一基に對する哩數	二、〇四	二、七五	三、〇五
海岸線百哩に對する燈臺數	五〇	三六	三三
關稅課セラルベキ貨物收容數料	重量五百斤迄每 一日三錢	又ハ十立方尺迄 每一日三錢	
私設上屋敷料	貴重品 五百圓ニ付一四錢	陸揚當日ハ免除	
普通品	陸揚後六日目ヨリ五日間 一噸ニ付 二錢	十一日目ヨリ二十日間 同 二錢	
棉花同業會員に限り	三十日ヨリ	同 二〇錢	
仕譯通知書發送ノ翌日ヨリ十日間無料			
期間經過後	米棉及埃及棉 一日一錢	其他ノ棉花 五錢	
浮標使用料	二十四時間毎ニ		
總噸數五千噸未滿一〇圓	總噸數一萬噸未滿一五圓		
同一萬五千噸未滿二三圓	同一萬五千噸以上三〇圓		
曳船及解賃	一隻一回(二時間) 二〇圓		

【港 灣】

〔棧橋及埠頭料〕	繫船岸壁使用料(登簿噸一噸ニ付)	二十四時間以内 二錢	二十四時間以上 三錢
	九十六時間以上	超過時間二十四時間毎ニ一錢ヲ加フ	
	棧橋其他使用料(縣營)	荷役岸壁使用料 一噸ニ付 六錢	上屋使用料 一坪ニ付 十錢
	〔稅關土地建物使用料〕	一般地域 六日以上 重量五百斤又ハ 十五日迄 容積十立方尺迄 十六日以上 同	每一日一錢 每一日二錢
	專用 一坪毎ニ 一ヶ月		二圓

關稅課セラルベキ貨物收容數料	重量五百斤迄每 一日三錢
私設上屋敷料	貴重品 五百圓ニ付一四錢 陸揚當日ハ免除
普通品	陸揚後六日目ヨリ五日間 一噸ニ付 二錢
	十一日目ヨリ二十日間 同 二錢
	三十日ヨリ 同 二〇錢
棉花同業會員に限り	三十日ヨリ 同 二〇錢
仕譯通知書發送ノ翌日ヨリ十日間無料	
期間經過後	米棉及埃及棉 一日一錢
	其他ノ棉花 五錢
浮標使用料	二十四時間毎ニ
總噸數五千噸未滿一〇圓	總噸數一萬噸未滿一五圓
同一萬五千噸未滿二三圓	同一萬五千噸以上三〇圓
曳船及解賃	一隻一回(二時間) 二〇圓

【港 灣】

超過一時間毎ニ 二圓
 解曳船料 一時間四圓乃至五圓ヲ標準トス
 解料(神戸解業組合現行貨率)
 前積運賃率 一噸 三八錢
 港内碇泊料 翌夜ヨリ一噸ニ付 八錢
 大阪行 一噸 八五錢

〔起重機使用料〕

稅關起重機(一臺一時間)
 電力 揚力一噸半 一、〇〇 三噸乃至五噸 一、五〇 十五噸 四、五〇 五十噸 一五、〇〇
 蒸氣 浮動二十噸 五、〇〇
 其他五噸迄 一、〇〇 五噸増毎ニ、五〇
 手動 五噸迄、五〇 五噸増毎ニ、二五
 其他上組、川崎造船所等民營ノモノアルモ略ス
 給水料) 給水所ヨリ直接給水 一噸 三六錢
 自家用船舶 一ヶ所一ヶ月五十噸迄 一〇、〇〇錢
 五十噸以上一噸ニ付 二三錢
 港内船舶 一噸 五〇錢
 港外一湮每一噸ニ付十五錢及夜間風雨ノ時ハ二割増
 〔タリマン及人足賃〕
 タリマン 一日三、五〇 ヘツドタリマン四、〇〇

橫濱港

夜荷役ハ一時間一圓増、半夜十割増、終夜二十割増
 船内人夫 一日三、〇〇 揚場人夫三、五〇
 〔代理店料〕(神戸海運業組合定率)
 内航船 一五圓 外航船 三〇圓
 附加率 荷役ヲナシタル場合 一噸 二錢
 荷役ヲナサ、ル場合 一噸 一錢
 〔水先案内料〕
 港内二五圓 至大阪三〇圓 至門司一三〇圓
 總噸數千噸未滿、吃水一呎未滿増毎ニ 百分ノ六増
 〔積卸料〕(金曜會規程外國貨物適用)
 A級 重量才噸 二、三〇 B級 重量才噸 三、二〇
 豆粕 一噸 二、〇〇 米棉 捆四擔入 九〇
 印棉 捆三擔入 五五 西貢米 擔 一〇
 鐵材 一噸 二、五〇 材木四八〇B M 二、三〇

一萬五千噸未滿 二三圓 一萬五千噸以上 三〇圓
 〔曳船料〕稅關(使用時間三時間登簿噸)
 六千噸以上 二五圓 三千噸以上 二〇圓
 未滿 一七圓 超過一時間毎ニ二圓
 民間(一隻ニ付)
 港内曳 二圓 東神奈川 二、五〇
 港外荷役 三圓 新子安 三圓
 一日貸切 一級船五〇圓 二級船四五圓 三級船 四〇圓
 京濱間積荷一噸當概算八錢乃至八錢五厘見當
 〔上屋使用料〕(一日五百斤又ハ十立方尺)
 五日迄 官設 無料 私設 五厘
 十五日迄 同 一錢 同 一錢
 十六日以上(官設) 卅日迄(私設) 二錢
 卅一日以後(同) 五錢
 坪 貸(官設) 毎月一ヶ月 二圓
 坪 貸 毎月一ヶ月 一圓一〇錢ヨリ二圓迄
 戸前貸 一戸前一ヶ月 六五圓ヨリ一二〇圓迄
 貨物敷料 五百斤十立方尺毎 一日 三錢
 〔起重機使用料〕(官設、一臺一時間)
 電力 揚力一噸半 一圓三錢 一、五〇
 〃 十五噸 四、五〇 五十噸 一五圓
 蒸氣 浮動二十噸 五圓

〔水先案内料〕
 東京灣口橫濱錨地間 往復一名 三〇圓
 同 品川錨地間 同 四〇圓
 橫濱錨地品川錨地間 同 一五圓
 橫濱港界錨地間 同 二五圓
 〔稅關浮標使用料〕(二十四時間毎ニ)
 五千噸未滿 一〇圓 一萬噸未滿 一五圓

【港 灣】

其他五噸 一圓 五噸増毎ニ五〇錢
 手動 五噸 五〇錢 五噸増毎ニ二五錢
 〔給水料〕
 直接給水一立方米二〇錢 運搬給水一立方米五〇錢
 防波堤外一海里毎ニ十五錢増、夜間荒天ハ二割増
 〔貨物陸揚賃率〕
 大豆粕 一噸 二、〇〇 セメント 樽 三、三二
 米棉 二擔 五〇 鐵板 一噸 三、〇〇
 生糸 一捆 七〇 米 一擔 一〇〇
 〔東京回漕運賃率〕(本船沖取、陸揚賃ヲ含マス)
 品名 單位 港内解 東京回送
 大豆 粕 百斤 〇七 〇一
 米 粉 一袋 〇八 〇一
 小麥 粉 一噸 〇四 〇六
 石炭 一噸 六五 一〇
 木材 小角 一噸 一、八〇 二、八〇

〔棧回漕賃〕
 米 松 角 沖取東 沖取神奈 神奈川
 樺太中丸太 七五、〇〇 四五、〇〇 五五、〇〇
 落葉丸太 九〇、〇〇 五五、〇〇 六五、〇〇
 水松丸太 一〇〇、〇〇 六〇、〇〇 七〇、〇〇

【港 灣】

大 阪 港

〔保稅地域使用料〕
 一般地域 五百斤迄每及十才迄每 二錢以內
 專用 一坪一ヶ月二圓以內 上屋六日—十日迄一錢
 〔解標使用料〕 (二十四時間每)
 千五百噸未滿船舶 六圓 千五百噸以上船舶 八圓
 〔曳船及解貨〕
 棧橋繫離用(市營)
 千五百噸未滿船舶 四圓 千五百噸以上船舶六圓
 住友曳船 一時間 三五圓 五〇圓 夜間五割増
 解貨 船側ヨリ川奥差込迄一噸一圓二三〇錢内外
 〔起重機使用料〕
 可搬式(一時間)揚力一噸半 三圓 二噸半 五圓
 浮艇式(一時間)十噸迄 一五圓 廿噸迄二五圓
 浮艇式ハ別ニ曳船料一時間迄每ニ十圓
 〔給水料〕
 直接給水 一噸 二八錢 運搬給水 一噸 四二錢
 〔タリマン及人足賃〕
 タリマン 三圓五錢 ヘッドタリ 四圓—四圓五錢
 船内人夫 三圓五錢 揚積人夫 四圓
 〔水先案内料〕
 港内轉錨二〇圓 棧橋繫離二五圓 阪神間三〇圓
 〔積卸料〕 (水曜會)

A級 重量才噸 二、〇〇 B級 重量才噸 一、七五
 鐵材 一噸 二、四〇 硝子板 同 二、五〇
 米材四八〇B M 二、五〇 鮮魚 同 三、三〇
 重量長尺物三噸迄二、六〇 重量長尺物五噸迄五、〇〇

東京港 (芝浦)

〔棧橋使用料〕 登簿一噸二十四時間每 二錢
 〔上屋使用料〕 一月一坪迄每 二圓—二、四〇
 一日一坪迄每 一二錢
 〔起重機使用料〕 揚力一噸一時間 五〇錢
 〔給水料〕 一立方米迄每一二錢 民營運搬五〇錢
 〔解料〕 (石炭解貨)
 芝浦築地本船荷役 一萬斤ニ付 四、二〇
 臺場附近同 四、五〇
 東京地廻リ 三、八〇
 〔船内人夫賃〕 一噸 三〇錢乃至三五錢
 〔水切賃〕 一噸 四〇錢乃至四五錢
 〔タリマン賃〕 一日 三圓五〇錢乃至四圓
 〔水先案内料〕
 橫濱錨地相互間 四五圓 隅田川錨施間 七五圓
 橫濱錨地隅田川錨地間 四五圓

清 水 港

名 古 屋 港

〔水先案内料〕 一隻 二五圓 轉錨料 一〇圓
 〔給水料〕 一噸 六五錢
 〔解貨〕
 雜貨一噸 出貨 二、〇〇 入貨 一、八〇
 穀物百石 同 三三、〇〇 同 三〇、〇〇
 〔船内人夫賃〕
 普通品一噸 出貨 四〇 入貨 三五
 穀物百石 同 六、六〇 同 五、八〇
 木材一噸 平均 三〇
 〔木材沖取並回漕賃〕
 中丸太 百石 本船ヨリ貯水場迄 二一圓
 雜木 同 同 二四圓
 米材 同 同 二六圓
 〔岸壁及浮標使用料〕 (二十四時間)
 五千噸以上船舶 一二圓 千噸以上船舶 七圓
 〔上屋使用料〕
 專用 一坪一ヶ月 一圓 其他 一坪一日 七錢
 〔曳船料〕
 千噸以上船舶一回 五圓 千噸未滿一回 三圓
 解一隻荷船 二、五〇
 〔起重機使用料〕

【港 灣】

浮動 一臺一時間 五圓 手動 五〇錢

門 司 港

〔解貨〕
 北海雜穀 四斗 九四五
 大豆 一四〇斤 九〇〇
 大豆粕 四六斤 六六〇
 セメント 三百斤 七五〇
 鐵物 一噸 一、〇〇〇
 雜貨 一噸 一、〇〇〇
 〔給水料〕
 直接給水一噸 四五錢 運搬給水一噸 五〇錢
 〔タリマン人足賃〕
 タリマン 三、五〇 船内人夫揚人夫 三圓乃至四圓
 〔代理店料〕
 千噸未滿 內國船 二五圓 外國船 三〇圓
 五千噸未滿 同 三〇圓 同 五〇圓
 五千噸以上 同 五〇圓 同 八〇圓
 〔水先案内料〕 (片道)
 千噸 八圓 三千噸 一六圓 五千噸 二四圓
 七千噸 三〇圓 一萬噸 三九圓 轉錨 八圓
 〔棧橋使用料〕 大小約三十の棧橋は總て小蒸汽船及解
 船の繫留用で市營棧橋は一個にて左の如し

【港 灣】

小蒸汽船一隻一ヶ月 七圓五〇錢
 [上屋使用料] (五百斤又八十立方尺毎二) 六日一十五日 一日一錢 十六日以後 一日二錢
 專用 一坪毎二一ヶ月 二圓
 [浮標使用料] (二十四時間毎) 總噸數 五千噸未満 一〇圓 一萬噸未満 一五圓 一萬五千噸未満 二三圓 二萬五千噸以上 三〇圓
 [曳船及解船賃] 曳船(民營)一時間ニ付 二〇噸以上船 五、八〇 十五噸以上船 五、二〇 一〇噸以上船 四、七〇 一〇噸以下船 四、二〇
 解船 外航雜貨一噸 一圓五〇錢位
 [起重機使用料] (稅關)一臺一時間毎 電氣 一噸半 一圓 五噸 一、五〇 十五噸 五、五〇
 蒸汽 二十噸 五圓
 其他 五噸 一圓 五噸増毎ニ 五〇錢
 手捲 五噸 五〇錢 五噸増毎ニ 二五錢
 [給水料] 直接給水 一噸 一〇錢 運搬給水 五〇錢
 夜間及舊港外給水ハ三割増
 [通船料] (民營) 附通船 一日四圓 港内片道 一人四〇錢
 [タリマン及人足賃]

若 松 港

タリマン 三、五〇 半夜倍額、全夜三倍
 船内人夫 雜貨一噸 三五錢
 揚積人夫 雜貨積一噸 六〇錢 揚一噸 七〇錢
 [代理店料] (定率) 内航 一五圓 外航 三〇圓 外國船 一〇〇圓
 外ニ總噸數一噸ニ付一錢ヲ加算ス
 [水先案内料] (總噸數千噸、吃水十呎) 港内轉船 二五圓 門司神戶間 一三〇圓 門司六連部埭間 三五圓
 千噸若ハ吃水一呎増毎ニ百分ノ六ヲ加フ
 [水切賃] 米 (一噸) 一、三三 棉花(一才) 一、〇六 礦石(一噸) 三、三三 大豆(一噸) 一、九〇 機械(一噸) 三、〇〇 大豆粕(一才) 一、六六
 [積込賃] 米 穀(一噸) 一、六六 セメント(一噸) 一、五三 精糖(一噸) 一、三三 棉布(一噸) 一、八〇 雜貨(一噸) 一、五五 麥粉(一噸) 一、〇六 生果(一噸) 一、七五 石油(一噸) 二、五五
 [出入港錢率] (若松築港會社) 石炭米穀類雜貨積汽船及曳船

【港 灣】

(噸數ハ載貨高、貨率ハ一噸當)
 百噸迄 三錢 二百噸迄 五錢 三百噸迄 七錢
 四百噸迄九錢 五百噸迄一二錢 七百噸迄一五錢
 七百噸以上 二〇錢
 曳船小蒸汽 登簿一噸ニ付 三錢
 但出入港共積載セサル船舶ハ三分ノ一
 [繫船浮標使用料] (若松築港會社) 千噸未満二圓 三千噸未満三圓 三千噸以上四圓
 [岸壁使用料] (十二時間毎) 登簿一噸ニ付一錢五厘 以上十二時間毎ニ三錢
 [給水料] 一石ニ付平均一錢四厘
 [炭積機使用料] 汽船積一噸ニ付二錢
 [水先案内料] 吃水十呎千噸 三五圓 以上増毎ニ百分ノ六ヲ加フ
 [曳船料] 一港内ヨリ曳廻 一港内 二、〇〇 二港内 三、三〇 藤木八幡三、〇〇
 前田 四、〇〇 石川島 三、五〇 黒崎 六、〇〇
 二港内ヨリ曳廻 藤木 二、五〇 石川島 三、〇〇 二島 四、〇〇
 八幡 三、五〇 前田 五、〇〇 黒崎 六、〇〇
 沖出曳込(築港マデ)荷空共

長 崎 港

一港内ヨリ二、五〇 二港内ヨリ三、〇〇 前田ヨリ四、五〇
 一港内沖出三、〇〇 二港内沖出三、五〇 八幡沖出四、五〇
 川崎小廻船 一區 一、五〇 二區 二、〇〇 一區毎ニ二〇錢
 八幡枝光行石炭船 沖ヨリ八幡 三、五〇 二隻 六、〇〇 三隻 八、五〇
 沖ヨリ枝光 三、〇〇 " 五、五〇 " 七、五〇
 [解船賃] 自若松至門司弟子待 石炭一噸 五六錢
 自若松 至下 關 焚料炭一噸 五七錢
 自若松至延命寺小倉 石炭一噸 五四錢
 港内取廻 " " 二六錢
 自若松至藤木枝光 " " 二九錢
 自若松至黒崎 " " 三七錢
 [棧橋使用料] (十二時間以内) 登簿一噸ニ付 一錢五厘 以上六時毎ニ半額
 [岸壁使用料] (二十四時間毎) 登簿一噸ニ付 二錢 以上二四時間毎ニ一錢
 [浮標使用料] (二十四時間毎) 五千噸以下 一〇圓 一萬噸以上 二五圓
 一萬噸以下 一五圓 一萬五千噸以上 三五圓

【港 灣】

〔起重機使用料〕 手動 五噸迄 五〇錢 五噸増毎ニ二五錢
 〔解船賃〕 小舟 二、二〇 圓平船 七圓迄
 〔タリマン及人足賃〕 タリマン 一日 五圓
 船内人夫 每噸 三〇錢
 普通人夫 〃 三〇錢
 〔水先案内料〕 (千噸十呎以内) 長崎港出入 三〇圓
 轉錨 二五圓 波止場離着 二五圓
 〔給水料〕 一噸ニ付 二五錢
 〔上屋使用料〕 (五百斤十立方尺) 六日ヨリ十五日 一日一錢 十六日以後二錢

三 池 港

〔出入港錢率〕 (三井鑛山) 載貨一噸 二〇錢 空船其他 登簿一噸 六錢
 滞船料(荷役制限日數經過ノモノ) 二十四時間毎ニ登簿一噸 二錢
 〔曳船料及起重機料〕 (三井鑛山) 實費徴收

伏 木 港

〔給水料〕 (一噸ニ付) 直接給水 六三錢 水船渡 七七錢
 〔代理店料〕 (三井物産) 日本船 五〇—一〇〇圓 外國船 一〇〇—二〇〇圓
 〔水先案内料〕 (千噸吃水十呎) 三池口ノ津間片道 五五圓
 港外ヨリ港内迄片道 二〇圓
 其他通船料、揚積費用、保管料、人足賃、解船積賃は何れも實費徴收(三井鑛山)
 〔棧橋使用料〕 (三時間又ハ其端數毎ニ) 登簿百噸未滿 五〇錢 千噸未滿 八〇錢
 千噸以上 一圓
 〔曳船及解賃〕 港 内 空船 一圓 荷積船 一、五〇錢
 伏木ヨリ岩瀬 〃 三圓 〃 五圓
 伏木ヨリ魚津 〃 四圓 〃 七圓
 伏木ヨリ七尾 〃 九圓 〃 一五圓
 解船賃(噸當) 米 四〇錢 木材 四五錢 雜穀 四〇錢
 鐵材 八〇 〃 〃 三五 〃 〃 四〇 〃 〃 石炭 四〇

〔給水料〕 遠近ニ不拘噸當六〇錢
 〔上屋使用料〕 (一日一坪) 一週間以内 三錢 一週間以上 四錢
 二週間以上 六錢 三週間以上 一〇錢
 〔人足賃〕 沖仲仕 二、六〇 解人夫 二、五〇
 水揚人夫 二、六〇

新 潟 港

〔水先案内料〕 (境界、錨地間) 千噸未滿 一、二呎未滿 六圓以上 八圓
 二千噸未滿 一、四呎未滿 一〇圓以上 一二圓
 三千噸未滿 一、六呎未滿 一四圓以上 一六圓
 四千噸未滿 一、八呎未滿 二〇圓以上 二二圓
 五千噸未滿 二〇呎未滿 二四圓以上 二六圓
 七千噸以上 二、二呎未滿 三三圓以上 三六圓
 〔代理店料〕 五百噸未滿 一〇—一五圓 千噸未滿 二五圓
 千噸以上 三〇—三五圓
 〔積卸料〕 品名 解賃 人夫賃
 米 一俵 二錢三厘 一錢六厘
 セメント 一個 八、六 七、〇
 雜貨 〃 四、七 三、〇
 大豆粕 〃 一、二 〃
 パルプ 一噸 三三、八 三六、〇

雜穀 一俵 二、三 塊一圓七錢
 石炭(解取) 切込 粉一圓二錢

〔埠頭料〕 (縣營) 三時間毎ニ 登簿百噸未滿 三〇錢 千噸未滿 五〇錢
 千噸以上 八〇錢
 〔上屋使用料〕 (一日一坪) 一週間以内 二錢 二週間以内 三錢
 三週間以内 五錢 四週間以内 八錢
 〔浮標使用料〕 (二十四時間毎ニ) 登簿千噸未滿 三圓 千噸以上 五圓
 三千噸以上 七圓
 〔水先案内料〕 (一噸ニ付) 水先案内人ヲ要シタル場合 二錢五厘 轉錨 一錢
 同 要セザル場合(世話料) 一錢
 同 回纜料 千噸未滿一回三圓 千噸以上一回五圓
 〔給水料〕 内港 五十噸未滿一噸ニ付 六〇錢
 外港 同 一圓
 〔タリマン及人足賃〕 常備 二圓
 臨時 三圓 解人夫 二圓
 仲仕 一、九五

【港 灣】

〔積卸料〕(一噸=付)
 石炭(計り賃) 一三錢
 其他距離ノ遠近ニ依リ二九錢乃至四五錢

函 館 港

〔上屋使用料〕市營(一坪一日)
 上屋內 十日迄四錢 廿日迄八錢 卅一日迄一二錢
 上屋外 " 二錢 " 四錢 " 六錢
 〔起重機使用料〕(私有)
 六噸未滿 一基 二五圓
 六一〇噸 一噸 四、五〇
 一〇一五噸 " 五
 一五一二〇噸 " 五、五〇
 以上五噸ヲ増ス毎ニ一圓増
 〔給水料〕(一石=付)
 港內 五五錢 其他 七七錢
 夜間及荒天ハ三割増
 〔代理店料〕
 千噸以下 內航 二五圓 外航 四〇圓
 二千噸以下 " 三〇圓 " 五〇圓
 三千噸以下 " 五〇圓 " 七〇圓
 五千噸以下 " 八〇圓 " 一〇〇圓
 五千噸以上 " 一〇〇圓 " 一二〇圓

大豆 粕 一個 三
 水松丸太 百石 元圓〇錢 一日一圓五錢

室 蘭 港

〔給水料〕一噸=付 八〇錢
 〔解及人夫賃〕
 人夫賃 二、五 臨時(沖人夫) 二、六
 曳船 大型港內 七〇圓 港外 八五圓
 貨解 三十噸以上 一〇圓 五十噸以上一五圓
 〔積卸料〕
 品名 解賃 人夫賃
 鐵板(五分以下) 一噸 揚、五〇積、八〇(仲仕込) 六〇〇
 石炭 一噸 一、六〇厘
 肥料(十貫入) 一噸 五
 米 一俵 五
 石 一箱 五
 油 一俵 二〇
 粕 一俵 二〇
 雜貨 二才以下 一個 五
 雜貨 百斤 一個 五

基 隆 港

〔荷揚場使用料〕

〔仲繼諸掛〕
 仲仕賃 米 三層 散 九〇厘 豆 六〇厘
 解賃 貨 一、二〇 一、三〇
 看船料 二、四〇 八〇
 滯船料 二、五〇 三〇
 保險料 三、〇〇 一、五〇
 合計 一、九二 三、二〇

小 樽 港

〔起重機使用料〕
 一時間 五〇錢 一噸 一〇錢
 〔浮標使用料〕(市營)
 五千噸未滿 八圓
 〔給水料〕(一噸=付)
 運搬 六五錢 直接 四五錢 時間外 八七錢
 〔積卸料〕
 品名 解賃 人夫賃
 柏類(廿五貫建) 一個 一〇圓 一圓
 魚 一尾 六
 散 一袋 一〇
 雜 一俵 五
 米 (四斗) 一俵 五

岸壁 總噸 普通船一日一錢
 荷揚場 一坪 四日以上一日每五厘
 浮標 一隻 一日五圓
 〔上屋及クレーン使用料〕(鐵道部)
 上屋 八日以上經過 一坪一日每二圓
 クレーン 貨物一噸 一〇錢 最低 二〇錢
 重量三噸以上ハ五割増
 〔曳船料〕(稅關)
 曳船 汽船一隻=付 一五—三〇圓
 〔給水料〕
 岸壁給水 一噸=付 三〇錢
 水船給水 內港 五〇錢 外港 六〇錢
 〔人足賃〕
 內地人 二—三、三〇錢 本島人 八—一、八錢
 〔水先案内料〕

外港 內港 轉 錨
 三千噸以下 入港 二五圓 一五圓 三五圓 二〇圓
 五千噸以下 入港 四〇圓 一五圓 五〇圓 二〇圓
 七千噸以下 入港 一五〇圓 一五〇圓 一五〇圓 二五圓
 一萬噸以下 入港 一六五圓 一五〇圓 一七〇圓 一五圓
 〔水揚料〕(一噸=付)
 出港 一六五圓 一五〇圓 一七〇圓 一五圓
 入港 一五五圓 一五〇圓 一七〇圓 一五圓

【港灣】

雜貨石炭セメント豆粕 一、三五錢
木材 鐵物 石材 鹽魚 一、六二
危 險 物 二、五

高雄港

〔荷揚場使用料〕 基隆港ト同一
〔曳船料〕 基隆港ト同一
〔給水料〕 (一噸ニ付) 運搬 七五錢
直接給水 一五錢
〔タリマン及人足賃〕
ウインチマン 二、五〇 タリマン 三、〇〇
船内人夫 一噸ニ付 二六―四〇錢
〔水先案内料〕
三千噸以下 片道三〇圓 千噸増毎ニ一〇圓
港内轉錨 三千噸以下一五圓 千噸増毎ニ五圓
〔水揚料〕
最低一口 三錢 容積物 一噸 一、三五錢
重量物 一噸 一、七〇 牛馬 一頭 九、〇〇

釜山港

〔棧橋使用料〕 (二十四時間毎)

登簿一噸ニ付二錢 超過毎ニ一錢
〔給水料〕 (一噸ニ付)
直接 一〇錢 草梁沖 七〇錢
港内 五〇錢 釜山鎮沖 一圓

〔代理店料〕

千噸以下 二五圓 二千噸以上 五〇圓
二千噸以下 三五圓

〔起重機使用料〕

鐵道局 噸二〇錢 土木局(日借) 百圓位

〔積卸料〕

雜貨 一噸 船内賃 二五〇厘 解賃 一、〇〇〇厘
外米 一噸 二五〇 八〇〇
穀類 百石 四、〇〇〇 八〇〇
木材 一噸 三〇〇 八〇〇
石炭 一噸 一、三〇〇 八〇〇
草梁釜山鎮揚

元山港

〔單頭料〕 (一晝夜登簿噸)
外航船專用 一噸ニ付 二錢
〔代理店料〕
外航船 五〇圓 内航船 三〇圓

仁川港

〔給水料〕 (一噸ニ付)
直接給水 四〇錢 防波堤内 七〇錢
沖運搬 八五錢
〔船内人夫賃〕
普通貨物 一噸 三〇錢 荷 繰 費 二五錢
重量品 六〇錢 ウイン 一時間 二〇錢
積卸料) ナマン
普通貨物 一噸 一、〇〇〇厘 解荷役 岸壁荷役 八〇〇厘
才 一才 三五
荷 百斤 六
石 一石 一五
個 一個 一〇
最低賃金 一〇 登

〔船渠使用料〕 (登簿一噸ニ付)
二四時間迄毎ニ二錢

〔揚卸場使用料〕

一時使用(一日ニ付) 穀物二厘 個取五厘
撒物長尺物一坪ニ付 三錢
藏 置 一坪一ヶ月ニ付 一五錢區 八錢區

【港灣】

〔給水料〕 (一噸ニ付)
岸壁給水 三五錢 沖運搬 一、三五錢

〔代理店料〕

重量三千噸未満 三〇圓 五千噸未満 五〇圓

〔船内人夫賃〕 (船渠内)

穀物 一噸 三〇錢 重量品 四〇錢
荷繰賃(同一船内) 雜貨 三〇錢 穀物 二五錢

石炭 二〇錢

ウインチマン 一日 三圓
沖荷役及夜間荷役ハ五割増

〔解積卸料〕 (荷役費)

雜貨 一才 一五厘 個取 一個 八〇厘
材木 一噸 二〇 石炭 一噸 五四〇
肥料 百斤 三二 外米 一袋 五〇

鎮南浦港

〔水先案内料〕 (千噸十呎迄)

境界線 鎮南浦錨地間 五五圓
同 兼二浦錨地間 八五圓
鎮南浦錨地 保山錨地間 六〇圓
同 兼二浦錨地間 四〇圓
鎮南浦錨地 船渠岸壁往復 二〇圓
〔入渠料〕 登簿一噸ニ付 一日二錢

【港 灣】

〔給水料〕(一噸ニ付)
 直接給水 三七錢 運搬 一、二錢
 〔代理店料〕(重量噸)
 二千噸以下 三〇圓 四千噸以下 七〇圓
 三千噸以下 五〇圓 五千噸以下 一〇〇圓
 〔解 賃〕(一噸ニ付)
 港内前解 五五錢 解滯船料 一日一四錢
 〔船内人夫賃〕穀物雜貨積揚一噸 三〇錢
 〔タリマン人足賃〕
 タリマン 三、五錢 人足(朝鮮人) 八〇錢

大 連 港

〔埠頭料〕
 船内人夫賃 普通貨物 一 噸 二〇錢
 揚積 賃 〃 〃 各五五錢
 假置料 豆粕 三〇錢 豆油 四〇錢
 普通貨物 一日一噸 三五厘
 殘荷扱料 〃 一噸 二〇錢
 〔埠頭發着手数料〕
 發着手数料 千噸未滿 三〇圓 千噸毎ニ二〇圓ヲ加フ
 千噸未滿 一五圓 千噸毎ニ一〇圓ヲ加フ

埠頭繫船料

一隻一日又ハ其未滿毎ニ一噸ニ付一錢
 總額五千噸以上ノ船舶ハ五日間免除
 但六月一日ヨリ十月卅一日マデハ之ヲ免除ス
 〔給水料〕(一噸ニ付)
 埠頭及北大山埠頭繫留船 五四錢
 港内碇泊船 七五錢
 〔解賃貨料〕
 石炭鑛石 一噸 五〇錢 雜貨木材 六〇錢
 〔浮標使用料〕
 千噸未滿一〇圓 五千噸未滿一五圓 以上二〇圓

〔埠頭特定料〕

貨物積卸賃 豆油流込ミ 一噸 六〇錢
 船内荷繰賃 同一船艙 一噸 二五錢
 隣接船艙 〃 三五錢
 其他 〃 四五錢
 特殊貨物船内人夫賃(一噸ニ付)
 豆油流込ミ 三〇錢 レール 四〇錢
 一—三噸未滿 六〇錢 五噸未滿 一圓
 十噸未滿 一、五〇錢 十五噸未滿 二圓
 特殊貨物揚積賃(一噸ニ付)
 六十封度以上 八〇錢 一—三噸 一、〇〇錢
 五噸未滿 一、二〇錢 十噸未滿 一、五〇錢
 沖合荷役賃(船内人夫賃共)(一噸ニ付)

一般貨物 四〇錢 火藥類 八〇錢
 起重機使用料(一時間ニ付)
 三十噸機 三〇圓 一時間毎ニ 一〇圓
 五十噸機 五〇圓 〃 〃 二〇圓
 五噸機 一五圓 〃 〃 六圓
 タリマン及人夫賃(一日ニ付)
 日本人夫 三、五〇錢 タリマン 五圓
 苦力 八〇錢 日本人 五圓
 同常備 一、二〇錢 支那人 二圓

世界貨物運賃建

船舶に搭載すべき貨物運賃計算法は當事者間の隨意契約に基くものなるも各地箇々の慣習ありて多くはこれを標準に運賃計算を行ふを常とす茲に普通運賃市場に現はるゝ主要貨物に對する所謂運賃建ての標準を畧記せり

(一) 運賃建標準原則

噸 重量 (英噸(重噸)三、二〇〇封度—三〇本—一、六〇〇斤
 米噸(輕噸)二、〇〇〇封度—三〇本—一、五〇〇斤
 佛噸(一、〇〇〇担—一、六六六斤
 立方呎(才)一、〇〇才(才ハ一尺立方)
 容積 石—六石

【港 灣】

備考 其他擔ハ二六、〇—二六、四—一六、八一噸ノ制アリ

(二) 各地標準建

△日 本 (重量ハ輕噸三、〇〇〇封度、一、五〇〇斤 容積ハ四〇才ヲ以テ一噸トス)
 一、石 炭 (近海 一〇〇斤(一〇、〇〇〇斤六噸)
 遠洋 一噸(二、四〇〇封度、一、六〇〇斤)
 一、砂 糖 (近海 一〇〇斤(五俵一噸)
 遠洋 一擔(六担二噸)
 一、材 木 (内地 一〇〇石(一、〇〇〇才)
 滿鮮 四〇才
 一、枕 木 六本
 一、生 糸 一〇〇封度
 備考 北海雜穀ハ二〇〇石(六石一噸)ノ粕、莖包鹽魚、
 昆布、砂等ハ二〇〇石(四、〇〇〇貫)散鹽魚ハ二〇〇石
 (六、〇〇〇又ハ三、〇〇〇尾)ヲ以テ運賃率トス
 △朝 鮮 (日本ト同シ)
 一、米 一〇〇石
 △北 支 那 (營口、牛莊、大連)(重噸三、二〇〇封度一六、八
 斤及四才ヲ用フ)
 一、大 豆 (日本 一擔
 遠洋 一噸(六、八擔)
 一、豆 粕 一擔又ハ二枚

【港 灣】

△南支那 (海防、西貢、盤谷) (佛噸、六六斤、四〇才、蘭貢、重噸、四〇才用フ)

一、米 (日本 一擔(六、八擔一噸) (佛國 一噸(一、六六斤))

備考 其他チーク材、黑檀、紫檀等ハ四〇才單位ナリ

△比島 (馬尼刺)

一、麻 四〇才

一、銑鐵 一噸(二、〇〇〇封度)

備考 其他葉烟草等ハ四〇才ヲ以テス

△濠洲 (タウンズヰイル、プリスベーン、ニューキヤツスル、シドニー、メルボルン)

(重噸、四〇才用フ)

一、小麥 一噸(二、二四〇封度)

一、小麥粉 小麥ト同シ

一、羊毛 二〇〇封度又ハ二俵

一、木材 (ジャラカリ) 一ロード(五〇才)

△印度 (孟買、古倫母、甲谷陀)

一、棉花 四〇才

一、麻袋 一噸(二、二四〇封度又ハ四〇才)

備考 當地ハ種々ノ(スケール)噸存在シ頗ル繁雜

ヲ極ム重ナルモノヲ掲グレバ落花生、棉實

等ハ三本四一四才、胡麻等ハ二五本、四三才、小

麥、菜種等ハ二六本四一四才、扁豆ハ三本、四三才麻羊毛等ハ四〇才ヲ以テ各一噸ト見做ス

△瓜哇 (スラバヤ、パタビヤ、サマラング)

一、砂糖(日本 一擔 (歐大陸 一噸(一、六七擔))

一、護謨 四〇才

備考 當地モ頗ル復雜ニテ瓜哇(スケール噸)ナル

モノアリ茶、コブラ、珈琲及主トシテロソ

テルダム輸出ノ葉烟草等アレド之ヲ省畧ス

△北米 (晚香坡、沙府、紐育其他) (重量ハ輕噸、四〇才用フ)

一、鐵材 一噸(二、〇〇〇封度)

一、棉花 二〇〇封度又ハ二俵

一、木材 一、〇〇〇 M.T. (約八三才)

一、小麥 一噸(二、〇〇〇封度)

一、石油及礦油 (樽入) 二〇〇封度

同 (函入) 一函

△南米 (重噸及四〇才用フ)

一、穀物 一噸(二、二四〇封度)

大略以上ノ如シト雖モ時ニ當事者間ノ契約ニ依リ

又ハ其航路等ニ依リ種々變更スル場合アリ

造船

索引

<p>船舶資格……………二六三</p> <p>積量測度……………二六三</p> <p>總噸數……………二六三</p> <p>登簿噸數……………二六三</p> <p>公稱馬力……………二六四</p> <p>本邦標準船型……………二六四</p> <p>本邦主要造船所獨特船型……………二六五</p> <p>英、米、佛、伊標準船型……………二六五</p> <p>世界造船所數……………二六六</p> <p>本邦造船所……………二六六</p> <p>最近五箇年間世界進水船趨勢……………二六七</p> <p>世界進水船內容……………二六八</p> <p>世界船型別進水船調……………二七〇</p> <p>各國油槽船進水數……………二七一</p>	<p>世界建造中船舶……………二七一</p> <p>本邦及世界進水船累年比較……………二七三</p> <p>本邦造船月別狀況……………二七三</p> <p>本邦造船別累年成績……………二七三</p> <p>昨年度進水船內容……………二七四</p> <p>本邦アイセル船內容……………二七四</p> <p>船質別船舶經濟比較……………二七六</p> <p>本邦造船用鋼材價格……………二七九</p> <p>本邦主要造船所工數……………二八〇</p> <p>歐米造船工勞銀比較……………二八〇</p> <p>世界鐵鑛包藏量……………二八一</p> <p>列強鐵消費額……………二八一</p> <p>英、米、獨、佛鋼生產高……………二八二</p> <p>本邦鋼材需給趨勢……………二八三</p>
--	--

造船

船舶資格

検査官吏左の標準に依り之を定む。其資格業従ひ航路
 定限に差等あること表下に示す如し。

等級 船種	上甲板下噸數最快速力	航路 定限
第一(汽船)	五百噸以上	遠洋航路、近海航路
第二(汽船)	五十噸以上	沿海航路、平水航路
第三(汽船)	百噸以上	八節以上 遠洋航路、近海航路
第四(汽船)	二十噸以上	八節以上 平水航路
第五(帆船)	二十噸以上	六節以上 沿海航路、平水航路
第六(帆船)	無制限	沿海航路、平水航路
第七(汽船)	無制限	平水航路

進水後二十五年以上の船舶にして、外板其他要部の
 衰耗著しく、従来の資格を繼續し得ざる虞あるもの
 に於いては、検査官吏其衰耗の程度を精査し、遞臣
 大臣の指揮を受けて其資格を定む。

積量測度

百立方呎を一噸として測度す。甲板一層又は二層を備

【造船】

ふる船舶にありては上甲板を、三層以上を備ふる船舶
 にありては最下層甲板より第二層に在る甲板を量噸甲
 板とす。

總噸數

甲板一層又二層を備ふる船舶にありては、量噸甲板
 下の噸數に、量噸甲板上蔽圍したる場所の噸數を加へ
 たるもの、甲板三層以上を備ふる船舶にありては、量
 噸甲板下の噸數に量噸甲板上各甲板間の噸數及び上甲
 板上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸數と
 す。甲板を備へざる船舶にありては舷端以下の噸數に、
 舷端以上蔽圍したる場所の噸數を加へたるものを總噸
 數とす。

登簿噸數

總噸數より(一)船員常用室及び海圖室、(二)荷足水艙
 (三)機關室、(四)操舵器具、繫船機具、揚錨機具及び主

【造 船】

脚筒と連絡したる副汽罐、副汽機に供用せらるゝ場所
 (五)水夫長倉庫、(六)帆船の帆庫、(七)主務大臣に於て
 船舶の安全、衛生又は利用上前各號に準すべきものと
 認むる場所の噸數を控除したるものを登簿噸數とす。
 (石數)を以つて積量を表示すべき船舶は、十立方尺を
 一石として測度す。

□公稱馬力

(一)冷汽器を備へざる機關の公稱馬力は汽笛吸鑿の徑
 を時にて測り、之を自乗し、得數を十箇にて除したる
 もの。(二)冷汽器を備ふる機關の公稱馬力は汽笛吸鑿
 の徑を時にて測り、之を自乗し、得數を三十箇にて除
 したるもの。(三)冷汽器を備へざる聯成機關の公稱馬
 力は其汽笛吸鑿の徑を時にて測り、各これを自乗して
 相加へ、其得數を十箇にて除したるもの。(四)冷汽器
 を備ふる聯成機關の公稱馬力は其各汽笛吸鑿の徑を時
 にて測り、各之を自乗して相加へ、其得數を三十箇に
 て除したるもの。

□本邦標準船型

船型	種類	構造	長	幅	深	推進器	航海力
A	噸數	覆甲板	四三呎五、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二
B	噸數	覆甲板	四三呎五、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二
C	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
D	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
E	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
F	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
G	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
H	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
I	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
J	噸數	覆甲板	三三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二

二 特別標準船型

K	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
L	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
M	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
N	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
O	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二
P	噸數	覆甲板	四三、〇〇	三、〇〇	二、二	二	二

普通標準船型とは純貨物船にして、特別標準船型と
 は定航用貨物船の船なり。

【造 船】

往年の大戦に際し、船舶の建造を成るべく容易に且つ
 迅速ならしむる方法を講ずる爲め、臨時船舶管理局内
 には七年三月標準船型調査會を設け、數回の審議を重
 ねたる結果、現下の戦局に處する應急的のもの、將來
 の造船をも考慮したるものと、二種の成案を得て、六
 月中關係業者の意見を徴するの運びとなる、其案即
 ち左の如し。現時世界列國皆此種の型標準型を定めざ
 るなく、船型に一定の基準を定むるは、單に造船術の
 改良進歩、軍事上徵發の利便に資するのみならず、船
 舶の注文を簡易にし且つ材料品を廉價に製作するを得
 せしめ、修繕を迅速ならしむる等の効益あり。
 戦時急造を目的とする場合。

一 普通標準船型

船型	種類	構造	長	幅	深	推進器	航海力
A	噸數	覆甲板	三三、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二
B	噸數	覆甲板	三三、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二
C	噸數	覆甲板	三三、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二
D	噸數	覆甲板	三三、〇〇呎	三、〇〇	二、二	二	二

□本邦主要造船所獨特標準船型

造船所	總噸數	重量噸
三菱造船所	七、三〇〇噸	一〇、八〇〇噸
川崎造船所	三、八〇〇噸	六、四〇〇噸
大坂鐵工所	五、八〇〇噸	九、一〇〇噸
淺野造船所	六、五〇〇噸	八、五〇〇噸
浦賀船渠會社	四、五〇〇噸	六、九〇〇噸
石川島造船所	三、二〇〇噸	五、一〇〇噸

□英米佛伊標準船型

世界戦争の勝敗は其の所有する船舶の多寡に依りて決
 せらる可しと云へるが戦後に起る可き最も激烈なる貿
 易戦に於ける勝敗も亦船舶所有の多寡に依りて決せら
 る可し此に於てか聯合諸國の船舶を備へんとする努力
 前述の如きものあり而して船舶の建造を最も迅速且つ
 容易ならしめんとせば標準船型を一定し其の材料の統
 一を計らざる可からず之れ列國が一齊に標準船型を制

【造船】

定したる所以にして其の詳細は嚴秘に附せられつゝあるを以て之を知るに由なしと雖も今日迄に判明せる所に依れば大體に於て左の如し

船型 (重量噸數)	(構造種類)	國
船型 (重量噸數)	(構造種類)	國
A型 八、〇〇〇噸	單甲板	英
B型 八、〇〇〇噸	二層甲板	英
C型 七、〇〇〇噸		英
D型 五、〇〇〇噸		英
E型 三、〇〇〇噸		英
F型 油槽船		英
二、〇〇〇噸 (重量)		佛蘭西
三、〇〇〇噸 (同)		佛蘭西
五、〇〇〇噸 (同)		佛蘭西
七、〇〇〇噸 (同)		佛蘭西
八、〇〇〇噸 (重量)		伊太利
八、八〇〇噸 (重量)		米國

□世界造船所數

造船所名	所在地	船渠數	船臺數
英 國	英國	二九六	三〇
(同 本國)		二四七	二〇
(海峽殖民地)		四	〇
(加奈陀)		二一	〇
(新西蘭)		五	〇
(香港)		六	〇
(印度)		一	〇
(タスマニヤ)		一	〇
和 國	和國	一四七	二
合 衆 國	合衆國	一〇七	一
獨 逸	獨逸	五〇	一
日 本	日本	四六	一
佛 國	佛國	三六	一
諸 威	諸威	三四	一
伊 太 利	伊太利	二	三
瑞 典	瑞典	一	二
西 班 牙	西班牙	一	〇
丁 國	丁國	一	〇
露 國	露國	一	〇
奧 國	奧國	一	〇
白 耳 義 國	白耳義國	一	〇
支 那	支那	一	〇
希 臘	希臘	一	〇
葡 萄 牙	葡萄牙	一	〇
伯 刺 西 爾	伯刺西爾	一	〇
土 耳 古	土耳其	一	〇

□本邦造船所

造船所名	所在地	船渠數	船臺數
川崎造船所	神戶	一	七
三菱彦島造船所	神戶	一	三
同 神戶造船所	神戶	一	二
同 長崎造船所	長崎	一	三
三井造船所	日幡	一	二
栃木造船所	八幡	一	一
深川造船所	福崎	一	一
松尾鐵工所	長崎	一	一
名村鐵工造船所	大崎	一	一
新瀉鐵工所	大崎	一	一
尼崎造船部	大崎	一	一
山科幸三郎	同	一	一
松尾造船所	同	一	一
大阪窯業	同	一	一
尾道船渠造船所	尾道	一	一
向島船渠	尾道	一	一
木村龜吉	能島	一	一
望月兆三	木江	一	一

▲最近五箇年世界進水船趨勢

(總噸數二百噸以上)

【造船】

造船所	噸數	船渠數	船臺數
東 京	一	一	一
鶴 見	二	一	一
橫 濱	三	一	一
同 濱	二	一	一
浦 賀	一	一	一
鳥 羽	一	一	一
相 模	一	一	一
大 阪	四	一	一
土 生	六	一	一
彦 島	六	一	一
三 島	二	一	一
笠 戶	一	一	一
大 阪	三	一	一
同 島	二	一	一
同 備	二	一	一
同 後	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一
同 場	二	一	一
同 笠	二	一	一
同 戶	二	一	一
同 島	二	一	一
同 工	二	一	一

年次	【造 船】											
	英國	同 本 國 殖民地	丹 麥	丁 國	佛 國	獨 逸	和 蘭	伊 太 利 本 國	日 本	諸 威 典 國	米 國	其 他 國
一九二四年	494	1,439	487	3	3	26	175	4	3	3	1	942
一九二五年	341	1,084	467	6	2	2	47	4	1	1	1	852
一九二六年	197	639	438	1	3	3	47	4	1	1	1	600
一九二七年	371	1,358	301	8	3	3	20	3	3	3	3	802
一九二八年	430	1,455	230	6	3	3	20	3	3	3	3	869
合計	1,735	6,166	1,632	19	14	14	171	16	16	16	16	6,000

▲世界進水船內容

年次	汽 船			帆 船			合 計
	隻數	噸數	%	隻數	噸數	%	
一九一三年	1,280	3,188,578	95.6	47	144,304	4.4	1,327
一九二四年	699	1,698,933	75.5	86	477,010	20.5	785
一九二五年	544	1,298,696	59.2	113	510,799	23.3	657

年次	【造 船】												
	英國	同 本 國 殖民地	丹 麥	日 本	露 國	佛 國	瑞 典	丁 國	伊 太 利 本 國	和 蘭	米 國	獨 逸	其 他 國
一九二六年	39	1,375,818	60.2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	39
一九二七年	480	1,375,818	60.2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	482
一九二八年	507	1,477,092	76.7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	516
合計	1,026	4,230,728	81.1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1,031

【造船】

▲世界船型別進水船調

(一九二八年)

國別	英國	獨逸	米蘭	和蘭	伊太利	佛蘭	日本	其他	合計
汽船	103	55	44	4	1	1	1	1	166
內燃	33	37	27	2	2	2	2	2	105
汽船	6	7	1	1	1	1	1	1	20
內燃	3	3	3	3	3	3	3	3	24
汽船	6	6	3	3	3	3	3	3	30
內燃	4	4	2	2	2	2	2	2	24
汽船	5	4	2	2	2	2	2	2	25
內燃	3	3	1	1	1	1	1	1	12
汽船	2	2	1	1	1	1	1	1	10
內燃	1	1	1	1	1	1	1	1	8
汽船	2	2	1	1	1	1	1	1	10
內燃	1	1	1	1	1	1	1	1	8
汽船	1	1	1	1	1	1	1	1	9
內燃	1	1	1	1	1	1	1	1	8
合計	166	105	20	24	30	24	25	10	309

▲各國油槽船進水數 (總噸數以上)

國別	英國	獨逸	米蘭	和蘭	伊太利	佛蘭	日本	其他	合計
一九二六年	1,100,430	2,150,000	1,100,000	848,455	2,170,000	2,170,000	2,170,000	2,170,000	12,000,000
一九二七年	3,355,761	6,440,501	3,355,761	2,786,333	3,384,000	3,384,000	3,384,000	3,384,000	20,000,000
一九二八年	5,300,348	8,550,404	5,300,348	4,044,000	5,863,000	5,863,000	5,863,000	5,863,000	30,000,000

▲世界建造中船舶 (帆船ヲ除ク)

汽船	モーター船	
一九二〇年末	6,657,706	1,890,000
一九二一年末	4,054,431	1,300,000
一九二二年末	2,640,572	1,070,000

【造船】

國別	英國	獨逸	佛蘭	日本	和蘭	伊太利	佛蘭	露威	西牙	瑞典
一九二三年末	1,793,579	1,500,884	1,041,191	1,005,334	1,494,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533
一九二四年末	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000
一九二五年末	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000
一九二六年末	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000
一九二七年末	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
一九二八年末	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000
英國ニ於ケル建造中各國注文船	1,793,579	1,500,884	1,041,191	1,005,334	1,494,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533	1,212,533

【造船】

備考

一、本調査は内地に於ける取引價格にして大正七年上半期以降は製鐵所拂下價格に依れり
 二、製鐵所拂下最高價格は大正七年九月に於て鋼板一噸當一、四六一圓大正七年七月に於て型鋼一噸當九四四圓なり
 三、本調査中には鋼板其他特種材料を含まず

大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	同二年
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	上半期	下半期
約	約	約	約	約	約	約	約	約
二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓	二二〇圓

▲本邦主要造船所職工數

(昭和四年八月末現在逓信省調査)

造船所名	職工數	造船所名	職工數
三菱長崎	八、五〇六	淺野造船	一、八二六
三菱神戶	五、〇七三	播磨造船	一、三〇〇
三菱彦崎	七、七二一	向島造船	五、〇三三
川崎造船	二、四五一	函館造船	六、〇八八
横濱船渠	五、二二七	村尾造船	四、〇七
大阪鐵工櫻島	二、五三〇	栢木造船	二、五七
因島	六、九五〇	原田造船	一、五八
築港	四、〇〇四	大原造船	一、四一
笠戸島	三、三三	木津川船渠	一、〇八
彦島	二、五二	相澤造船	三
浦賀船渠	二、五七六	合計	四九、七六四
三井玉工場	二、四二四	造船部職工	一七、〇〇〇
東京石川島	二、三〇〇	造船部職工	一七、四五〇
藤永田工場	一、五五五	其他	一五、二四
船町	三〇三		

▲歐米造船職工勞銀比較表

New York and New Jersey Dry Dock Co. 調

職工常備賃銀 (平均)
 昭和四年上半期 一日 一人 二圓〇三錢

労働時間一週、英四七時間、米四六時間、和蘭五九時半、獨逸五四時間各一週間の給料(弗貨に時價換算)

業種	英國	和蘭	獨逸	米國
鍛冶工	一六、三三	一四、五三	八、一〇	四〇、六
機械工	一六、三三	一三、五三	八、一〇	三〇、五
汽罐工	二〇、四	一四、二八	八、一〇	三〇、五
大型工	一六、三三	一五、二四	八、一〇	三〇、五
木型工	一九、〇四	一八、一九	八、一〇	三〇、五
指物工	一六、三三	一四、二八	八、一〇	三〇、五
電氣工	一六、三三	一五、〇〇	八、一〇	三〇、五
雜役夫	三、六	三、六	六、四八	三三、〇〇

▲世界鐵鋼包藏量

(一九二五年調査)

洲	鐵	鋼
英國	一、三〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇
佛蘭西	三、九〇〇、〇〇〇	一、二七〇、〇〇〇
瑞典	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
挪威	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
奧地利	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
匈牙利	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
西班牙	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
露西亞	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
歐洲	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

▲列強鐵消費額

(百分率單位)

國名	自一九一〇至一九一五	自一九一六至一九二〇	自一九二一至一九二五
北米	一三、二	一五、八	一七、〇
獨逸	一七、五	一六、三	一五、〇
英國	一三、四	一五、九	一四、〇
佛蘭西	一五、一	一四、四	一三、七
白國	六、七	八、八	一〇、五
日本	一、一	三、六	六、五

國名	自一九一〇至一九一五	自一九一六至一九二〇	自一九二一至一九二五
希臘	二七、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一六四、二〇〇
希爾	七、七〇〇	二、三〇〇	一、九六、〇〇〇
北米	四、五七、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	八、五八、〇〇〇
歐洲	三、三三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇
亞細亞	一、九三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇
非洲	一、三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇
澳洲	一、三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇
南美洲	一、三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇
其他	一、三、〇〇〇	一、九六、〇〇〇	七、三、〇〇〇

保 險

【造 船】

備考 本邦鉄鐵消費高は輸入鋼鐵を八〇と一〇〇との割合を以て鉄鐵に換算し之を産出鉄鐵に加へて其總量を全消費高と假定して推算したるものなり

▲英米獨佛鋼生産高

年	英國	米國	獨逸	佛國
一九〇〇年	四、九〇一	一〇、一八八	六、六四六	一、五五五
一九〇五	五、八二二	二〇、〇三四	一〇、〇六七	二、二四〇
一九一〇	六、三七四	二六、〇九五	一三、六九九	三、三九〇
一九一五	六、四六二	三三、六七六	一五、〇一九	三、六八一
一九二〇	六、七九六	三三、二五一	一七、三〇二	四、四四八
一九二五	七、八八三	三三、三〇一	一七、三四八	四、六二〇
一九三〇	七、八八五	三三、五三三	一四、九七三	四、六二〇
一九三五	八、五五〇	三三、一五一	一三、二五八	一、九五三
一九四〇	九、一九六	四三、七七四	一六、一八三	二、三三二
一九四五	九、八〇四	四三、〇六一	一六、五八七	二、三三二
一九五〇	九、五九一	四四、四六二	一四、八七四	一、九二二
一九五五	九、八九四	三三、六七二	一六、七三三	二、一四八
一九六〇	九、〇五六	四三、一三三	一七、七二〇	三、〇〇二
一九六五	三、六四四	一九、七八三	七、七五〇	二、九二三
一九七〇	五、八三二	三三、六〇二	九、一四四	四、四七一
一九七五	八、四八一	四四、九四三	六、二〇六	五、〇三六
一九八〇	八、二〇一	三三、九三二	八、六三七	六、九〇〇
一九八五	七、三九七	四三、三九三	二二、一五六	七、二八九
一九九〇	三、五六〇	四八、二九三	二二、一五〇	八、二五五

▲本邦鋼材需給趨勢 (單位千噸)

年次	内地 産出額	輸入 額	合計	輸出 額	差引 需要額
明治四十年	九	四六四	五五四	二	五五二
四十一年	九	四三九	五三九	二	五三七
四十二年	一〇三	二八〇	三八三	五	三六八
四十三年	一六七	三六六	五三三	七	五六六
四十四年	一九二	四八八	六八〇	五	六六四
大正元年	二二九	六四〇	八六〇	七	八三三
二年	二五四	五四三	七九八	七	七五五
三年	二八三	四〇八	六九〇	七	六五一
四年	三三三	二四三	五七六	三	五五〇
五年	三六四	四五四	八二八	三	七五五
六年	五三九	六七五	一一一五	五	一一三四
七年	五三九	六五〇	一一八九	六	一一二八
八年	五五三	七四〇	一二九三	一〇	一二七九
九年	五三七	一、〇三九	一、五七六	七	一、四七九
十年	五六一	六四六	一一一七	八	一一二三
十一年	五五九	一、〇〇〇	一、五五九	八	一、八七七
十二年	六八二	七九二	一、四七四	九	一、八八三
十三年	六〇一	一、〇〇一	一、六〇二	一〇	一、八三三
十四年	六七三	一、二二一	一、八九四	一〇	一、九七六
昭和元年	一、〇八四	八九二	一、九七六	一〇	一、九七六

索引

海上保險契約趨勢……………	二八三
海上保險會社成績……………	二八三
世界主要海上保險成績……………	二八五
世界海難喪失船統計……………	二八六
本邦喪失船舶……………	二八八
本邦遭難船及遭難者……………	二八八
本邦汽船遭難明細……………	二八九

保 險

▲海上保險契約趨勢

年次	件數	金額	收入保險料	(新契約)	
				年次	金額
大正五年	一、六八四、五八二	三、七三三、八三五	一七、四六三、八九一	同	二、七二七、一三三
同六年	二、〇六四、九六三	六、五二一、二四一	三二、二六、五二二	同	二、三九三、〇三九
同七年	二、一四五、五四一	六、五四五、四一	三三、九九三、三六〇	同	二、七三三、〇〇〇
同八年	二、八四六、三九八	八、五五七、二九〇	三三、二六一、五三七	同	二、九四六、七九一
同九年	二、八四六、三九八	八、五五七、二九〇	三三、二六一、五三七	昭和元年	三、一三三、七六三
同十年	二、五五四、一九	九、七五〇、一八三	三五、六五、六三三	同二年	三、四三三、三三七

▲昭和二年度海上保險成績

(單位千圓)

會社別	新契約		期末現在契約高		保險料收支		事業費
	件數	金額	件數	金額	收入	支出	
東京海上	七〇九、五九五	二、五七、六三三	七、八七一	三二、二六三	七、五八八	四、四八一	一、七五七
東京火災	五五、九六七	六六、五四七	七、四六三	一一、四八七	二〇五	二四三	六四
日本火災	四五、四五	一〇二、四八	三、九六	九、〇七八	三〇一	三四九	一七
帝國海上	一六一、九七	三五八、六九九	三、二四二	八二、〇四八	二、一九八	一、六六八	五六三
大阪海上	二五六、五五七	二九〇、一三五	一四、六〇〇	三五、九七一	一、〇七七	九四五	四〇四
日本海上	六三二、四三八	五四〇、八二四	二八、一七〇	二七、六八〇	一、三九四	六三〇	五八五

【保 險】

富 國 濱 海 上	四、〇三三	一三、七四四	二九	七七七	四六	二六六
横 濱 火 災 上	一六九、八二四	二二、三三九	一八、一五五	三六、六四七	九三三	二八〇
共 同 火 災 上	一九八、二二三	二二、四三三	二、八二四	二、七四三	五八三	一八〇
神 戶 火 災 上	一七九、九〇一	一四二、三三三	五、四三三	六〇、六〇三	四九九	二二八
東 洋 火 災 上	二九、五五三	一一九、八八八	一三、三六二	三、八九二	五二六	二九
東 倉 火 災 上	二〇、三六六	一六四、四四六	四、一四三	六、〇三四	五五五	一六九
中 央 火 災 上	一四、二七一	三三、〇四八	八九一	二、五八九	一七五	一九
大 火 災 上	三、八七四	三、四、五九二	二、〇三三	二、三八九	一七七	一九九
豐 火 災 上	一五、三八七	三三、六三九	一、四九九	四、六六六	一八一	一五〇
帝 國 火 災 上	三、三五四	四六、九〇〇	三、〇四八	三、五〇二	一五九	一七一
千 代 田 火 災 上	一七六、二八七	三五七、七九六	二二、二七二	四八、一四八	一、六八三	一、三九五
第 一 火 災 上	一七八	三〇九	一一八	二八九	二	三八
扶 桑 火 災 上	四、三三七	二五、六一	五、二〇九	二、六五	九九	一三三
日 東 火 災 上	四六、五七九	一〇二、四七九	六、五〇三	一四、八七三	二四二	二三四
中 外 火 災 上	七〇、六〇三	五五、三九九	一三、一四九	九、五七三	二二九	一三四
大 東 火 災 上	一四九、五〇〇	二八七、三〇八	七、二七一	二七、五四四	一、三六四	八二五
朝 正 火 災 上	一五、三〇四	三三、四八一	九八〇	三、三四二	一七	二
大 和 火 災 上	一三、〇八二	四二九、六〇二	三、一四五	一一六、七五六	一、六五一	一八八
平 和 火 災 上	一七、六八七	四七、二八五	六、八〇七	一〇、〇九九	二〇三	八九九
大 福 火 災 上	三六、七七七	三二、七七九	三、六六〇	二、八八七	九六	二二八
三 菱 火 災 上						二八
大 洋 火 災 上						二八
太 平 洋 火 災 上						二八

▲世界主要海上保險成績

大 北 海 上	一三、五八八	四三、二二二	一、四七八	三、五七八	一四六	一三三
大 馬 海 上	六六、〇三三	一四〇、〇九〇	二、五五八	三〇、五八一	九七八	七九
大 日 本 海 上	二二、三五九	二四、八〇三	四	一〇〇	五	四
神 國 海 上	九	三五	八	三〇	一	七
合 計	三、四五三、三〇七	六、五七〇、四八九	四、八四一、七	九七三、四三七	三、八五三	一七、二二

【保 險】

會 社 名	一九二七年	一九二六年	損 失 填 補 額	一九二七年	一九二六年
ア ラ イ ア ン ス (倫 敦)	四六三、六八〇	三三七、三三三	二五七、六六〇	一八八、八九四	一〇三、一七三
ア ラ イ ア ン ス (費 府)	二八〇、四八九	二四、一七七	一九三、六〇八	三、二七四	二九、七九六
セ ン チ ユ リ (エ デ イ ン バ ラ)	六、〇八六	五、七〇三	三、二七四	一、四二二	三九〇
コ ン コ ル ギ ャ イ ア (ミ ル ウ ォ ー キ ー)	三、八三三	六〇八、六一四	五、四三、三四四	四三三、〇一六	
フ ェ イ ヤ ー マ ン プ フ ァ ン ド	三、二六、二四四	三、一六二、七六四	二、五七五、五四四	二、六五四、八六六	
フ ェ イ ヤ ー マ ン プ フ ァ ン ド (東 京)	二、七、七四七	九、九二七	一、三、六六三	六三、九八四	
扶 桑 火 災 及 海 上	三、八、二二三	一、七五、〇八〇	二、二五二	八、九、七七九	
シ ラ ア ド 火 災 及 海 上	一、六五、六二二	五、四二、四〇二	六、八、八四八	四、九、六六九	
ホ ー ム 火 災 及 海 上	三、七五、〇八一	四、〇一、八四〇	二、〇九、五二九	一、九〇、三三九	
ハ ー ト フ ォ ー ド 火 災 及 海 上	四、五五、七九二	二、四一、〇三三	一、七四、二九六	一、四八、九八五	
北 米 保 險 會 社	二、七、五〇八	二、四六、七三五	四七、二九五	四、五、八六四	
イ ン デ ム ニ チ ー ・ マ ッ ト	二、三、六九二	九一、三七七	四七、二九五	四、五、八六四	
リ バ プ ル ・ ロ ン ド ン ・ ガ ラ ス ゴ ー	八三三、二四六	七〇四、四七三	四一八、八七四	一八五、四九二	

【保 險】

倫敦、蘇格蘭	三〇〇、七九	二六九、六九一	一九三、〇四一
マニラ、イロイロ、メカニックス	八六四、五七九	六八四、四三三	二八二、二四二
メカニックス (費府)	一九六、七九	一六三、三七〇	一八、〇三〇
ナシヨナル	三九三、三八一	六、八二四	一一、五二七
ノイザン (倫敦)	四九、三三〇	四八三、二五七	三五二、八六五
ニウワラ	六四、八八六	五六、四二八	八五、一五二
ナシヨナル・ペンフランクリン	三九、三三三	四八、八六四	二五、四二九
ナシヨナル火災 (ハアトフオード)	三六、一九五	二九七、六九七	二七三、三六八
ナシヨナル・セキユリチー (オマハ)	八九、一〇九	五〇、四三九	二〇、七四
ナシヨナル、ユニオン、ビツツバー	一七、六六六	一五五、四九四	八六、六五七
費府火災及海上	一八九、六六〇	一一、二三五	三〇、六四九
ローヤル・エキスチエン	一一五、二〇二	一〇五、四三九	三〇、六四九
海上 (リバプルー)	九三〇、八七五	七八四、七二八	三三、三三〇
セキユリチー (ニユウヘブ)	一五四、六九五	一六一、五四二	一一、〇三一
スプリング・フイエルド	一四六、九六〇	一一七、八六七	一六、九一九
シユバリオル火災 (ビツツバー)	三八、三三三	四〇四、六七六	二九二、三三八
東京海上火災	四八三、九八〇	二七六、二四	三六三、〇五〇
ユニオン・オブ・カントン	八〇三、三五五	五四四、四四三	二七六、二四

▲世界海難喪失船統計

(ロイド調總噸百噸以上)

年次	海難喪失船隻數	噸數	世界船舶對百分率	汽船隻數	噸數	帆船隻數	噸數	海難に依らざる喪失船を含む合計	噸數
一九一九年	四二五	五二四、三四	一・三	四二五	五二四、一七二	二四一	一一、六五八	二二、六五八	一一、六五八
一九一〇年	三五七	五〇、七九四	〇・九	三五七	五〇、七九四	二二五	二八、九五九	二二、六五八	二八、九五九
一九一一年	三三〇	四八、九二二	〇・八	三三〇	四八、九二二	二二五	一三七、七〇〇	二二、六五八	一三七、七〇〇
一九一二年	三五二	四八、七五六	〇・七	三五二	四八、七五六	二〇五	一四三、九四六	二二、六五八	一四三、九四六
一九一三年	三三四	四九、三六四	〇・八	三三四	四九、三六四	二五九	二五九、九〇九	二二、六五八	二五九、九〇九
一九一四年	二九三	四〇、〇四四	〇・七	二九三	四〇、〇四四	二二九	二四三、〇一七	二二、六五八	二四三、〇一七
一九一五年	二八〇	三七、四八	〇・五	二八〇	三七、四八	一八六	一六二、二四一	二二、六五八	一六二、二四一
一九一六年	二九八	四八、二四〇	〇・七	二九八	四八、二四〇	一八二	一七〇、〇七〇	二二、六五八	一七〇、〇七〇
一九一七年	二八〇	四九、七七〇	〇・七	二八〇	四九、七七〇	一五四	一三九、〇七	二二、六五八	一三九、〇七
一九一八年	二八八	四八、六九	〇・七	二八八	四八、六九	一三二	九四、四七一	二二、六五八	九四、四七一

【保 險】

國別	委付噸數	浸水沈没噸數	消息不明噸數	火災噸數	衝突噸數	難破噸數	合計噸數	所有船對%
英國	三六四	八二、九〇	二七、六一九	二一、三三	八三、二七二	四五、八六、三〇七	一七、二九、七四	〇・六一
同屬領	九、九八一	五九	三、三六九七	二	二九、五〇六	一一、九〇八二	二七、二八、九	〇・八五
米合衆國	一	五〇、六六八	一、五、六七四	二	二、六、一〇八	五、一四、九四四	一五、四六、八九〇	〇・四二
丁蘭	一	一	一	一	一	一	一	〇・二五
佛蘭	一	一	一	一	一	一	一	〇・二五
獨逸	二、三、三〇〇	五、三、四六九	二、四、五	一、二、七、八、三、七	四、一、一、五、七	九、五、六、四、六	三、一、三、九、三、五	〇・三七

船名	重量噸數	遭難月日	船主
三船	一、八八〇	七、二二	三井船舶部
淀天	三、四〇〇	七、二二	朝日商會
北野	總七、九五三	八、二二	日本郵船
あるとい	二、一九一	九、	大阪商船
馬來	七、一〇〇	九、四	南洋鑛業
沙首	五、一〇九	九、四	商工省
寶山	八、八三三	九、五	三井船舶部
五真	四、四六〇	一、一五	原商部
愛山	六、六〇〇	一、一八	三井船舶部
三眞	二、〇〇〇	一、二八	原商部
慶津	六、七二六	一、二九	三上株式
三眞	五、一五〇	一、二九	乾合名
辨加	八、三〇一	一、三〇	日本郵船
美代	三、四一〇	一、三〇	神港汽船
君代	總六、六九	一、三〇	白石汽船
英正	一、六〇〇	一、三〇	尼崎汽船
船運	總三、六七	一、三〇	白石汽船
どげあ	四、九八三	一、三〇	國際汽船
以智	一、三五〇	一、三〇	北日本汽船
神智	二、六五〇	二、三	森平汽船
中神	四、八七五	二、三	近海郵船

船名	重量噸數	遭難月日	船主
光江	四、一〇〇	二、六	村尾汽船
松美	一〇、三〇〇	二、六	日本郵船
多洋	二、三五〇	二、七	小倉石油
光寶	一〇、三〇〇	二、七	函館海運
壽洋	三〇〇	二、七	入交商店
石通	八、九〇	二、七	岡田汽船
大通	一、九三〇	三、一	内田汽船
有明	四、二〇〇	三、一	馬場合資
泰山	九、三三〇	三、一	大阪商船
龍山	九、三三〇	三、一	龍王商船
かなだ	總五、七六〇	三、一	大阪商船
さいへりあ	總一、七九〇	三、一	日本郵船
永保	一、〇九五	四、五	酒井汽船
須磨	三、一五〇	四、五	東和汽船
天安	三、五八〇	四、八	朝鮮郵船
清津	總一、八三〇	五、一	同
唐山	二、九六五	五、一	同
宮古	總九、七三	五、九	大阪商船
宮和島	總八、八六	五、九	字和島運輸
十八和島	總六、九三	五、三	同
十二和島	總五、二五九	五、三	同
上和海	四、九五四	五、三	日本郵船
夕顏	七、九三三	五、三	國際汽船
白海	三、四三〇	六、三	北支那汽船
日吉	三、四三〇	六、三	吾妻汽船

船名	重量噸數	遭難月日	船主
二大	一、〇〇五	九、四	藤田慎三
白鳳	七、八七〇	九、五	辰馬汽船
太陽	五、五〇〇	九、六	上野汽船
しづみ	二、〇〇〇	一〇、二〇	岡崎汽船
丹後	總六、八九三	一〇、二〇	日本郵船
沙河	九、〇〇〇	一〇、二〇	沙河汽船
薩摩	六、〇九〇	一〇、二〇	宇都宮回漕
三崎	一、七九〇	一〇、二〇	濱口汽船
藏山	三、九六〇	一〇、二〇	佐藤商店
悠紀	五、一〇〇	一〇、二〇	辰馬汽船
福幸	三、五六一	一〇、二〇	楠本汽船
鹿島	三、五六一	一〇、二〇	樺太汽船
五島	三、七〇〇	一〇、二〇	靑島商船
五福	三、八七八	一〇、二〇	山科禮藏
豐原	一、二四七	一〇、二〇	北日本汽船
祝原	八〇〇	一〇、二〇	川崎汽船
京原	五、二二	一〇、二〇	吾妻汽船
神吉	一、二八七	一〇、二〇	北日本汽船
七田	一、四三五	一〇、二〇	阿部商會
朝熊	一、九九五	一〇、二〇	原田汽船
大慶	三、五二六	一〇、二〇	攝津商船
朝熊	四、八〇〇	一〇、二〇	荻布商船
明洋	八、六八一	一〇、二〇	東洋汽船
萬國	九、三七〇	一〇、二〇	大洋海運

船名	重量噸數	遭難月日	船主
福勢	一、八三六	三、一〇	明治海運
永福	九、〇六七	三、一〇	國際汽船
日海	二、二〇〇	四、二	岡崎汽船
浦安	三、六〇〇	四、二	神戶汽船
一三和島	總四、七三	四、八	字和島運輸
桂鳥	八、四〇〇	四、八	桂島汽船
大白龍	總三、三八	四、五	攝陽商船
大龍	七、二〇〇	四、五	內外汽船
大龍	四、一五〇	四、六	白坂汽船
五大洋	三、七〇〇	四、三	近海商船
景山	總三、三九	五、三	靑島商船
三大星	三、五〇〇	五、四	橋谷株式
廣東	總一、二四五	五、四	大阪商船
六多聞	四、六五〇	五、六	八馬商船
十八多聞	七、三〇〇	五、七	同
御影	三、七五〇	五、七	武庫汽船
五眞盛	四、四六〇	五、一八	同
大武	八、七二六	五、三	町田商會
西賞	七、一四〇	五、三	島谷汽船
富山	一、三七五	六、一	大坂商船
ばいかる	總五、二四二	六、一	增田久五郎
伏見	一、五五〇	六、一	鹿兒島郵船
順吉	一、六〇〇	六、一	楠本汽船
福幸	三、五六一	六、一	同

燃 料

船名	重量噸數	遭難月日	船主
船名	重量噸數	遭難月日	船主
明海	六、九二	九、三	笠原商船
遠海	七、四〇〇	九、二六	山本汽船
香海	總六、〇二五	一、二七	大阪商船
眞岡	一、八五〇	二、一	北日本汽船
嘉義	總三、三六六	三、四	大阪商船
千壽	三、七五〇	三、二六	大阪商船
大新	二、六〇〇	三、八	辰馬商船
白羽	九、六〇〇	四、七	同
陽新	一〇、六三三	五、三	日本共同汽船
相模	二、五八一	六、四	近海郵船
南都	一、三〇〇	六、六	田中國太郎
船名	重量噸數	遭難月日	船主
船名	重量噸數	遭難月日	船主
神盛	六、八〇〇	八、三	岸本汽船
春日	一、六〇〇	九、三	松隆汽船
福榮	一、八五〇	一〇、九	栗林商船
大山	六、一七三	一〇、九	大連汽船
喜代	一、九九九	一〇、四	北日本汽船

△其他の遭難

【保 險】
△火 災

船名	重量噸數	遭難月日	船主
龍田	總 四〇八	一〇、一〇	大阪商船
朝洋	八、八一	一〇、二〇	東洋汽船
朝日	總九、三三六	一一、三	近海郵船
光文	六、九〇八	一一、九	大藏省
六室	四、一七六	一一、三	栗林商船
鹿島	三、五八三	一一、三	樺太汽船
倫敦	總七、一九〇	一一、六	大阪商船
三原	總 六九七	一一、二	同
海天	四、一八六	一一、一	辰馬汽船
壹岐	一、三〇六	一一、九	辰馬汽船
嘉義	總一、七三二	一一、三	同
染殿	總三、三六六	一一、一	鐵道省
榮武	八、四三三	一一、二	大阪商船
大取	七、五	一一、二	辰馬汽船
惠美	八、七六	一一、二	野村清
豐彦	五、四三三	一一、二	野村清
浮橋	八、二四	一一、二	野村清
千成	總 三六八	一一、二	豐太汽船
鳳山	二、〇四八	一一、二	豐太汽船
比叡	四、二五〇	一一、二	千歲汽船
	六、六二四	一一、二	英和商會
			國際汽船

索引

世界石炭埋藏量……………	二九三
世界石炭産額……………	二九三
本邦炭界趨勢……………	二九四
筑豊炭成績……………	二九六
世界燃料炭標準價……………	二九八
昭和二年度炭價……………	二九八
世界石油産額……………	二九九
世界重油供給港……………	三〇〇

燃料

▲世界石炭埋藏量

我國の石炭埋藏量は世界中第十一位にある第一位が北米合衆國で二位が加奈陀それから支那、獨逸、英吉利、西伯利亞、濠洲、印度、露西亞、埃匈國佛領印度の順位で其次が日本である各埋藏量に就いて見れば我國は實に格違ひの貧弱國である最近の調査（エクス、パーク）著歐洲大戰と經濟的經論）に依れば左の如し

米國地理學會調査

國名	埋藏量
獨逸	一四八、二四八、〇〇〇
英國	一六五、三八七、〇〇〇
露西亞	一、九八八、〇〇〇
埃匈國	九九八、〇〇〇
佛國	一八、五七七、〇〇〇
白耳義國	一一、〇〇〇、〇〇〇
西班牙	八、七五〇、〇〇〇
西牙威	五、五三七、〇〇〇

▲世界の石炭産額（一九二七年）（單位千噸）

國名	産出額	輸入額	輸出額
和蘭	四、四〇二、〇〇〇	九、九六〇、〇〇〇	三、八三三
バルカン諸邦	九、九六〇、〇〇〇	二、四三〇、〇〇〇	三、八三三
伊太利	二、四三〇、〇〇〇	三、八三三、〇〇〇	三、八三三
米國	三、八三三、〇〇〇	一、二三四、二六九、〇〇〇	一、二三四、二六九、〇〇〇
カナダ	一、二三四、二六九、〇〇〇	九、九、五八七、〇〇〇	九、九、五八七、〇〇〇
支那	九、九、五八七、〇〇〇	一、七三、八七九、〇〇〇	一、七三、八七九、〇〇〇
シベリヤ	一、七三、八七九、〇〇〇	七、九〇〇、〇〇〇	七、九〇〇、〇〇〇
印度	七、九〇〇、〇〇〇	一、二〇八、〇〇〇	一、二〇八、〇〇〇
日本	一、二〇八、〇〇〇	八、一〇〇、〇〇〇	八、一〇〇、〇〇〇
滿洲	八、一〇〇、〇〇〇	五、七、八三九、〇〇〇	五、七、八三九、〇〇〇
朝鮮	五、七、八三九、〇〇〇	三、二、一〇二、〇〇〇	三、二、一〇二、〇〇〇
アフリカ諸州	三、二、一〇二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇
南米中米諸國	一、六五、五七二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇
濠洲	一、六五、五七二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇	一、六五、五七二、〇〇〇
國名	産出額	輸入額	輸出額
濠洲	一、五、五五〇	九、九五五	七、一九四
白耳義國	二、七、五三三	七、四	八、八一
英領印度	三、二、八一	七、四	八、八一
日領本	三、三、七〇〇	七、四	八、八一
南阿弗利加	一、三、八四〇	七、四	八、八一
加奈陀	一、五、八九四	七、四	八、八一
佛蘭西	五、四、四九	七、四	八、八一

【燃料】

獨逸	三〇、三三〇	二、三三七	四三、六一
波蘭	四〇、五九九		
露西亞	三三、一〇二	六、六〇	二〇三
チエツクスロバキヤ	三五、八八〇		
英吉利	二四、五九〇	二〇九	八五、八四三
合衆國	五二、六三九		四、一六五
其他	三、九六〇		
總計	一、四四、〇〇〇		

(註) 輸出入額ハ一九二四年度ナリ
次に世界産炭額の過去十ヶ年趨勢は左の通りである

(單位百萬噸)

一九一八年	一、三三三	一九二三年	一、三六〇
一九一九年	一、二七三	一九二四年	一、三五七
一九二〇年	一、三三〇	一九二五年	一、三三三
一九二一年	一、二五五	一九二六年	一、三六三
一九二二年	一、三三六	一九二七年	一、四四四

(備考) 右は露國 巴爾幹諸國等二三を除く外各國政府の發表を基礎としたものなれば比較的眞に近い計數と考へられる
更に一千九百廿六、七年の産額と千九百十三年との比較左の如し

(單位千噸)

△歐洲

【燃料】

獨逸	一九三三年	一九三六年	一九三七年
英吉利	三三、三〇〇	三五、八五〇	三五〇、三三〇
佛國	二九、〇〇〇	二八、三〇五	二四、五九〇
白蘭地	四〇、〇〇〇	五三、四六三	五三、四九二
露國	三五、九〇〇	二六、四三六	三三、一〇二
チエツクスロバキヤ	一四、五〇〇	三三、三〇六	三五、八八〇
ロヅアキヤ			

△亞米利加

合衆國	五二、〇〇〇	五九、七四七	五二、六六九
加奈陀	一五、二〇〇	一四、九四八	一五、八九四

△亞細亞

日本	二二、四〇〇	二九、二五五	三三、七〇〇
支那	一六、五〇〇	二〇、四一五	二二、八七一
印度		二〇、〇〇〇	二〇、五〇〇

△阿弗利加

南阿聯邦		二、九四九	一三、八四〇
------	--	-------	--------

△濠洲

新南ウエルス・新西蘭		一四、四六一	一五、五五〇
------------	--	--------	--------

▲本邦炭界趨勢

△全國産炭額 (單位千噸)

十一月	二、三〇七	二、四三三	二、五〇〇	二、五九一
十二月	二、三三三	二、五一一	二、五九二	二、六八三
昭和三年	二、四五一	二、三三七	二、六四四	二、七三三

昭和三年中輸出入國別數量を示せば左の如し

支那	一、四三九、三三六	關東州	一、七三二、二〇三
海峽殖民地	一、四二、二七三	支那	五三八、一五七
露領亞細亞	一、三三三	佛領印度	三五五、一八六
英領印度	一、〇〇〇	露領亞細亞	九七、〇六八
香港	三〇七、七三三	英領印度	六、三四〇
比律賓	一六、八五五	蘭領印度	一五、四五〇
佛領印度	三三、五五〇	其他	一、四三七
關領印度	三三、五〇〇		
關東州	五三〇		
布哇	一六、三三三		
暹羅	一、七〇〇		
其他	一三、三四〇		
合計	二、二五〇、四三三	合計	二、七四、八三一

次に昨年中の需給趨勢を示せば左の如し

年次	全國産額	輸入	輸出
大正八年	三、二七一	六〇九	二、〇〇〇
同九年	三、九二五	六九七	二、二九
同十年	二六、三〇〇	七七七	二、三六七
同十一年	二七、七〇〇	一、四六八	一、六九〇
同十二年	二六、九四八	一、六五一	一、五七四
同十三年	三〇、一〇〇	一、九七七	一、七一一
同十四年	三、四四九	一、九五九	二、五八九
昭和元年	三、四四六	二、〇〇八	二、六七六
同二年	三、五三〇	二、六〇〇	二、一七三
同三年	三、五三〇	二、七三四	二、一五〇

【燃料】

【燃料】

一月	二、一九八	二、三三三	一、六八三
二月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
三月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
四月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
五月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
六月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
七月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
八月	二、三三三	二、三三三	一、六八三
九月	二、三三三	二、三三三	一、六八三

【燃料】

年	内國船用	外國船用	鐵道用	内國移送
大正三年	三,九四三	一,一九二	一,九一五	九,〇六九
同四年	四,五九五	八〇九	一,九一五	八,九五六
同五年	三,三八〇	九三三	一,九九三	一一,二六七
同六年	四,四七九	八三三	二,三九九	一三,〇〇五
同七年	四,七七五	四九九	二,九四〇	一四,八〇九
同八年	五,一六七	六七六	三,二七三	一五,六八三
同九年	六,〇一五	九五五	三,二二九	一五,四七三
同十年	五,四二二	七六六	二,八八六	一五,五八九
同十五年	三,七二六	八三三	一,七三二	一五,一九九
昭和二年	三,七六九	六七九	一,六五三	一五,七五一

▲筑豊炭成績

昭和三年度筑豊炭需給左の如し

月別	昭和一元年	昭和二年	昭和三年
一月	九七四、四六五	一、〇七、八五六	九七六、〇〇一
二月	九〇〇、六五八	九三八、二二〇	一、〇二四、九〇六
三月	一、〇八七、五〇二	一、一四五、六八九	一、一三二、九六八
四月	一、〇三五、三三六	八七六、八五六	九八八、〇三五
五月	一、〇三六、六八九	一、〇五、〇六九	一、〇〇五、八一七

△出炭月別

海外輸出炭の重なる仕向地は左の如し

仕向地	昭和一元年	昭和二年	昭和三年
上海	五八九、三三三	四三二、一三〇	三六〇、四九一
香港	四三、〇四三	七六、四六六	七四、〇三五
廣東	八〇、一六八	二五、六〇四	五、五〇五
漢口	四〇〇、四二二	三六、二八六	四七、九八三
九州及鐵道	三、〇三六、〇〇〇		二、三五七、六六六
内地積出炭の重要港は左の如し			

計	内	外	需要別
六月	九七〇、七七三	一、〇二四、〇三二	九五二、五三三
七月	九四三、六八五	九四二、三六一	九一〇、三九三
八月	八〇〇、七七五	八四七、〇七三	八一四、八三〇
九月	八八六、六七九	九三二、五四五	八六七、八六五
十月	九七四、三五五	一、〇一四、二三八	九八〇、六六三
十一月	一、〇〇三、四三九	一、〇六七、四八八	九三三、四四五
十二月	一、〇七八、九九〇	一、一三〇、八二四	一、〇四三、四八五
計	二、七三二、四六六	二、〇五五、一八〇	二、一六三、〇五五

【燃料】

仕向地	昭和一元年	昭和二年	昭和三年
大阪	一、六四九、三八六	一、七二三、五三三	一、五八八、二一一
神戸	四七八、一八四	四〇四、三七九	三七〇、七六七
横濱	四七六、八六六	五七八、三三〇	四六五、二四二
東京	一四八、八三二	一〇一、六五四	一一一、一三三
朝鮮各港	二一〇、一〇三	二三四、七七七	三三六、〇八五
飾磨	一一、四三八	一三〇、七七〇	二八、三六五
和歌山	一三〇、七八〇	五〇七、三六六	五〇八、五八九
名古屋	九四、五四一	八二、〇五二	九二、三六七
岡山	一〇〇、〇五七	一一二、二八一	一一二、二六一
下關	九二、八四九	八七、九六六	七、八〇六
字品			

△若門貯炭趨勢

別	昭和一元年	昭和二年	昭和三年
一月	四五一、四一五	一三三、三一九	二三〇、六四二
二月	三九四、六九五	八九、六〇九	二五七、一八一
三月	三八三、二二五	九九、五七二	二九九、九二四
四月	三九二、四六五	九四、一七〇	三二六、五一三
五月	三九六、四八七	九七、八九九	三四〇、〇五一
六月	二四八、九九九	一三七、三七一	三八三、〇六六
七月	三三四、九三五	一五九、七五八	四五六、五四八
八月	三〇一、六八九	一六、五二四	四七七、六九八
九月	二六八、六〇八	一六、八九三	四四六、三〇二
十月	二二九、〇二七	二〇、二六〇	四〇三、二四九

△汽船運炭貨 (若松港昭和三年)

仕向地	十一月末	十二月末
横濱	一六四、三七七	一六二、一七九
伊勢灣	一五三、五九一	一六〇、〇三六
上海	一六四、一七九	三三九、五七一
香港	一五三、五九一	三三六、二二三

△帆船運炭貨

仕向地	十一月末	十二月末
大阪	二四九、〇	二四九、〇
岡山	二四九、〇	二四九、〇
廣島	二四九、〇	二四九、〇
佐賀關	二四九、〇	二四九、〇

【燃料】

サラワツク	四、五〇〇	四、九四三	五、〇〇〇
日本	二、〇〇〇	一、九〇〇	一、七〇〇
埃及	一、三〇〇	一、八八八	一、二七〇
獨逸	四〇〇	六五五	七〇〇
佛國	四四五	四七六	五五五
加奈陀	一六〇	三六四	五〇〇
エクアドル	—	一四四	四〇〇
其他	一、三三三	三三三	二〇〇〇
合計	一、〇六六、三三〇	一、〇八八、八五〇	一、二五四、一四五

▲世界重油供給港

世界産炭額の減少に伴れて船舶の燃料は之れを石炭に俟たずして重油を以て充當するに至り重油船使用は之れ列國の海運競争上最も有利なるべしと主張され居るも而も世界の重油産地及び之れが供給港に就いて見るに日本は殆んど問題以外にて洵に寒心すべき状態なり左に世界の供給港中重要なるものを示さん

△加奈陀太平洋岸地方

供給港	供給能力	供給港	供給能力
ハリファツクス	三三〇、〇〇〇	モントリール	一一〇、〇〇〇
△加奈陀太平洋岸地方			
プリンスルパート	二〇〇、〇〇〇	ペラクルス	一八〇、〇〇〇
パンクバ	四四五、〇〇〇	タククスパン	五五、〇〇〇
ビクトリア	二〇、〇〇〇		
△西印度地方			
サイエンフューゴ	二〇、〇〇〇	マタンガス(同)	二六五、〇〇〇
ハバナ(玖馬)	二五、〇〇〇	ボンス(ボートリス)	四〇、〇〇〇
△布哇地方			
ホル	一四七、〇〇〇		
△墨西哥灣地方			
ピエト・メキシコ	五、〇五五、〇〇〇	セント・トーマス	一〇〇、〇〇〇
△東カリビアン地方			
ウイラムタツド	七〇、〇〇〇	ゴイ	一、〇〇〇
スパーイン港	二五〇、〇〇〇		

【燃料】

△西カリビアン地方	バルバオ	一、一〇〇、〇〇〇	クリストバル	一、一〇〇、〇〇〇
△アマゾン及東伯刺西爾地方				
パ	ラ	一四〇、〇〇〇	リオ・デ・シヤネ	一六〇、〇〇〇
パ	ヒ	三七〇、〇〇〇	サントス	一一〇、〇〇〇
△リザアプレート地方				
モンテビデオ	四八、〇〇〇	パヒアアラシカ	一〇〇、〇〇〇	
ヴェノスアイレス	二五〇、〇〇〇			
△秘露地方				
カラ	オ	二八、〇〇〇		
△中央及北部智利地方				
アントファガスタ	一六五、〇〇〇	シユニ	三〇、〇〇〇	
アリカ	二〇、〇〇〇	ビザギニ	三三、〇〇〇	
イクイケ	九九、〇〇〇	タルタル	四三、〇〇〇	
△スカンデナヴィヤ地方				

バ	ゲ	ン	四、〇〇〇	コツテホルグ	四、〇〇〇
クリスチケニア	八、〇〇〇	ストツクホルム	二四、〇〇〇		
スタパンゲル	六、〇〇〇				
△和蘭地方					
ロツターダム	二、〇〇〇				
△英國地方					
アバーデン	二、七〇〇	サルテンド	六、五〇〇		
アボンマウス	四八、五〇〇	フォルボーライン	二、〇〇〇		
パ	ロ	一	五、〇〇〇	インバーゴード	二、三、五〇〇
パ	ー	ト	七〇、〇〇〇	キリンホルム	二七、〇〇〇
デボンポート	三、六〇〇	ロンドン	二五、六〇〇		
ド	バ	一	二、八〇〇	ボーツマウス	三三、〇〇〇
フォルクストン	四〇〇	ボートラント	七五、四〇〇		
گرانジマウス	七、〇〇〇	ペンブローク	二、六〇〇		
キングジョーシ	三、八〇〇	ロ	二、〇〇〇		
ドツタ	三、八〇〇	イ	二、〇〇〇		
アレキサンドラ	三、八〇〇	サウスシエルド	二、八〇〇		

引 索

本邦關係會社成績……………	三〇三
汽船會社……………	三〇三
造船會社……………	三〇三
保險會社……………	三〇四
關係會社株價……………	三〇五
本邦汽船會社累年營業成績……………	三〇五
外國汽船會社成績……………	三〇六
米國船舶院……………	三〇六
主要汽船會社……………	三〇七
新設會社……………	三〇八

事業成績

本邦關係會社成績

(昭和三年成績)

△汽 船 會 社

	資本金	拂込額	社債及借入	諸積立	利益金	内積立金	配當率	所有噸數	船價
日本郵船	千圓 一〇六、三五〇	千圓 六、三五〇	千圓 七、八〇〇	千圓 四三、八八三	圓 三、三三〇、二二一	圓 一六〇、〇〇〇	〇、八	噸 〇	圓 一七〇
大阪商船	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
國際汽船	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
日清汽船	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
北日本汽船	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
神戸棧橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
明治海運	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	噸 〇	圓 一七〇
合計	千圓 一〇六、三五〇	千圓 六、三五〇	千圓 七、八〇〇	千圓 四三、八八三	圓 三、三三〇、二二一	圓 一六〇、〇〇〇	〇、八	噸 〇	圓 一七〇

【事業成績】

△造 船 會 社

【事業成績】

川崎造船	大阪鐵工	橫濱船渠	浦賀船渠	三菱造船
資本金	九〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	五,〇〇〇	七,〇〇〇
拂込額	六九,七五〇	一〇,五〇〇	五,〇〇〇	四,三七五
社債及借入	八四,八一〇	一〇,〇〇〇	四,七〇〇	
諸積立	三三,四二八	五,六六七	一,六一	一,六七〇
利益金		一三三,七五一	三〇一,一七二	三三七,五七二
内積立金		五七,〇〇〇	五,〇〇〇	九〇,〇〇〇
配當率		〇,〇六	〇,〇五	〇,〇八
固定資本	一三五,七六六	二〇,四八八	二,三三六	二九,四三〇

△海上保險

東京海上	大阪海上	日本海上	帝國海上	神戶海上	東洋海上	扶桑海上	橫濱海上	大正海上	三菱海上
資本金	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
拂込額	三〇,〇〇〇	二,七九〇	二,六五〇	二,五〇〇	三,七五〇	五〇〇	二,五〇〇	一,二五〇	一,二五〇
準備積立	一〇,〇〇〇	七,七二	三,七六三	三,八〇〇	四,〇八七	四,八〇	四,一五〇	三,九八	九八
責任準備	五三,〇〇〇	五,〇〇〇	一,八〇〇	二,一三六	三,六六〇	一,九五〇	二,六三	二,九四〇	六,五〇〇
支拂備金	一三,二〇〇	三,四一	一,五七	三,八	七〇〇	一,四六五	三三	五〇二	一,〇三六
利益金	一一,八四九	六三,〇二四	一,一〇四	七六八	六八,八六九				
積立	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二七五,〇〇〇	五三六,五二七	二六七,六二五	一四一,三二七	五〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	六九三,〇〇〇
配當	二〇	一三	一〇	一五	一八	〇,七	〇,七	一〇	一三
新契約高	九,九〇七	三,一二九	二,六〇五						

▲昭和三年度關係會社株價

(單位圓)

日本郵船	大阪商船	川崎汽船	大阪鐵工	神戸棧橋
一月	七五,五〇〇	四八,〇〇〇	四七,五〇〇	二七,〇〇〇
二月	七三,五〇〇	四七,〇〇〇	四六,五〇〇	二八,五〇〇
三月	七二,五〇〇	四七,〇〇〇	四六,五〇〇	二八,五〇〇
四月	七二,〇〇〇	四六,五〇〇	四六,〇〇〇	二九,〇〇〇
五月	七二,〇〇〇	四九,〇〇〇	四九,〇〇〇	三三,五〇〇
六月	七三,〇〇〇	四八,五〇〇	四七,五〇〇	三九,〇〇〇
七月	七二,五〇〇	四七,八〇〇	四七,〇〇〇	四〇,〇〇〇
八月	六九,五〇〇	四五,〇〇〇	四五,〇〇〇	四一,〇〇〇
九月	六九,五〇〇	四六,五〇〇	四六,五〇〇	四三,〇〇〇
十月	六九,〇〇〇	四六,〇〇〇	四六,〇〇〇	四三,〇〇〇
十一月	六八,〇〇〇	四四,五〇〇	四四,五〇〇	三六,〇〇〇
十二月	六八,〇〇〇	四四,五〇〇	四四,五〇〇	三六,〇〇〇

▲本邦汽船會社累年營業成績

年次	會社數	拂込資本金	船隻總噸	運賃及備船料	雜收入	補助金	純利金	配當率
(明治三十九年)	三	四三,一六七,〇〇〇	三,四四	四九一,二五八	三,六九九,六五〇	四,九七,二八〇	四,〇五,一七〇	九・三%
一九〇六	六	五七,一三五,一七〇	五,三七	五七,七六六	三,八三三,七三〇	八,三五五,〇三〇	四,四四,一五〇	七・三七%
一九〇七	六	五九,二七一,五〇〇	五,四三	五六四,一七九	三,八七三,九五〇	八,六三三,三九〇	三,八四七,一三〇	七・一〇%
一九〇八	二	六〇,〇五〇,一八〇	五,三八	五七五,八七三	三,七四八,七〇〇	一,〇六四,三〇〇	四,二八〇,七五〇	六・二八%
一九〇九	二	六二,四四二,五七〇	五,三五	六〇〇,〇四二	四,〇八九,四〇〇	二,一六〇,六六〇	七,七二〇,〇九〇	六・四三%
一九一〇	二	六二,六三六,三〇〇	四,五四	六四八,八六六	四,八九四,三〇〇	二,二二五,九四〇	八,六四九,四四〇	七・八七%
一九一一	二	六〇,六五一,〇一〇	四,一九	七三,七三八	五,一九〇,三〇〇	二,六三九,七八〇	一〇,三三九,七七〇	九・一一%

【事業成績】

【事業成績】

一九三三	三三	六三、四八四、〇〇〇	五八二	七八五、一九〇	五九、六〇〇、四二〇	三、二四二、三三〇	一一、五二一、九五〇	一五、七〇三、八二〇	九、四一
一九三二	二四	六五、二五八、〇〇〇	五七八	八四一、九三一	五七、九六五、七三〇	三、三六二、六九〇	一一、三三〇、五七〇	一二、五九〇、八二〇	八、一一
一九三一	二四	六五、七九六、五〇〇	六〇八	八九五、六一五	七五、八四五、四二〇	五、八八七、六三〇	八、四〇六、四五〇	二二、四五〇、八五〇	一三、一〇
一九三〇	二四	八九、四七五、〇〇〇	六〇三	九八〇、七三三	一五一、九〇四、三六〇	五、六七四、八〇〇	七、三〇八、四九〇	六三、一一〇、一七〇	二六、一一
一九二九	二八	一七四、二〇〇、〇〇〇	六〇三	一、二七、四八三	二九五、三一、七九〇	二、三九二、一〇〇	六、八八九、三三〇	一四三、一四三、〇七〇	四一、三三
一九二八	五三	二六九、八八二、五〇〇	一、四九六	一、三八六、六四三	六三八、四五、九五〇	二六、三四、〇八〇	六、〇七二、八三〇	三三八、四三、八〇〇	三六、〇〇
一九二七	六五	二六九、三八二、七〇〇	一、五四二	一、三九七、八二三	五六四、五七、〇〇〇	三三、〇八六、七〇〇	五、五五八、二五〇	一〇一、二九〇、九八〇	二七、九六
一九二六	六五	二六九、三八二、七〇〇	一、五四二	一、三九七、八二三	五六四、五七、〇〇〇	三三、〇八六、七〇〇	五、五五八、二五〇	一〇一、二九〇、九八〇	二七、九六
一九二五	六五	二六九、三八二、七〇〇	一、五四二	一、三九七、八二三	五六四、五七、〇〇〇	三三、〇八六、七〇〇	五、五五八、二五〇	一〇一、二九〇、九八〇	二七、九六
一九二四	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二三	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九三三	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九三二	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九三一	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九三〇	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二九	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二八	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二七	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二六	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二五	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四
一九二四	七五	三六七、四〇六、〇〇〇	一、二七五	二、一〇九、五四一	二五六、二四、九五〇	二八、二二二、二七〇	七、八四一、三三〇	四、七九七、九三〇	六、〇四

外國汽船會社成績

△米國船舶院營業狀況

(一九二八年度)

種別	航海度數	貨客運搬噸量(貨物噸)	運航費				差引損(一)	
			航海收益	航海費	辨金	保險料		
貨物船	一、〇九五	八、八五三、二九	五八、二八〇、八六	五九、二八三、九七	五、七〇八、三三	六、四三三、一四〇	一四、七三〇、一四〇	
客船及客船	三	六、三三	二、六五二、〇七	二、三三二、三三	六〇、〇〇八	八二、八九七	一五九、五〇五	九、九八八(一)
USライン	六	八八、八九二	一六、二六六、一七	一四、二二三、六二	一、六六一、八六	四〇八、六七一	一、三三〇、二七一	六八八、二〇六(一)
油槽船	六	二〇一、八四	一、三六五、二四	八六一、六三	三三、二四七	一〇三、四九九	一七六、二四五	三六、七二七(一)

航海統計	一、二七三	客	九四、七〇	六、五〇、五七	七六、六九九、五七	一、〇九八、五九四	七、二九四、三三四	四、四六七、〇五一	一五、一五三、二一九
運航統計	八	貨	九八、一六四	五三、四八四	二四、四八四	一、五五〇	三、九三三	四三、八二〇	二三、七〇八
船舶運航	一、二八〇	客	九四、七〇	六、六〇三、四八	七六、七四〇、〇六	一、〇九三、四九	七、三〇六、九八	四、四七三、七三七	一五、一〇〇、一五六
總計	一、二八〇	客	九四、七〇	六、六〇三、四八	七六、七四〇、〇六	一、〇九三、四九	七、三〇六、九八	四、四七三、七三七	一五、一〇〇、一五六
船舶運航	一、二八〇	貨	九八、一六四	五三、四八四	二四、四八四	一、五五〇	三、九三三	四三、八二〇	二三、七〇八
休航船費	—	—	—	—	—	—	—	—	—
船舶停船	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雜收入(純收)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
差引缺損(一)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

△各國主要汽船會社

(一九二八年度成績)

會社名	拂込資本金	社債	積立金	船價	純益金	配當
彼阿汽船	七、五九三、五八磅	八、四八七、五〇磅	八、一三三、二七八磅	一六、八六九、三三四磅	九三三、〇三三磅	普通株一割二步
エラーマン	五、四五〇、〇〇〇	—	三、八五六、四九一	一〇、四三六、八三四	三、八三六、八三四	五步
英印汽船	三、六五七、二〇〇	—	一、四〇〇、〇〇〇	二、〇〇八、六九九	二九六、一一	八步
キユーナード	八、〇七〇、六一	—	一、四五〇、〇〇〇	一四、七六三、三三六	五五〇、四七八	七步五厘
白星線	六、〇〇〇、〇〇〇	—	—	九、八一〇、八二〇	五三〇、六四六	六步
ローヤルメール	八、八〇〇、〇〇〇	—	二、七八一、七二三	一六、二五三、七五五	六八七、七二四	五步
チャールガス	一〇〇、〇〇〇千法	一八九、〇四千法	六五、八五六千法	三七九、四七千法	五、二〇千法	五步
漢米線	一六二、三〇千馬克	一〇七、五七千馬克	一八、二五五千馬克	—	—	七步
北獨ロイド	一六二、五三三	九八、八三三	四〇、〇〇〇	—	—	八步

【事業成績】

一、エラーマン・ラインの純益金項目中には諸債務、雜勘定及損益勘定殘高を合算す
 一、英印汽船の船價中には貯藏品、土地建物、諸債權、現金及預金等の總資産を含む
 一、ローヤル・メールの船價中には海運投資金を含む

TRADE MARK
VAN
VAN BRONZE
WHITE METAL

ワシントンズ工場本社
 東京市芝區高輪壺町一丁目二番地
 電話高輪(長)五九九九番

ワシントンズ東京營業所
 東京市北品川御殿山三四六
 電話高輪(長)六八〇三番

ワシントンズ大阪出張所
 大阪市北區中之島六丁目六番地
 電話土佐堀(長)三九四二番

ワシントンズ神戸出張所
 神戸市榮町五丁目一八番
 電話元町(長)三〇二七番

ワシントンズ九州出張所
 小倉市鍛冶町三丁目七二番地
 電話小倉一九三三番

ワシントンズ函館出張所
 函館市真砂町二番
 電話函館一五五八番

ワシントンズ名古屋出張所
 名古屋市中區西瓦町一丁目三番地
 電話中二二四〇番

ワシントンズ尾道出張所
 尾道市

TRADE MARK



日本船底塗料

品質優秀と價格低廉を以て

既に定評ある理想的!!

製造所 神戸市蓮宮通三丁目十一番地
 電話湊川三一五三番

貯藏所
 函館 横濱 浦賀 大阪
 相生 玉 尾道 因島
 笠戸島 彦島 長崎 大連



三井物産
株式會社
船舶部

營業種目

各種船舶建造及入渠修理、汽罐汽機並ニフアマイスター
ディーゼルエンジン製造及修理、唧筒類、鑄鐵製品、各種タンク
水壓鐵管鐵塔、橋梁、建築材料、其他鋼材料工事一式

專賣特許

フアマイスターアンドワーエーン社型船用ディーゼルエンジン製造
エルツ式舵ノ製造取付



三井物産
株式會社
造船部

本部並ニ
工場
神戸支部

岡山縣兒島郡日比町大字玉拾番地
電話 玉一〇番・一一番・一三一番
神戸市海岸通三番地

電話三宮
七三二番・二六六一番
七三三番・二六六二番
七三三番・二六六三番
七三三番・二六六四番

代理店

三井物産株式會社内外各支店並出張所



日本郵船株式會社

東京市麴町區丸之内郵船ビル

橫濱市中區海岸通三丁目九番地

名古屋市中區天王崎町四番地

神戸市海岸通一丁目外一號及二號

大阪市西區川口町二十六番地

門司市門司字棧橋通一番地ノ一

長崎市常磐町四番地

支那上海共同租界黃浦灘第三十一號地

大連市山縣通り百八十一番地

北海道函館市船場町十九番地

北海道小樽市手宮町三丁目五番地

臺灣基隆街字警仔寮百二番地ノ一

朝鮮釜山府大倉町一丁目一番地

日本郵船株式會社

電話丸之内(23)二五三一・二五二一

同 橫濱支店 電話本局自三九三一至三八三三

同 名古屋支店 電話三ノ宮自一三〇自三五三一

同 神戸支店 電話西自三五至三八

同 大阪支店 電話三ノ宮自一三〇自三五三一

同 門司支店 電話西自三五至三八

同 長崎支店 電話西自三五至三八

同 上海支店 電話西自三五至三八

同 大連出張所 電話西自三五至三八

同 近海郵船株式會社函館支店

同 小樽支店

同 基隆支店

同 朝鮮郵船株式會社釜山支店

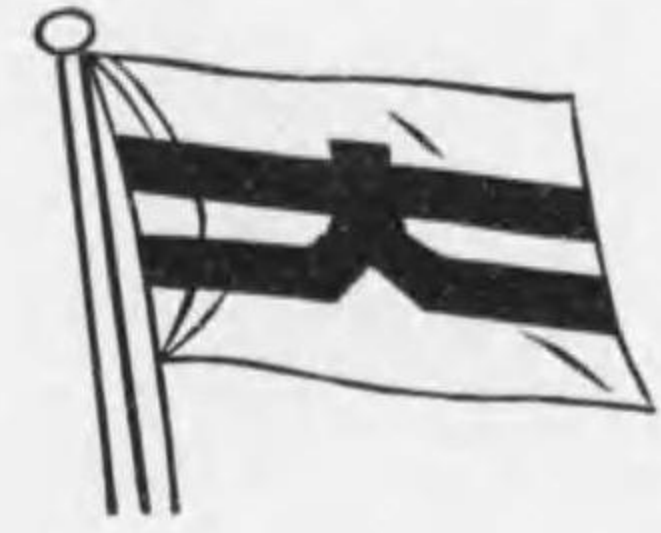
帝國海軍
水路部刊行
水路圖誌

日本郵船株式會社
販賣所

代理店

▲注意▼

御注文ハ最寄販賣所へ御用命被下度
地方販賣所ニテ品切レノ節ハ其販賣所ヨリ東京本社ニ傳達可有之候



大阪商船株式會社

海軍省指定工場

株式會社 大阪鐵工所



鐵道省指定工場

大阪市此花區櫻島南之町

電話(五七〇〇〇五) 三〇〇〇九 土佐堀區

鐵橋造船車
構梁船造機輛
渠

工場	番號	總長	Sill上ノ長	渠口上ノ幅	渠口下ノ幅	盤木トニ於ケル諾潮面ノ深サ
櫻島	1	692'-0"	679'-0"	75'-6"	71'-6"	21'-0"
築港	2	438'-0"	420'-0"	57'-0"	57'-0"	20'-3"
因島	3	346'-0"	338'-0"	46'-6"	43'-0"	17'-0"
同	4	462'-0"	459'-4"	59'-0"	55'-0"	20'-6"
同	5	154'-0"	148'-0"	32'-0"	28'-6"	18'-6"
同	6	421'-0"	414'-0"	57'-0"	51'-0"	20'-6"
同	7	300'-0"	291'-0"	42'-0"	38'-0"	16'-6"
彦島	8	223'-0"	218'-0"	37'-6"	29'-0"	15'-0"
同	9	294'-0"	287'-0"	55'-0"	50'-0"	20'-6"
笠戶島	10	484'-8"	481'-2"	74'-9"	70'-7"	21'-7"
同	11	319'-1"	310'-2"	54'-0"	50'-9"	17'-7"

櫻 築 因 彦 笠 東 神

島本社工場

大阪市此花區櫻島南之町
電話(三〇〇〇〇五) 三〇〇〇九

港工場

大阪港區船場
電話(九三〇〇) 四一

島工場

廣島縣御調郡土生町
電話(五三三) 三三

島工場

山口縣豐浦郡彦島町字江
ノ浦電話(四二四) 四二

戶島工場

山口縣都濃郡末武南村大
字笠戶島電話(四七) 四七

京事務所

東京市丸ノ内仲通十五號館
電話(九八六六) 八六六

戶事務所

神戸市播磨町十七
電話(一七五) 一七五



山下汽船株式會社



主要製品

逕信省免許

船燈、信號器、救命具
電氣瓦斯其他百般
高級燈器機
逕信省規格
舷窓及一般舷窓類
陸船用諸金物製造
一般合金鑄造業

創業明治二十年

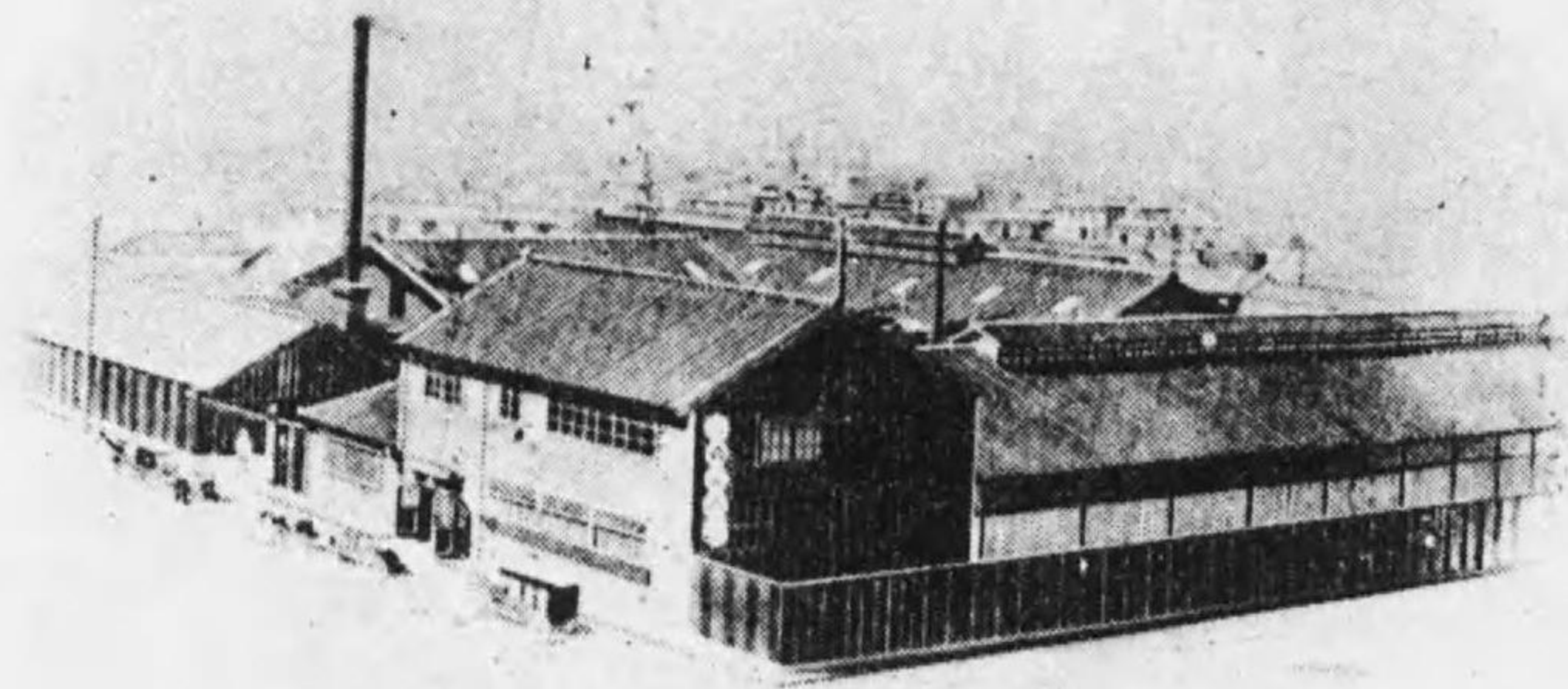
合名會社 森田商店

代表社員 森田龜吉

營業所 大阪市西區本町通二丁目四八番地
工場 電話長西二二三番三七九四番
振替穴阪三五三一五番

支店 神戸市兵庫江川町二十七番地
電話長兵庫二五六三番

合名會社森田商店工場小景
本邦唯一の完備せる専門工場



船底塗料

大阪市中之島大阪ビル

大東塗料株式會社

電話土佐堀一八三二番

專務取締役

今村 勇之助

支配人

織山 梧一



登 録 商 標

- コツパーペイント (木船々底塗料)
- ホールドペイント (船内防錆塗料)
- デツキペイント (鐵甲板防錆塗料)
- セクロン (木材鐵材防腐防錆塗料)
- グラファイト(各色) (鑄並ニ美裝用塗料)
- セトラー (木材防腐防虫劑)
- シーゲル (絶白滅劑)

特ニ船底塗料ハ日本郵船會社、大阪商船會社ノ特定品ニシテ外國一流品ニ比較ス
ルモ遜色ナシ國產獎勵トシテ是非一度御試用アランコトヲ乞フ

製品要目

船舶、艦艇ノ建造並修理。チエリー並ユングストローム型ターボ發電機、エツシヤウイス型水力發電機。ガルベ型並セクシヨナル水管式汽罐。船用並陸用ディーゼルエンジン。各種唧筒類。鐵橋、鐵塔、鐵構類。蒸汽及電氣機關車。電氣鎔接並鉸鉸水壓鐵管。耐火式アトメタル製家具類。特種合金飯高メタル。鋼鑄物打物類等



三菱造船株式會社

本店 東京丸ノ内

工場
長崎造船所 長崎市飽ノ浦
神戶造船所 神戸市兵庫和田崎町
彦島造船所 下關市外彦島町
長崎兵器製作所 長崎市茂里町

研究所 東京市本郷區駒込

Line



“K”

神戸市海岸通八番地

川崎汽船株式会社

出張所

倫敦	紐約	沙桑
敦育	市育	港市
シドニー	上海	浦鹽斯德
東京	東	京
橫濱	臺北	函館
賓館	賓館	賓館

創業明治三十三年

無線電信機械
無線電話機械
製造販賣

陸軍省、海軍省、鐵道省
遞信省、文部省、農林省
指定工場



株式會社

安中電機製作所

本社及工場

東京市外澁谷町伊達四番地
電話高輪五九・五三・六七番

神戸營業所

神戸市榮町六丁目二番屋敷
電話元町一二八五・一八六〇番

橫濱出張所

橫濱市住吉町三丁目五番地
電話長者町四三七九番

北日本汽船株式會社



本所 樺太 大泊 所業 小樽 南濱 町

線名	寄港地	回数	備考
小樽泊居線	小樽、真岡、野田、泊居、海馬島	冬三回	樺太廳命令
真岡直航線	小樽、真岡、野田、泊居、惠須取	夏五回	同
小樽真岡直航線	小樽、真岡	冬三回	同
函館安別線	西海岸國境迄各地行	夏四回	樺太廳命令
函館能登線	東海岸海豹島迄各地行	夏四回	同
知取急行線	榮濱、元泊、知取、泊岸、內路、數香	夏週一回	同
伏木樺太線	滑川、魚津、新潟、小樽、大泊、經由西海岸各地行	夏四回	樺太廳命令
函館真岡線	函館、小樽、大泊、真岡、本斗、內幌、武意泊	夏三回	同
大阪小樽西廻線	每一、六、日阪神發、每三、八、日關門發、每一、六、日小樽發	月六回	夏季樺太延長ス
東京小樽東廻線	每月曜日東京發、每火曜日橫濱發	月六回	夏季樺太延長ス
青森室蘭連絡線	青森、室蘭(鐵道下船車連帶航路)	每日出帆	遞信省命令
稚内本斗連絡線	稚内、本斗(鐵道下船車連帶航路)	每日出帆	樺太廳命令
敦賀浦鹽線	每土曜、敦賀發、每水曜、浦鹽發	一週一回	遞信省命令
敦賀清津線	每一、日敦賀發、每七、日清津發	月三航海	

營業課目

船 船 汽 機 汽 罐
 陸 上 諸 機 械 製 造 修 繕
 建 築 用 鐵 骨 及 橋 梁 鐵 材 製 造 組 立
 製 帆 及 綱 具 製 作
 遭 難 船 舶 救 助 曳 船 貸 船



函館船渠株式會社

函館市辨天町八十八番地

電話(代表番號)三三三〇番
 電略(ト)又ハ(トク)

船渠架

乾 船 渠 長 五 百 十 二 尺
 浮 船 渠 長 二 百 八 十 尺
 引 揚 船 架 長 二 百 二 十 五 尺

海損精算専門

FOREIGN ASSOCIATE MEMBERS
of the
Association of Average Adjusters
of the United States.

浅井市川海損精算所

海損精算人 浅井 義 暲
海損精算人 市川 牧之助

神戸市明石町明海ビルディング四四號
電話三宮 一八九八〇一
四四七九二〇番
時間外電話 大阪南三五四番
神戸元町二四〇二番



大阪海上火災保險株式會社

海上保險 運送保險
火災保險 傷害保險

自動車保險

本社 大阪市北區堂島濱通二丁目(渡邊橋北詰)

電話 北(六八〇一・六八〇二・六八〇三
六八〇四・六九〇二・六九〇三)

支店 東京、神戸

出張所 横濱、名古屋、福岡、金澤、仙臺、京城

The Kobe Average Adjusting Office.

Foreign Associate Member
of the
Association of Average Adjusters
of the United States.

神戸海損精算事務所

神戸市海岸通五番地

商船ビルディング三〇一

電話三宮九九〇番

海損
精算人

中村新三郎

自宅 電話芦屋二〇八番

Kokusai Line

國際汽船株式會社

本社 神戸市仲町興銀ビル
東京 東京市丸ノ内興銀ビル

海外出張所

倫敦、紐育、沙市
シドニー、ゼノア、漢堡

海陸運送業
船舶代辦業

勞力請負業
其他代理業

電話
六番
三八番
二三三番

私書函 高雄局第拾貳號

臺灣高雄市新濱町一丁目一番地(高雄驛前)

三日東商船組本店

振替口座臺灣二〇六番

支店、出張所
所在地

基隆、臺北、萬華、桃園、新竹、竹南、潭子、
臺中、沙鹿、彰化、二水、南投、虎尾、西螺、
斗南、大林、嘉義、水上、番子田、臺南、九曲堂、
旗山、屏東、西勢、潮州、溪州、安平、

渠 船

第一船渠	長六二四呎	巾九〇呎	深二八呎
第二船渠	長三四二呎	巾四八呎	深二六呎
第三船渠	長四八五呎	巾五八呎	深二一呎

臺 船 造

第一船臺	長三四五呎
第二船臺	長四〇〇呎
第三船臺	長五〇〇呎
第四船臺	長五〇〇呎
第五船臺	長六〇〇呎



橫濱船渠株式會社

目種業營

船舶の新造修理
船渠及曳船業
汽機汽罐の製作
倉庫業

本社 橫濱市長住町三番地
倉庫部 橫濱市綠町四番地
大阪出張所 大阪中之島大阪ビル五階

海 事 審 判 補 佐
 海 事 關 係 事 件
 外 國 關 係 事 項

大阪市中之島大阪ビル(六階)

甲種船長
 法學士
 辯護士
 英國パリスター

吉田研太郎

電話 土佐堀六二九番

住宅 神戸市熊内町二丁目四六

電話 葦合九九九番

創 立 明 治 二 十 六 年
 資 本 金 一 千 萬 圓
 積 立 金 七 百 拾 參 萬 圓

東京市麴町區大手町一丁目六番地



帝國海上火災保險株式會社
 社 長 **安田善五郎**

營業種目

海 上 保 險
 漁 船 保 險
 運 送 保 險
 火 災 保 險
 傷 害 保 險
 自 動 車 保 險

備 考

漁船保險ハ船舶保險ノ一種トシテ特ニ漁船ニ適應
 スル條件ヲ以テ漁業家ノ御便利ヲ計リ致シマス
 尙各種保險トモ多年ノ信用、經驗ノ下ニ誠實懇切
 ヲ旨トシテ取扱テ居リマス何卒御用命ヲ願ヒマス

支 店 大阪、神戸、横濱、名古屋、京都、福岡
 海外代理店 倫敦、其他世界主要地
 内地代理店 國內及殖民地內約二、〇〇〇箇所

大阪市安治川國津橋詰

大 攝陽商船株式會社

電話西
長六六
一四二
二四九
三九九
四六一
五六一
振替大阪
一八九
二四一
番

船渠

全長 三三〇呎
幅 五〇呎
水深 一五呎

佐野安船渠

大阪市住吉區北加賀屋町三三五番地

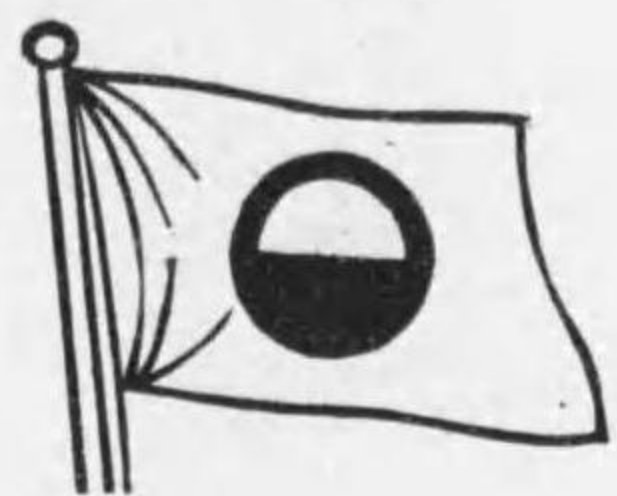
佐野川谷安太郎

電話櫻川園一四二六番

營業 課目

船舶修理及建造
鐵工事一式
汽機汽罐修理及製造
發動機及諸機修理及製造
設計、製圖、監督、其他

THE OCEAN TRANSPORT CO., LTD.



神戸市京町

太平洋海運株式會社

海事審判補佐

法律事務

仲裁及鑑定

殊ニ海上運送、海上

保險ニ關スル諸件

神戸市海岸通三丁目二

(日濠館内)

辯護士

法學士

吉田精三

電話三宮二四〇九番

自宅 電話園葺合一二五五番

海事圖書出版發賣

東京市神田區錦町一丁目一〇

振替口座東京八〇九九三番

海文堂出版部

神戸市元町通三丁目三四〇

振替口座大阪五〇四〇八番

圖書目錄無代進呈

附錄

附 錄

歷代遞信大臣

任官日付
 明治十八年十二月廿二日
 同 廿二年三月廿二日
 同 廿五年八月八日
 同 廿八年三月十七日
 同 廿八年十月九日
 同 廿九年九月廿六日
 同 卅一年一月十二日
 同 卅一年六月卅日
 同 卅一年十一月八日
 同 卅三年十月十九日
 同 卅三年十二月廿二日
 同 卅四年六月二日
 同 卅六年七月十七日
 同 卅六年九月廿三日
 同 卅九年一月七日
 同 四十一年一月十四日

氏名
 榎本武揚
 後藤象二郎
 黒田清隆
 渡邊國武
 白根專一
 野村謙一
 末松有造
 林有造
 芳川顯正
 星川顯正
 原川顯正
 芳川顯正
 曾根荒助
 大浦兼武
 山縣伊三
 原敬

同 四十一年三月廿五日
 同 四十一年七月十四日
 同 四十四年八月卅日
 大正 元年十二月廿一日
 同 二年二月廿日
 同 三年四月十六日
 同 四年八月十日
 同 五年十月九日
 同 七年九月廿九日
 同 十一年六月十二日
 同 十二年九月二日
 同 十三年一月七日
 同 十三年六月十一日
 同 十四年五月卅日
 昭和 二年三月廿一日
 同 三年五月廿五日
 同 四年七月二日

子爵 堀田正義
 男爵 後藤新平
 男爵 林藤平
 男爵 後藤新平
 男爵 元富肇
 男爵 武富肇
 男爵 箕浦勝人
 男爵 田健太郎
 男爵 野田利太郎
 男爵 前田利太郎
 男爵 犬養毅
 男爵 藤村義毅
 男爵 犬養毅
 安達謙藏
 望月圭介
 久原房之助
 小泉又次郎

【附 錄】

引 索

歷代遞信大臣
 同 遞信次官
 同 管船局長
 役員錄
 官公署團體
 汽船會社
 造船會社
 海上保險會社
 運輸倉庫會社
 船舶用品會社

一
二
三
四
五
六
七
八

任所錄
 船主
 海運業者
 造船業者
 海上保險業者
 船用品業者
 倉庫業者
 辯護士補佐人代願人

九
一〇
一一
一二
一三
一四
一五
一六
一七
一八
一九
二〇
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七
二八
二九
三〇
三一
三二
三三

同 濱地 泰應
同 牧村愛之助
同 林 耕造
同 打萩 貞

▲函館地方海員審判所

審判官所長 門脇觀次郎

同 米田富士雄

同 佐々木正次

同 三方 章方

同 井上 芳比

同 椿 孫次郎

▲燈臺局

局長 廣幡 忠隆

書記官監理課長 淺田 正一

技師 明石 幸楠

同 工務課長 服部 正人

同 同羅州丸船長 竹中 敬一

同 同機關長 溝口 新平

同 森田富士助

▲橫濱税關

税關長 中嶋 鉄平

監視部長兼港務部長事務取扱 元尾 光輝

▲大阪税關

税關長 加藤榮一郎

監視部長 中村 重喜

總務課長 廣瀨 經一

植物檢查課長 猪飼 正雄

會計課長 村田 藤七

港務部長 馬淵登季三

大阪驛出張所長 山本 一

富島出張所長 中村孫一郎

梅小路驛出張所長 宮崎 晴良

堺出張所長 大谷 豐一

武豐税關支署長 松本忠四郎

名古屋屋税關支署長 濱 清吉

同 名古屋驛出張所長 久木山四郎

同 四日市税關支署長 日下龜太郎

同 宮津税關支署長 時岡 由藏

同 舞鶴出張所長 藤原 喜一

同 敦賀税關支署長心得 淺川 章

七尾税關支署長 三木 宗太

伏木税關支署長 藪田 米吉

税關長 米田 豐吉

▲長崎税關

税關長 窪寺 勲

若松税關支署長 山口 主税
博多税關支署長 田代 悅郎
德山税關支署長 金子 潤介
萩税關支署長 有門彌一郎

▲函館税關

税關長 西森猷太郎

總務課長兼監視部長 谷地勘九郎

檢查課長 木下 勇男

會計課長 前川 貞治

官房主任 阿部 凶介

青森税關支署長心得 荒瀬 榮治

小樽税關支署長 高石榮治郎

室蘭税關支署長 所田 眞澄

根室税關支署長 南部 治

釧路税關支署長 村岡 諒

大泊税關支署長 池田三郎

眞岡税關支署長心得 廣瀬 英二

▲陸軍運輸部

部長 中將 木原 清

部附 少將 岸 孝一

庶務科 少佐 石川 鈍郎

調查科 中佐 渡邊 右文

輪送科 中佐 鈴木 謙吉

工務科 少佐 岩倉 卯門

經濟科 二主正 白井 忠雄

衛生科 一軍醫 中島 政雄

神戶出張所長 少佐 松田調太郎

門司出張所長 少佐 北澤貞次郎

基隆出張所長 少佐 澤田 保富

釜山出張所長 中尉 原 布美

大連出張所長 少佐 米山 久馬

太沽出張所長 少佐 佐藤 要

▲商船學校

校長 島谷 敏郎

教授(練習船船長) 淺利 孝爾

同(生徒主事生徒課長) 須川 邦彦

同(航海學部主任) 薄井 周介

同(教務課長) 若口 良治

同(機關學部主任) 若口 良治

同(兵庫縣武庫郡深江) 小關 三平

▲門司税關

税關長 金光 秀文

監視部長兼總務課長 中村 幸楠

港務部長 明石 清次

植物檢查課長 河原 高

會計課長 江淵 音松

下關出張所長 上野 唯勝

下關驛出張所長 井上 四郎

【附 錄一職員錄一】

教授(機關科長) 吉利 慶
 同(航海科長) 吉澤 眞範
 同 宮富 賢三
 同(生徒科長生徒主事) 篠崎 認三
 同(普通課長) 菅野新一郎
 同(練習船々長) 林 信夫
 函館商船學校長 關 重孝
 富山商船學校長 金岡 孫三
 鳥羽商船學校長 矢野 馬吉
 大阪高等海員學校長 横山 愛吉
 大島商船學校長 蛭子 康
 鹿兒島商船學校長 正戸爲太郎
 兒島商船學校長 赤城 三千
 粟島航海學校長 桃井百太郎
 佐賀商船學校長 横尾 義達
 弓削商船學校長 竹内濟二郎
 島根商船水産學校長 島内 桓太
 廣島商船學校長 藤澤 十郎

▲朝鮮總督府 遞信局海事課
 海事課長 土師 盛貞
 技師 大賀 文喜
 同 松崎 嘉雄

▲朝鮮稅關
 同(兼) 黑田 吉夫
 同(兼) 今井賴次郎
 海員養成所(鎮海)所長 江島 清
 仁川海事出張所所長 井上 俊治
 釜山海事出張所所長 武藤 千丈
 鎮南浦海事出張所所長 黑田 馨
 新義州海事出張所所長 水上 五六
 元山海事出張所所長 松尾太兵衛
 木浦海事出張所所長 清水 勝美
 清津海事出張所所長 加藤 察平
 同 太田 信良
 同 審判官 土師 盛貞
 同 喜頭 兵一
 同 武藤 千丈
 同 新貝 肇
 同 松崎 嘉雄
 同 黑田 吉夫
 同 大賀 文喜
 同 高松 順茂

▲釜山稅關
 稅關長 宮崎又治郎
 庶務課長 福田 勤助
 監視課長 佐伯 彌
 稅務課長 大城 次郎
 檢查課長 松尾 千治
 木浦稅關支署長 長谷 正夫
 大邱稅關支署長 平谷龜太郎

▲新義州稅關
 稅關長 井上 主計
 監視課長 片岡善太郎

▲釜山稅關
 稅關長 渡邊 秀雄
 庶務課長 二河 可脩
 監視課長 内川 太郎
 檢查課長 井口米治郎
 稅務課長 家守 要
 京城稅關支署長 大竹謙太郎
 群山稅關支署長 中野 忠雄
 元山稅關支署長 星 慶藏
 城津稅關支署長 小坂 貞治
 清津稅關支署長 平田誠次郎
 雄基稅關支署長 井上 忠夫
 會寧稅關支署長 井口兵右衛門
 三峯稅關支署長 飯田 直貫

【附 錄一職員錄一】

檢查課長 原 賢太郎
 庶務課長 八谷 俊一
 稅務課長 大高洋太郎
 安東驛派出所主任 佐々木三雄
 鎮南浦稅關支署長 中村 勉三
 龍巖浦稅關支署長 佐々木數一
 平壤稅關支署長 竹村喜久司

▲臺灣總督府交通部 遞信部海事課
 海事課長 淺香貞次郎
 技師 高橋 百千
 同 梅田 三良
 基隆海事出張所所長 高橋 百千
 高雄海事出張所所長 加藤 節
 ▲臺灣汽船職員懲戒委員會
 委員長 交通局長 丸茂 藤平
 委員 參事 深川 繁治
 同 戸水 昇
 同 鹽原時三郎
 同 梅田 三良
 同 加藤 節
 同 高橋 百千
 同 淺香貞次郎

▲高雄州港務部
 部長 高橋 秀人
 海務課長 守屋 淑助
 檢疫課長 榊原 保
 ▲臺北州港務部
 部長 内海 忠司
 港務官 梅田 三良
 港務醫官 桐林 茂

▲臺灣稅關
 稅關長 大竹 勇
 監視部長兼庶務課長 皆川 尊彦
 基隆事務官 青木 敬次
 臺北支署長 楠本由太郎
 淡水支署長 石井喜一郎
 舊港支署長 福田 豐太
 後龍支署長 川崎 誠治
 梧棲支署長 湯川 重友
 鹿港支署長 木元 祐義
 東石支署長 蘭半田義則
 安平支署長 有井 竣造
 高雄支署長 安達 左京
 馬公支署長 森 晋

▲關東廳海務局
 局長 技師 生野 熊一
 同 藤城吉太郎
 同 江原 幹三
 同 木村 勝喜
 同 金行 祐八

▲關東州船舶職員
 水先人懲戒委員會
 委員長 技師 生野 熊一
 同 藤城吉太郎
 同 關根四男吉
 同 江原 幹三

▲帝國海事協會
 (東京丸ノ内海上ビル)
 理事長 男爵 斯波忠三郎
 常務理事 今岡純一郎
 同 梅村 貞明
 同 井坂 孝
 同 濱田 彪
 同 各務 謙吉
 同 川村貞次郎
 同 河上 邦彦

【附 錄一職員錄一】

▲造船協會

(東京市麴町區丸ノ内三ノ八)
理事 (會長) 末廣 恭二
(主事) 越智 誠二
(主計) 濱田 彪
(編輯主任) 平賀 讓
藤嶋 範平
今岡純一郎
山本 幸男

▲對米船舶提供記念財團

(遞信省 内)
設立者
日本郵船株式會社
大阪商船株式會社
東洋汽船株式會社
三井物產株式會社
岸本汽船株式會社
山下汽船株式會社
日本海員救濟會
辰馬汽船株式會社
內田汽船株式會社
勝田汽船株式會社
川村貞次郎
堀 啓次郎

同 淺野總一郎
同 宮崎 清則
同 各務 謙吉
同 山下龜三郎
同 岸本策太郎

▲近藤記念海事財團

(東京丸ノ内郵船ビル)
理事長 湯川 文臣
專務理事 藤嶋 範平
理事 中島滋太郎
同 武田 秀雄
同 石橋 甫
同 堤 正義
同 大谷 登
同 岩田 宙造
同 島村 淺夫

▲神戶海運集會所

(神戶市明石町明海ビル)
委員長 各務 謙吉
書記長 波多野春房
取締役會長 川村貞次郎
取締役 勝田銀次郎
同 木村 貞二
同 橋本 信一
同 八馬 兼介
同 原田 六郎
同 古川虎三郎
同 榎木 幹雄
同 南郷 三郎
同 谷道耕太郎
同 早川 茂三
同 岡崎 忠雄
同 嶋谷 武次
同 畑 茂
同 谷口 茂雄
同 菊地 吉藏
同 谷口 茂雄
同 余語 光
同 大久保 武

▲日本海法會

(東京牛込區中町松波氏邸)
專務理事 松波仁一郎
理事 內田 嘉吉

▲日本海上保險協會

(東京丸ノ内海上ビル)

主事 高野 進

▲日本海事檢定協會

(神戸市海岸通三丁目)
專務理事 田上 郷吉
理事 西 廣次
同 太田丙子郎
同 武田良太郎
同 永津 卯平
同 堀 保介
同 山地 善七
同 神戶本部 鑑定人検査員船長 馬場信次郎
同 金子 幸助
同 中西有之助
同 齋藤 齋
同 服部 猪熊
同 吉島 政義 (本部出張)
同 大阪出張所 同
同 大阪築港事務所 同
同 勝浦派出所 同
同 名古屋出張所 同
同 四日市派出所 同
同 横濱出張所 同
赤松 喬二

△東京出張所 藤井寅一郎
△門司出張所 中俣 淺吉
△下關派出所 同
△小樽出張所 同
△基隆出張所 同
△高雄出張所 同
△長崎出張所 同
同 大手九重郎

▲大連海務協會

(大連市寺内通)
理事會長 市川 敷造
同 大塚 源吾
同 山口 啓三
同 袴田 可坪
同 生野 熊一
同 綾 末廣
同 植松虎一郎
同 中川 四朗
同 關根四男吉
同 藤城吉太郎
同 吉富 金一
同 藤津 秀市
同 神戶出張所主任検査委員 吉田新之助

検査委員 塚越 禮藏
同 清原 憲次
同 佐伯吉三郎
同 荒木 重義
同 堀江 吳郎
同 中井 哲男
同 吉富 金一
同 隅田虎二郎
同 市川牧之助
同 大塚 源吾
同 中西 四朗
同 綾 末廣
同 高橋多佳次

▲青島海事協會

(青島冠縣路四七七)
專務理事(海事鑑定人) 佐藤 敬三
理事 (原田汽船) 川畑 竹馬
(岩城商會) 田邊郁太郎
(大日本麥酒) 根上耕太郎
(三井物產) 小室德太郎
(水先人) 蛸子 勝
(大連汽船) 佐藤 信二
(政記公司) 千 維 廷

【附 錄一職員錄一】

【附 録—職員録—】

同 監事 (日本郵船) 平松連太郎
同 (中村組) 谷川 保
同 (丁敬記) 丁敬 臣

▲海事協同會

(神戸市京町八一)

會長 (日本郵船) 武田良太郎
委員 (太平洋海運) 石田 貞二
同 (大阪商船) 太田丙子郎
同 (日本船主協會) 上谷 續
同 (明治海運) 谷口 茂雄
同 (國際汽船) 黒川新次郎
同 (日本郵船) 阪本 健造
同 (日本海員組合) 濱田國太郎
同 (同) 堀内 長榮
同 (海員協會) 金尾 治作
同 (同) 龍崎 禎助
同 (日本海員組合) 赤崎 寅藏
同 (海員協會) 鈴木 仁一
同 (同) 上谷 續
同 (同) 濱田國太郎
同 (同) 伊村 榮介
同 (同) 荻谷 薫
同 (同) 半田 一郎

調査部主任 吉村 好治
△神戸紹介所長 芦谷 薫
△大阪紹介所長 淺越 武彦
△名古屋紹介所長 入船 慎吾
△東京紹介所長 平井敬次郎
△函館紹介所長 金山吉太郎
△小樽紹介所長 武市 保徳
△室蘭紹介所長 鶴峰 元吉
△伏木紹介所長 蒲原 文六
△下關紹介所長 長野 作藏
△門司紹介所長 磯部 尙一
△若松紹介所長 高橋 熊吉
△長崎紹介所長 田中 秀吉
△三池紹介所長 難波小平太
△兵庫事務所長 缺 員
△川口事務所長 糸 岡島 雅雄 重榮

▲日本船主協會

(神戸市明石町明海ビル)

會長 各務 謙吉
専務理事 上谷 續
理事 板谷商船株式會社

八馬汽船株式會社
橋本汽船株式會社
原田汽船株式會社
東和汽船株式會社
日本郵船株式會社
大阪商船株式會社
勝田汽船株式會社
岡崎汽船株式會社
太平洋海運株式會社
辰馬汽船株式會社
大連汽船株式會社
内田汽船株式會社
山下汽船株式會社
山本商船株式會社
株式會社互光商會
國際汽船株式會社
佐藤國汽船株式會社
北日本汽船株式會社
明治海運株式會社
岸本汽船株式會社
近海郵船株式會社
三井物産株式會社
内外汽船株式會社
森平汽船株式會社

同 同 日下部汽船株式會社
同 鳴谷汽船株式會社
主任書記 石川 茂一
海圖部主任 淺井 鉦吉

▲神戸船主會

(神戸市海岸通二丁目橋本ビル)

幹事二名(毎月抽籤ニ依リ更代)

▲大阪船主會

(大阪市西區新町通四丁目 平和俱樂部内)

理事 原田汽船株式會社
同 山本商船株式會社
同 岸本汽船株式會社
同 廣海商船株式會社
同 攝津商船株式會社
同 田中汽船株式會社
同 林汽船株式會社
同 原商船株式會社
同 大家 善太郎
同 山本汽船株式會社
同 矢吹 禎一郎
同 森平汽船株式會社

主事 西尾 信一
事務擔當 小川 彌吉

▲關西汽船同盟會

(大阪市西區本田三番町)

理事長 阿部 克太郎
理事 大阪商船株式會社
同 尼崎汽船部

▲東京船主會

(東京丸ノ内海上ビル)

常任幹事(萬成汽船) 成宮金三郎
幹事(一名)一ヶ月交代就任

▲函館船主同盟會

(函館市西濱町小川合名内)

會長 (小川合名) 坂本 作平
同 (函館日下部) 日下部久太郎
同 (千島汽船) 遠藤 義策
同 (函館海運) 谷 徳太郎
同 (金森商船) 渡邊 孝平
同 (山崎汽船) 山崎松太郎
同 (常盤汽船) 坂井 定吉
同 三好治太郎

▲小樽船主協會

(小樽市南濱町)

理事長 北日本汽船株式會社
理事 酒井汽船株式會社
同 鳴谷商船株式會社
同 藤山海運株式會社
同 三井物産船舶部

▲海員協會

(神戸市下山手通八丁目)

常務理事 金尾 治作
理事 堀 保助
同 米窪 滿亮
同 田中 弘衛
同 都竹要次郎
同 榎谷 志一
同 杉本源三郎
同 横山 愛吉
同 福屋 禎助
同 南川 武一
同 鈴木 永助
主事 鈴木 仁一

【附 録—職員録—】

【附 錄一職員錄一】

同 同 同
山地 四郎
松井 久男
榎本初五郎
木田 省吾

▲東京海運業組合

(東京丸ノ内海上ビル)

組合長 (谷道商店) 谷道清之助
副組合長 (豐川商店) 豐川篤太郎
會計監督 (成興商會) 佐藤泰治郎
理事 (山本海運) 山本 尙衛
(岩井商店) 岩井 秀介
(荒川回漕店) 荒川 敬
(德島商店) 德島 清松
(栗林商店) 栗林 友二
(豐島海事) 豐島美王麿
相談役 太刀川又八郎
玉井 周吉
安見 與吉
水梨岩太郎
飯田 隆平
岩井 秀介
德島 清松
米村 英雄

同 同 同
(大仁商店) 安見 與吉
(山本海運) 山本 尙衛
(福島商店) 福島 信純
(成興商會) 佐藤泰治郎

▲東京回漕業組合

(東京市芝區日之出町)

組合長 (荒川回漕店) 荒川 敬
副組合長 (芝浦運輸) 安場 保健
會計監督(伊勢富回漕) 山崎健一郎
評議員(伊勢格回漕店) 吉田 捨吉
(富島組回漕部) 清水 省三
(通運箱崎支店) 北村繁二郎
(清水回漕店) 辻尾 定吉

▲大阪海運同盟會

(大阪市西區北堀江通六丁目)

會長 (田中商店) 田中次太郎
評議員 (田淵商店) 田淵岩太郎
(阿部商店) 阿部 久作
(矢吹商店) 矢吹禎一郎
(小栗合資) 內藤定一郎

▲門司海運業組合

(門司市棧橋通八)

組合長 (野村商會) 野村 政一
副組合長 (巴 組) 中野 眞吾
會計管理 (小栗合資) 柴崎美知彦
評議員 (柿谷商店) 柿谷 市藏
(小栗合資) 柴崎美知彦
(山下汽船) 遠藤 盛彌
(三星商會) 土井 多吉
(竹吉回漕店) 竹吉 幸市
(朝長商店) 朝長 久雄
(村本回漕店) 邑本 辨造
(巴 組) 中野 眞吾
(柿谷商店) 柿谷 市藏
(小栗合資) 柴崎美知彦
(山下汽船) 遠藤 盛彌
(龍門商會) 阿武 喜一
(竹吉回漕店) 竹吉 幸市
(九州商船組) 青山 茂司
(朝長商店) 朝長 久雄
村松安治郎

▲下關海運業組合

(下關市西南部町 尼崎汽船部支店內)

組合長 (向野回漕店) 向野 榮藏

副組合長 (尼崎汽船) 岡山 貞三
評議員兼會計管理 (北市屋回漕) 中村憲一郎
(富海回漕店) 富海松兵衛
(新盛 舍) 山本 彌雄
(廣瀨回漕店) 廣瀨 彌吉
同 久我 恭平

▲名古屋海運業組合

(名古屋市南區海岸通り)

組合長 (愛三商船) 山内市太郎
副組合長 (大正海運) 淺野 信治
評議員 (名古屋海運) 野水金九郎
(丸八運輸) 萩野 政吉
(旭運輸) 和田 顯治
(川西倉庫) 奥津啓一郎
(高橋回漕店) 高橋熊一郎
同 中司頼之助
同 相談役

▲廣島海運業組合

(廣島市宇品町海岸通 市營棧橋内)

理事長 (廣島郵船組) 川本秀太郎
理事 (廣島郵船組) 大石長次郎

同 同 同
(廣島商船組) 白川 潔
(尼崎汽船部) 吉田 義治
(宮友本店) 宮下 桑吉

▲小樽海運業組合

(小樽市埋立地)

組合長 (久野回漕店) 久野武三郎
理事 (犬上合資) 犬上慶五郎
(西谷海運) 西谷 庄八
(小林回漕店) 小林龜太郎
(鹽田回漕店) 鹽田 安藏

▲函館海運業組合

(函館市仲濱町四)

組合長 (函館海運) 谷 德太郎
理事 (函館日下部) 前田 季陳
(共同回漕店) 佐々木玄吉
同 林 康三
同 評議員 (三好商會) 三好治太郎
(柿野商會) 柿野彌太郎
(植富商會) 植木富太郎
(金森商船) 渡邊 正雄
(山崎汽船) 山崎松次郎
(千島汽船) 遠藤 義策

▲新潟海運業組合

(新潟市綠町新潟運送船内)

理事 (新潟運送船) 榎野健太郎
幹事 (新瀉汽船) 福山 忠保
(濱商會) 三木 常吉
(鍵富船船部) 村田 三郎

▲大連海運業組合

(大連市埠頭)

組合長 (國際運輸) 吉村 英吉
幹事 (大三商會) 三村 元介
(宮崎商會) 宮崎 愿一
(後藤商會) 高濱 直一
(東和汽船) 善甫亥三郎
(山下汽船) 鶴木 健造
(丸二商會) 久保 衛門
(大三商會) 三村 元介
(宮崎商會) 宮崎 愿一
(丸二商會) 久保 衛門
會計監督 (宮崎商會) 宮崎 愿一
仲裁委員 (高橋商會) 高橋 利吉
仲裁委員 (後藤商會) 高濱 直一
同 堤 商會 堤 昇
同 山下汽船 鶴木 健造

【附 錄一職員錄一】

【附 錄一職員錄一】

同 (澤山商會) 野村 齊
同 (田中商事) 松浦 靜男
同 (靖和商會) 小寺 武市
同 (大三商會) 三村 元介

同 (辰馬商會) 豐浦宗太郎
同 (東和汽船) 善甫亥三郎
▲青島海運業組合
(青島冠縣路海事協會內)

組合長 (大連汽船) 佐藤 信二
幹事 (丸二商會) 磯野 清平
會計幹事 (東和公司) 三澤 止

汽船會社

(イロハ順)

▲板谷商船株式會社

(小樽市色内町六丁目廿九)

一資本金 壹百萬圓 (全額拂込済)
一所有船舶 五隻 總噸數 二一、〇三八噸

△黑姬汽船合資會社

一所有船舶 一隻 總噸數 四、六九七噸

社長 板谷 宮吉
取締役 板谷 順助
同 (神戸駐在) 松本 富藏
同 八木 康之
船 船係 西川 幸太
監督船長(神戸駐在) 岩澤 辰一

▲飯野汽船株式會社

(神戸市仲町興銀ビル)

一所有船舶 十隻 總噸數 一一、三二〇噸
社長 飯野 寅吉
專務取締役 花野 卯寅
取締役 飯野 健次
同 布野 謙次
同 飯野 熊吉
同 山本 小彌
支 配 人 森國 貫一

▲池田商事株式會社

(大阪市北區中之島七丁目)

一資本金 壹百萬圓
一所有船舶 四隻 總噸數 三、九四六噸
社長 池田 鹿三
社 常務取締役 池田 喜八
同 池田 隆
監 查 役 池田 保

▲橋本汽船株式會社

(營業所 神戸市海岸通二丁目)

一資本金 參百七拾五萬圓
一所有船舶 四隻 總噸數 一二、三七五噸

△龍王汽船株式會社

一資本金 拾萬圓
一所有船舶 三隻 總噸數 一七、二四四噸

取締役社長 西正 次郎
取締役 西金 次郎
同 川瀬 俊次
同 松岡 信男
監 查 役 小家 熊藏

▲原田汽船株式會社

(大阪市北區中之島四丁目)

一資本金 百七拾萬圓 (全額拂込済)
一所有船舶 七隻 總噸數 一八、五七六噸

專務取締役社長 原田 六郎
取締役 長崎 佐太郎
同 津村 嘉吉
同 岩中 松之助
同 淺見 又之助
同 武田 貞之助
同 川畑 竹馬

【附 錄一職員錄一】

△青島支店長

▲原商事株式會社

(大阪市西區江戶堀北通一丁目)

一資本金 五百萬圓 拂込額 百貳拾五萬圓
一所有船舶 六隻 總噸數 一四、九九五噸

專務取締役 原萬 一郎
取締役 柴田 常助
同 江濱 輝三
同 高島 勘一
監 查 役 柴田 眞二
同 江濱 傳兵衛
同 高島 勘一
船 舶 課 長 高島 勘一

▲株式會社 濱根商店

(神戸市海岸通二丁目)

一資本金 壹百萬圓
一所有船舶 五隻 總噸數 一四、五〇八噸
取締役社長 濱根 岸太郎
取締役 小江 伊勢之助
同 森定 末太郎
同 西山 富五郎
同 田中 喜勢松

▲橋谷株式會社

(神戸市下山手通六丁目)